

宇治市公共施設等総合管理計画
(最終案)

平成 29 年 8 月

目次

第1章 公共施設等総合管理計画策定の背景と目的	1
1 背景	1
2 目的・定義	1
3 本計画の位置づけ	2
4 計画期間	2
第2章 本市の概況及び課題	3
1 地勢	3
2 将来都市像とまちづくりの方向性	4
3 人口推移	5
4 財政状況	7
5 公共施設等の状況	14
6 公共施設等の将来の更新費用試算	28
第3章 市民意向の把握	37
1 市民アンケートの概要	37
2 公共施設のあり方を考える市民懇談会等について	42
3 市民意向の把握に向けた取組	44
第4章 公共施設等全体の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針	45
1 公共施設等総合管理計画の基本方針	45
2 公共施設等の管理に関する実施方針	48
第5章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針	54
1 市民文化系施設	54
2 社会教育系施設	62
3 スポーツ・レクリエーション系施設	65
4 産業系施設	68
5 学校教育系施設	69
6 子育て支援施設	74
7 保健・福祉施設	77
8 行政系施設	80
9 市営住宅	82
10 その他	83

第6章 公共施設等総合管理計画のマネジメント	85
1 個別計画（アクションプラン）の策定	85
2 計画の進行管理・マネジメント	85
3 議会や市民との情報共有・合意形成の推進	85
参考資料	86
1 宇治市公共施設等総合管理計画の策定経過	86
2 用語集	87

<資料編>

宇治市公共施設に関する市民アンケート調査結果
公共施設のあり方を考える市民懇談会等における主な意見

第1章 公共施設等総合管理計画策定の背景と目的

1 背景

本市においては、市民サービスの向上を図るため、これまで様々な公共施設等を整備してきましたが、施設の多くは建設から相当の年数が経過し、大規模な改修や建替えが必要となることが見込まれています。

一方で、今後も、人口減少や少子高齢化の進展が予測される中であって、社会経済情勢の変化や厳しい財政状況などを踏まえ、限られた資源を有効に活用するとともに、「選択と集中」による効果的・効率的な行政運営が求められており、多様化する住民ニーズに的確に responding していかなければなりません。

こうした状況を踏まえ、今後は、物理的な施設の使用可能期間を見据えながら、既存の公共施設等をできる限り有効に活用するとともに、地域にどのような公共施設等が必要であるか、客観的なデータをもとに市民の方々と交えて検討していく必要があります。

2 目的・定義

本市が保有し、又は管理する公共施設及び道路、橋りょう、上下水道等のインフラ資産を対象として、ファシリティマネジメントの手法（財務・品質・供給の各情報）を活用し、公共施設等のあり方について見直しを行い、将来への負担を軽減しつつも、市民が利用しやすい施設配置や民間活力の活用等、市民の視点に立って検討していく必要があります。

そこで、本市の公共施設等の状況について、市民への周知や情報共有を行い、市民とともに考え、公共施設等のあり方を検討するため、公共施設等の管理の基本的な方針を定めた「宇治市公共施設等総合管理計画（以下、「本計画」という。）」を策定するものです。

本計画では、公共施設等の適正配置や計画的保全により持続可能な市民サービスを維持していくため、公共施設等の現状と課題を整理し、更新・統廃合・長寿命化などの基本的な方針を定めています。

子どもや孫の世代にできるだけ負担を残さないよう、30年先の宇治市を見据えて、本市としても健全財政等の堅持に向けて、不断の行財政改革等に取り組みますので、市民の皆様にもご理解をいただきながら、市民の皆様とともに、本計画を着実に実行していきたいと考えています。

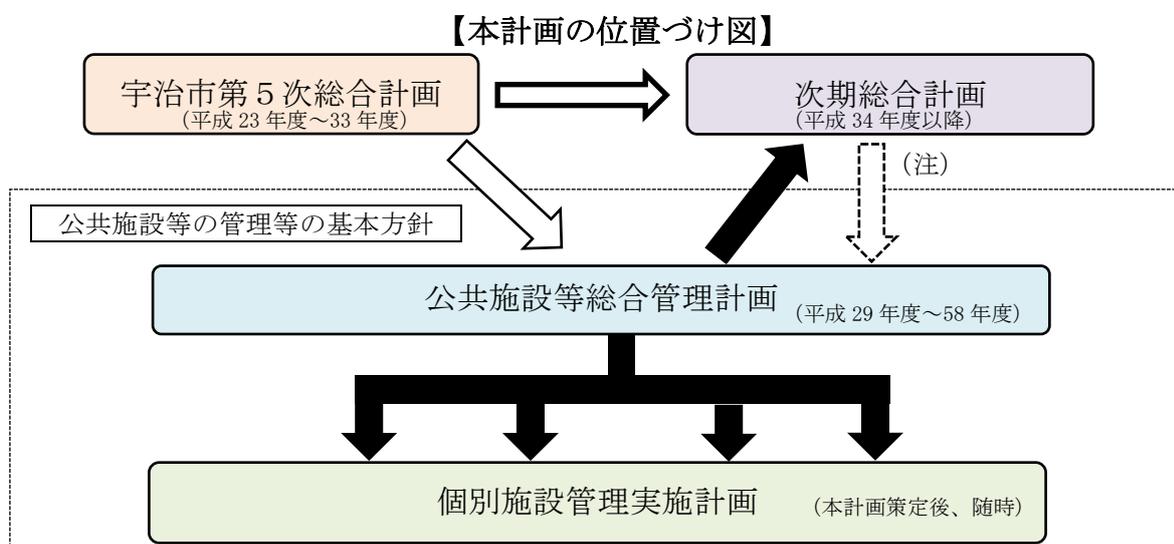
3 本計画の位置づけ

本計画は、上位計画である総合計画や、既存の長寿命化計画を踏まえるとともに、国の「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」に沿って策定するものです。

本市においては、279 の公共施設（小中学校・幼稚園、保育所、育成学級、公民館、コミュニティセンター、集会所、ふれあいセンター等）やインフラ資産（道路、橋りょう、上下水道等）を対象とし、現状を的確に把握するとともに、市民ニーズを把握しながら、「選択と集中」の考えのもと、更新・統廃合・長寿命化など、次の世代にできるだけ負担を残さない計画策定に取り組むものとしします。

＜公共施設等総合管理計画＞公共施設等全体の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針や施設類型ごとの管理に関する基本方針を定める。

＜個別施設管理実施計画＞総合管理計画で定めた施設類型ごとの管理に関する基本方針に基づき、施設の更新時期などを踏まえ、適切な時期に必要な応じて、個別施設の数値目標や具体的な実施年次を設定する。



(注) 総合計画との整合を図るなど、必要に応じて「公共施設等総合管理計画」及び「個別施設管理実施計画」の見直しを図ります。

4 計画期間

本計画の計画期間は、平成29年度から平成58年度までの30年間とします。ただし、人口動向や社会情勢、財政状況の変化等を鑑み、必要に応じて見直しを行うこととします。

第2章 本市の概況及び課題

1 地勢

本市は、1951年（昭和26年）3月1日、当時の東宇治町・宇治町・槇島村・小倉村・大久保村の2町3村が合併して誕生しました。また、京都盆地の東南部に位置し、京都市の南に隣接しており、面積は67.54km²、その広がり東西に10km、南北に10.7kmとなっています。

（1）歴史的条件

宇治川を中心とする景観が国の重要文化的景観に選定されるなど、都市化が進んだ市街地に隣接して歴史的景観が残されており、これらの景観を保全、創造していくことが必要不可欠となっています。

（2）地形的条件

地形的には、東部に豊かな自然環境が残された山麓丘陵地が広がり、西部は巨椋池干拓田に連なる平坦地となっており、琵琶湖から唯一流れ出る河川である宇治川が市中央部を南北に縦断しています。

（3）交通条件

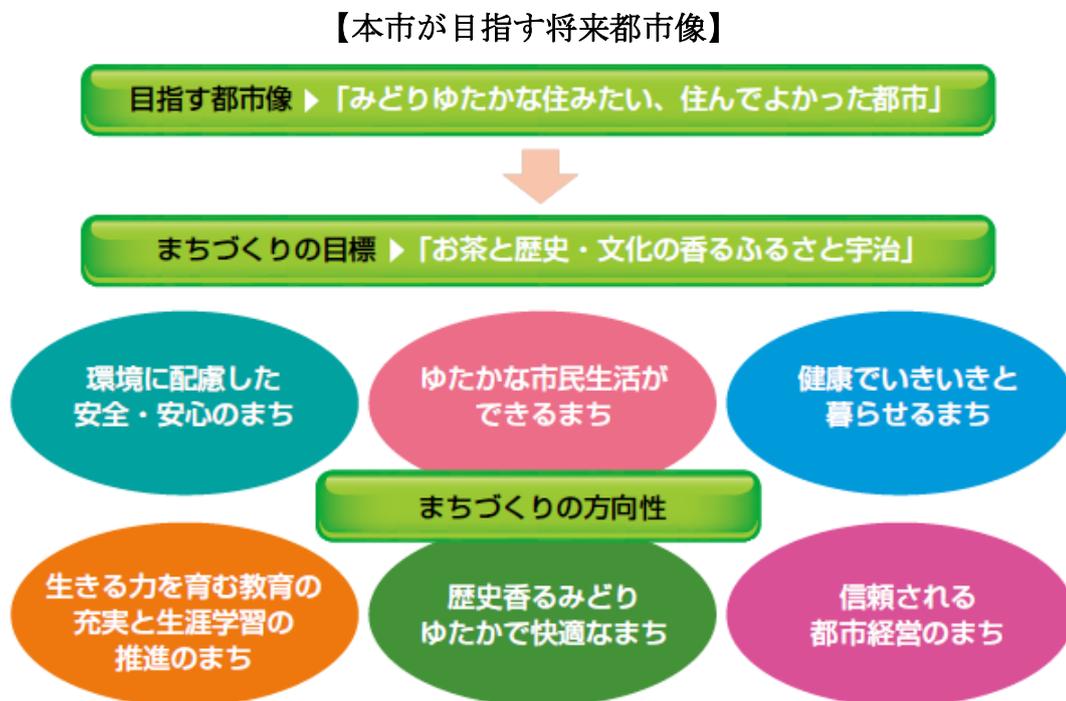
市内には、JR奈良線・近鉄京都線・京阪宇治線、京都市営地下鉄東西線の4本の鉄道が通るとともに14の鉄道駅が存在し、交通の便が良いことから京都・大阪の衛星都市として発展してきました。

2 将来都市像とまちづくりの方向性

本市は、古代より交通の要衝、平安貴族の別業の地として発展し、多くの歴史・文化遺産を生み出してきました。それらは琵琶湖に端を発し、市内を南北に貫く宇治川の清流や周辺の豊かな緑によって生まれ、創造されたものであり、都市化の進んだ現在もなお、市民一人ひとりのたゆまぬ努力によって受け継がれており、本市の象徴であると同時に市民の精神的な支柱となっています。

現在を生きる私たちの使命は、この豊かな自然や歴史・文化遺産を守り育て、未来へと引き継いでいくことによって、そこに住む人々が誇りと愛着を感じることのできる「ふるさと宇治」を創造していくことであり、宇治市第5次総合計画に掲げた「みどりゆたかな住みたい、住んでよかった都市」を目指す都市像としています。

また、宇治市第5次総合計画におけるまちづくりの目標として、「お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治」を掲げるとともに、具体的な柱として「環境に配慮した安全・安心のまち」「ゆたかな市民生活ができるまち」「健康でいきいきと暮らせるまち」「生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち」「歴史香るみどりゆたかで快適なまち」「信頼される都市経営のまち」をまちづくりの方向性とします。



(出所：「宇治市第5次総合計画」より抜粋)

3 人口推移

(1) 人口推移と将来の見通し

昭和26年（1951年）に人口約3万8千人で発足した本市は、今日では約19万人の人口を擁する京都府内第2の都市となっています。

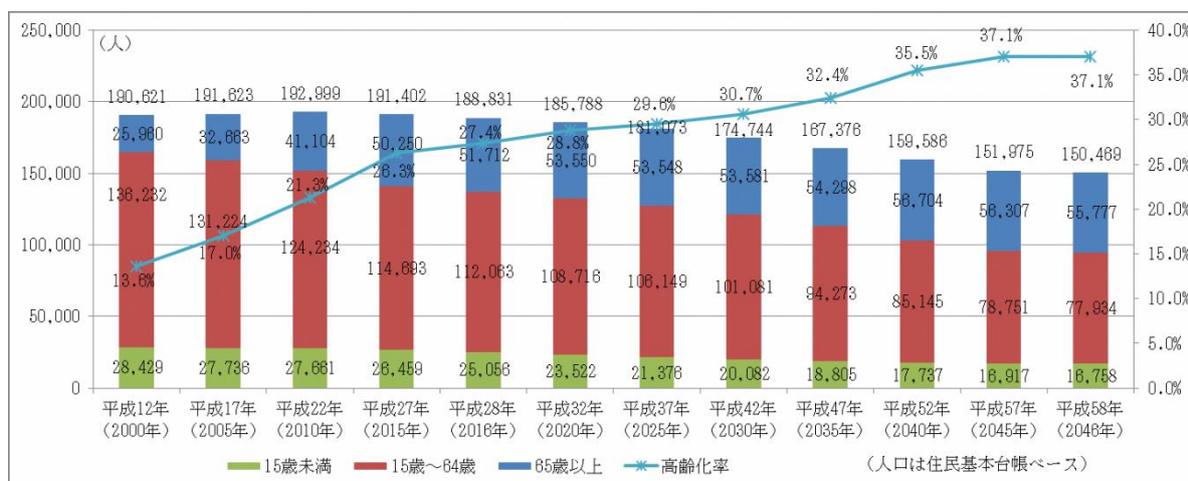
人口増加率の推移を見ると、高度経済成長期の昭和35年～40年（1960年～1965年）には45.6%、昭和40年～45年（1965年～1970年）には50.1%の急激な増加を示していますが、その後は徐々に鈍化し、平成17年～22年（2005年～2010年）ではわずか0.7%の増加となり、平成22年～27年（2010年～2015年）では、0.8%の減少と人口減少に転じ、平成28年（2016年）には188,831人となり、これまでの人口増加傾向から減少傾向へと変化しています。

年齢構成では、平成17年（2005年）と平成27年（2015年）を比較すると、15歳未満の年少人口が14.5%から13.8%へ減少、15歳～64歳の生産年齢人口が68.5%から59.9%へ減少、65歳以上の高齢者人口が17.0%から26.3%へ増加しており、少子高齢化が進展していることが分かります。

また、本市の平成28年（2016年）の高齢者人口は51,712人であり、高齢化率は27.4%となっていますが、平成58年（2046年）には37.1%に達すると見込まれ、急激に高齢化が進むことが予測されます。

人口減少や人口構造の変化に伴い、学校教育施設等に余剰が発生し、高齢者福祉施設の需要が高まるなど、市民ニーズに変化が生じ、公共施設等が担うべき役割・機能も変化していくため、これらを的確に把握し、公共施設のあり方や再編について検討していく必要があります。

【人口推移と将来人口の推計】

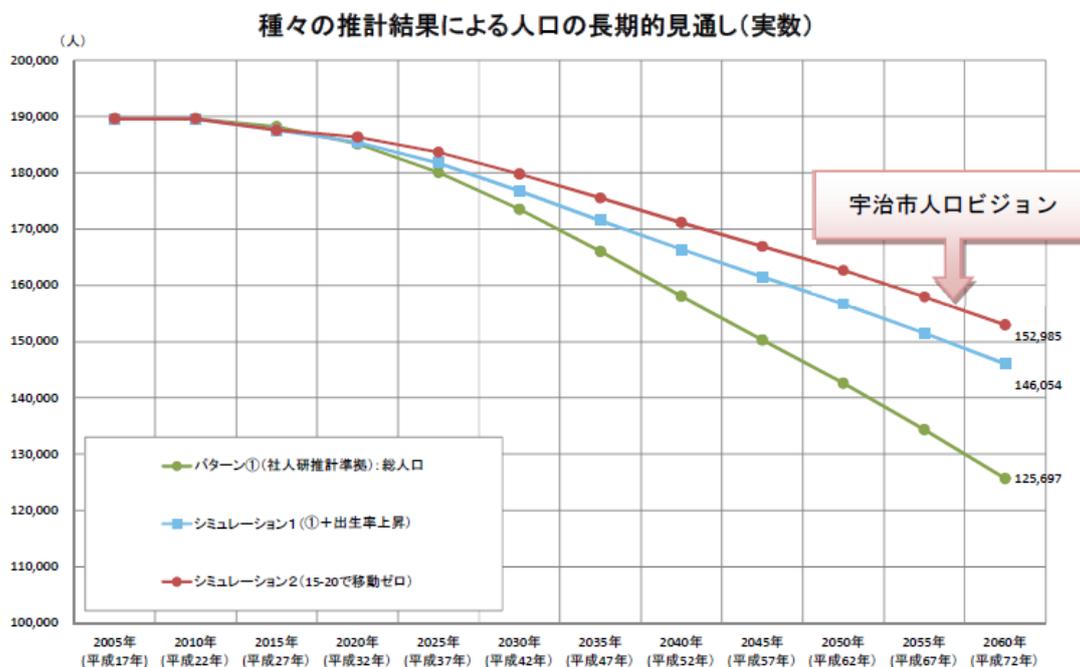


※参考：人口ビジョン

本市では、人口減少に歯止めをかけ、持続的に発展するまちを目指して、平成27年12月に宇治市人口ビジョン及び宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。人口ビジョンでは、総合戦略に掲げる施策の実施により出生率の上昇と社会減の解消を図り、目標とする人口を定めています。なお、人口ビジョンについては、あくまでも目標とする人口であるため、本計画における公共施設等の分析やあり方の検討に際しては、6ページの人口推計を用いることとします。

【人口ビジョンにおける人口推計】

図表 I-19 人口推計結果の比較



国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、2015年(平成27年)以降、人口が減少し続け、2060年(平成72年)には約12万6千人となり、その後も減少に歯止めがかからない。

さらに、国において、長期ビジョンで示された出生率の2020年(平成32年)に1.60、2030年(平成42年)に1.80、2040年(平成52年)に2.07まで上昇するケース(シミュレーション1)においても、2060年(平成72年)に約14万6千人となるが、その後も減少に歯止めがかからない。

本市においては、国が長期ビジョンで示した出生率を目標とするとともに、社会移動について、2020年(平成32年)に社会減の解消を図り、以降は社会移動を0とするケース(シミュレーション2)を目標とする人口ビジョンとする。この場合、2060年(平成72年)には約15万3千人となり、2100年(平成112年)には人口減に歯止めがかかり、約13万5千人で人口が維持されると推計される。

4 財政状況

(1) 宇治市の家計簿

本市の財政状況を家計に例えると、概ね以下のようになります。

平成27年度宇治市の家計簿

前年度からの
増減

具体的には・・・

○収入

給与などの収入	489 万円〔+16 万円〕	市税、譲与税、交付金、使用料など
親からの仕送り	67 万円〔-2 万円〕	地方交付税
ローン（家・車の購入のため）	13 万円〔-7 万円〕	道路・河川の整備、学校改修などの資金
ローン（生活資金のため）	29 万円〔-7 万円〕	臨時財政対策債
預貯金の引き出し	4 万円〔+1 万円〕	基金繰入金
繰越金	5 万円〔-1 万円〕	繰越金
収入合計	607 万円〔±0 万円〕	



平成27年度の家計は・・・

昨年度と比べて給与などの収入は増えたものの、生活費なども増加しており、家や車の購入にかかる経費を減らしました。しかしながら、収入より支出が多くなっており、ローンの借入れを行ったり、預貯金を引き出すことで、不足分を補うこととしました。

今後も生活費、子どもの教育費などは増えることが見込まれているほか、家や車についても老朽化が進んでおり、修繕や改修などに伴う支出も増える見込みです。

このように、厳しい状況が続くことから、生活費の抑制はもちろんのこと、その他の支出についても無駄がないか徹底的に見直し、ローンの借入れや預貯金の引き出しを最小限にとどめるなど、家計の安定に向けてより一層の努力が必要です。

なお、ローン残高は、借入額より返済額が多くなったことから減少となり、将来にわたる負担は軽減が見込まれるものの、預貯金残高は、前年度より微減となりました。

普通会計の歳入・歳出決算額を1/10,000にして、
一般家庭に例えると・・・

前年度からの
増減

具体的には・・・

○支出

生活費	252 万円	〔 +5 万円 〕	人件費、扶助費、維持補修費など
子どもの教育費など	156 万円	〔 +5 万円 〕	教育費、民生費のうち児童福祉費
保険料・下水道費用	75 万円	〔 +5 万円 〕	国保特会、公共下水道事業などへの繰出金
家や車の購入	39 万円	〔 -13 万円 〕	道路・河川の整備、学校改修費用など
貸付金など	24 万円	〔 ±0 万円 〕	貸し付け事業の費用（年度末には返金）
預貯金の積み立て	3 万円	〔 -1 万円 〕	基金への積立金
ローンの返済	54 万円	〔 -1 万円 〕	公債費
支出合計	603 万円	〔 ±0 万円 〕	
差し引き	4 万円	〔 ±0 万円 〕	
ローン残高	450 万円	〔 -8 万円 〕	年度末の市債残高
預貯金残高	94 万円	〔 -1 万円 〕	年度末の基金残高



(市民一人あたりローン及び預貯金残高の推移) (単位：円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
ローン残高	237,418	242,313	235,781
預貯金残高	48,597	49,322	49,517



(2) 歳入歳出のバランス

本市の財政状況について、家計における収入面である歳入と、支出面となる歳出の5年間の推移をグラフで示しています。歳入においては、財政運営における基本であり、歳入の“要”と言われる市税が、この5年間で12億円以上、減少しています。

その一方で、歳出においては、この間、特に子どもや高齢者、生活保護世帯などへの社会保障のために必要となる経費（＝扶助費）が年々増加しており、この5年間でみると、21億円も増加しています。

人口減少等により、市税収入等の歳入の増加が見込みにくい状況の中で、歳出面では社会保障関係経費（扶助費）が年々増加している財政構造であることから、今後、財政収支は一層厳しさを増し、基金総額の減少が予測されることから、財源に見合った歳出規模に見直していくことが重要であるとともに、これからの公共施設及びインフラ資産の維持更新に必要な財源をどのように確保していくのかについては、大変重要な課題となってきています。

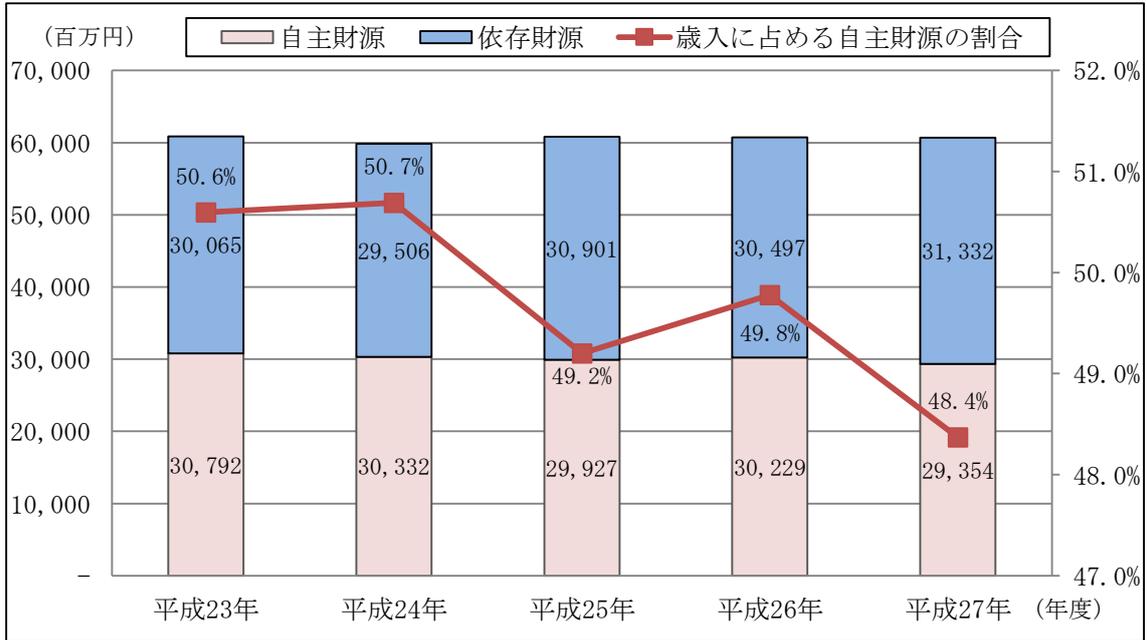
将来世代に過大な負担を残さないためにも、本市の財政状況を踏まえると、限られた財源の中で、施設の維持費や更新費用のバランスを適正に保つため、公共施設等のあり方、維持管理の効率化、施設運営の見直しについてもあわせて検討する必要があります。

【歳入の推移】



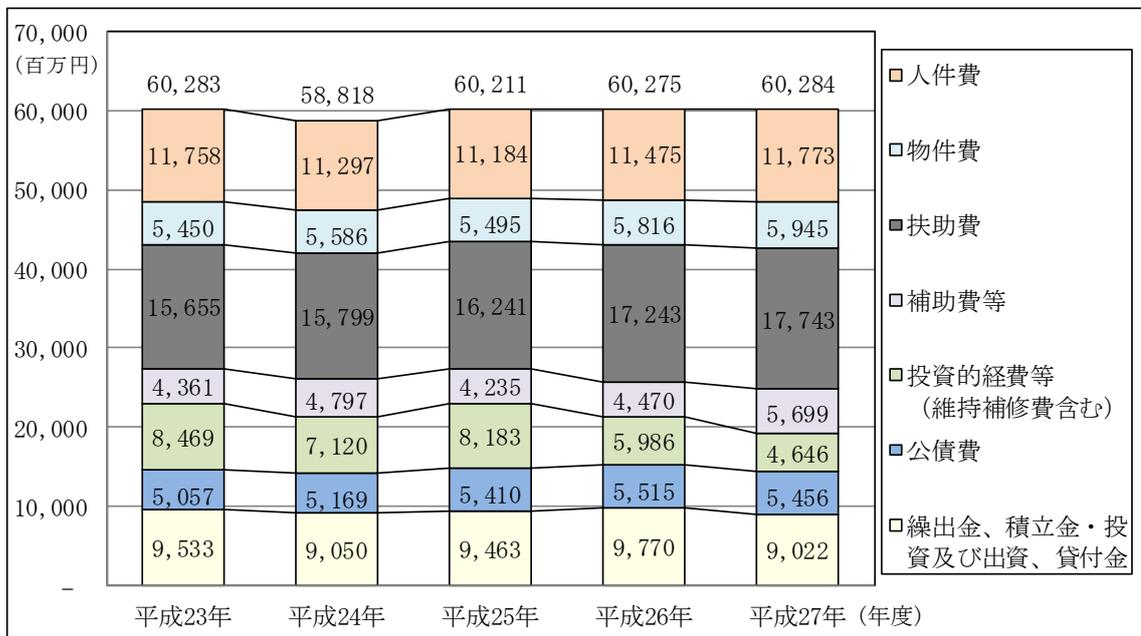
(出所：「宇治市普通会計決算概要」より作成)

【自主財源と依存財源の推移】



(出所：「宇治市普通会計決算概要」より作成)

【歳出の推移】



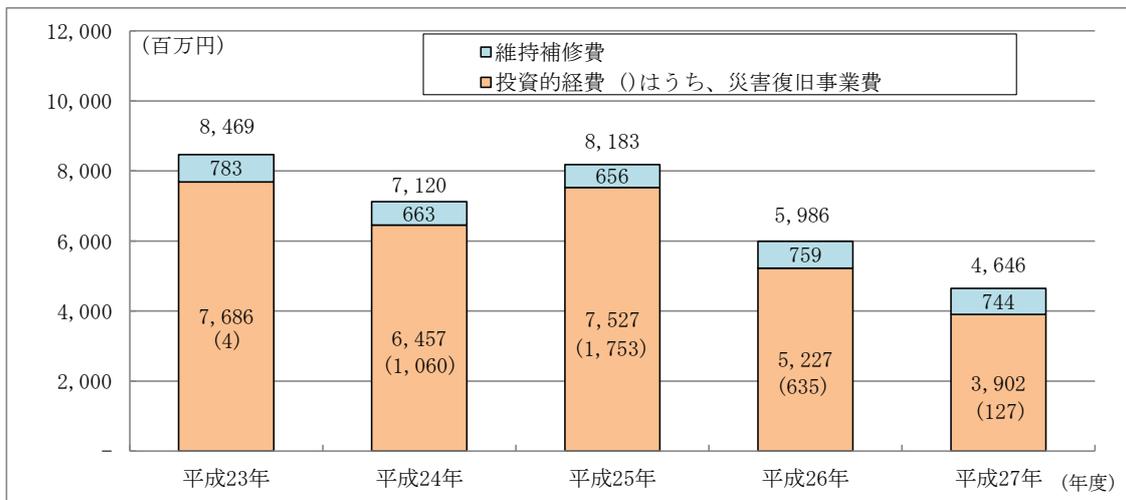
(出所：「宇治市普通会計決算概要」より作成)

(3) 投資的経費と維持補修費の推移

投資的経費は、学校建設などで70億円を超える水準となっていました。一旦減少し、平成24年8月の豪雨災害の災害復旧事業の影響等により、平成25年には一時的に増加しています。

今後は、社会保障関係経費の増加や、市税収入の減少という厳しい財政状況の中で、投資的経費の水準については、将来世代への過大な負担とならないよう、適切な規模とする必要があります。

【投資的経費と維持補修費の推移】



(出所：「宇治市普通会計決算概要」より作成)

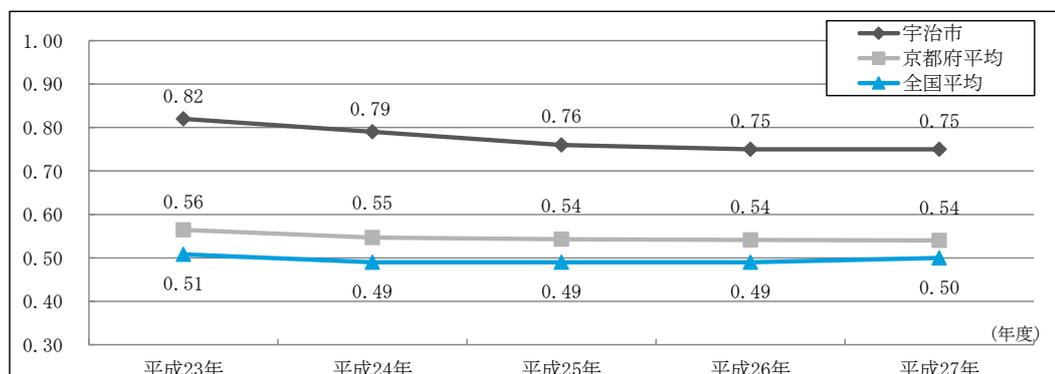
(4) 主要財政指標の推移

ア 財政力指数

財政力指数は、地方公共団体の財政力を示す指数で、財政力指数が高いほど、税収等の自己財源が多いことを表し、1を超えると地方交付税が交付されなくなります。

本市の財政力指数は、平成27年度では0.75と府内平均の0.54を上回っていますが、市税の減収などの影響により、指標が低下している状況にあります。

【財政力指数の推移】



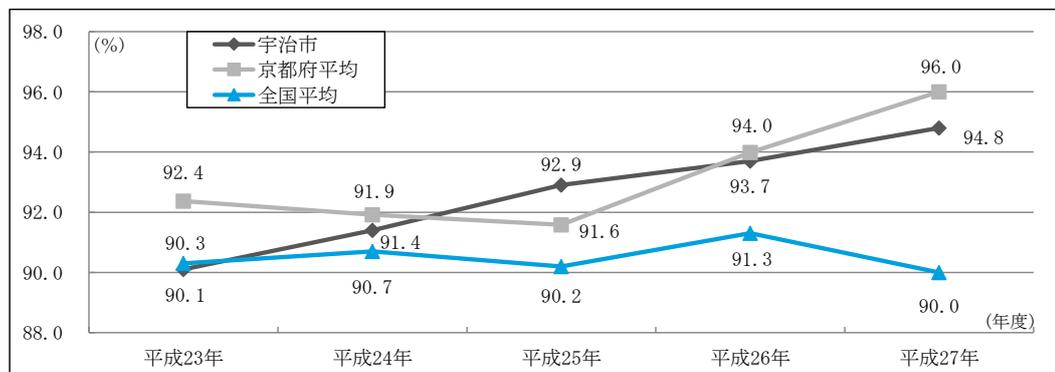
(出所：総務省公表「平成27年度地方公共団体の主要財政指標一覧」より作成)

イ 経常収支比率

経常収支比率は、市税、普通交付税などのように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）のうち、人件費、扶助費、公債費などのように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当されたものの占める割合です。この数値が高いほど、財政が硬直化している状況を表します。

本市の経常収支比率は、平成27年度では94.8%と府内平均の96.0%を下回っていますが、直近3年間では1.9ポイント上昇しています。

【経常収支比率の推移】



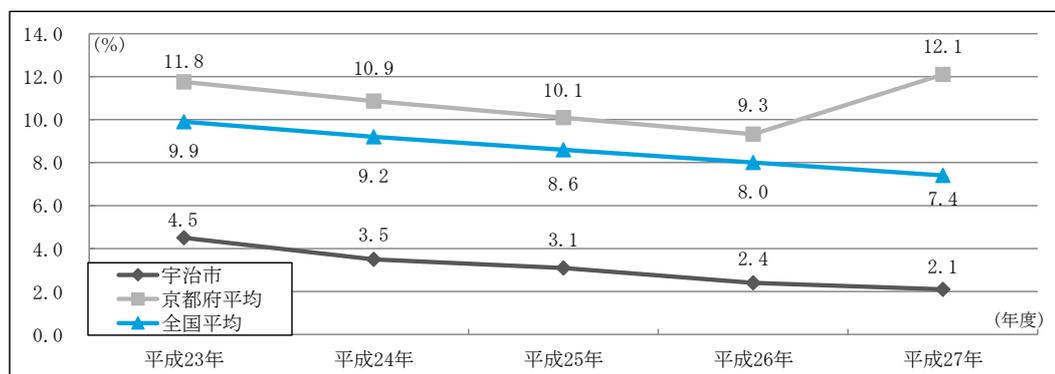
(出所：総務省公表「平成27年度地方公共団体の主要財政指標一覧」より作成)

ウ 実質公債費比率

実質公債費比率は、市債の元利償還金等の一般会計に対する負担を判断する指標です。「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）」における早期健全化基準は25%、財政再生基準については35%とされており、これらの比率以上になると、市債の発行に当たり、一定の制約が課されることとなります。

本市の実質公債費比率は、平成27年度では2.1%と府内平均の12.1%を下回っており、直近5年間でも2.4ポイント減少しています。

【実質公債費比率の推移】



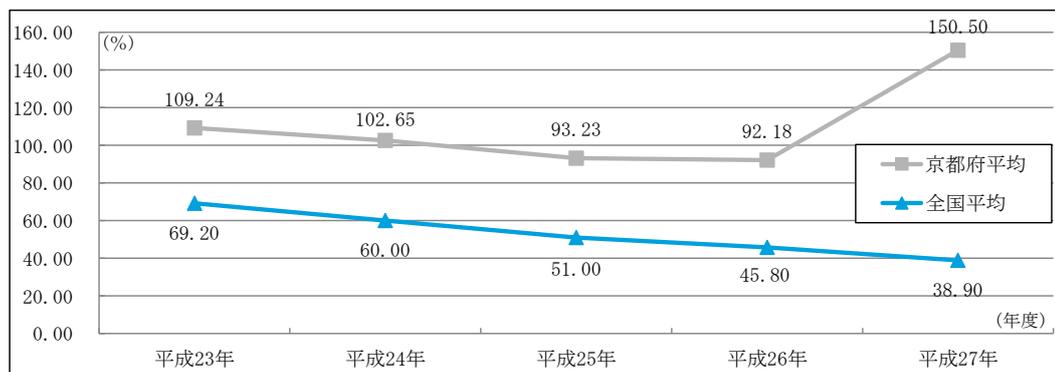
(出所：総務省公表「平成27年度地方公共団体の主要財政指標一覧」より作成)

エ 将来負担比率

将来負担比率は、一般会計が将来負担すべき実質的な負債の大きさを比率で表す指標です。「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」における早期健全化基準については、市町村（政令指定都市は除く。）は350%とされており、この比率以上になると、財政健全化計画の策定が義務づけられることとなります。

本市の将来負担比率は、直近5年間においても算定されませんでした。これは、充当可能財源等が将来負担額を上回っていることによります。

【将来負担比率の推移】

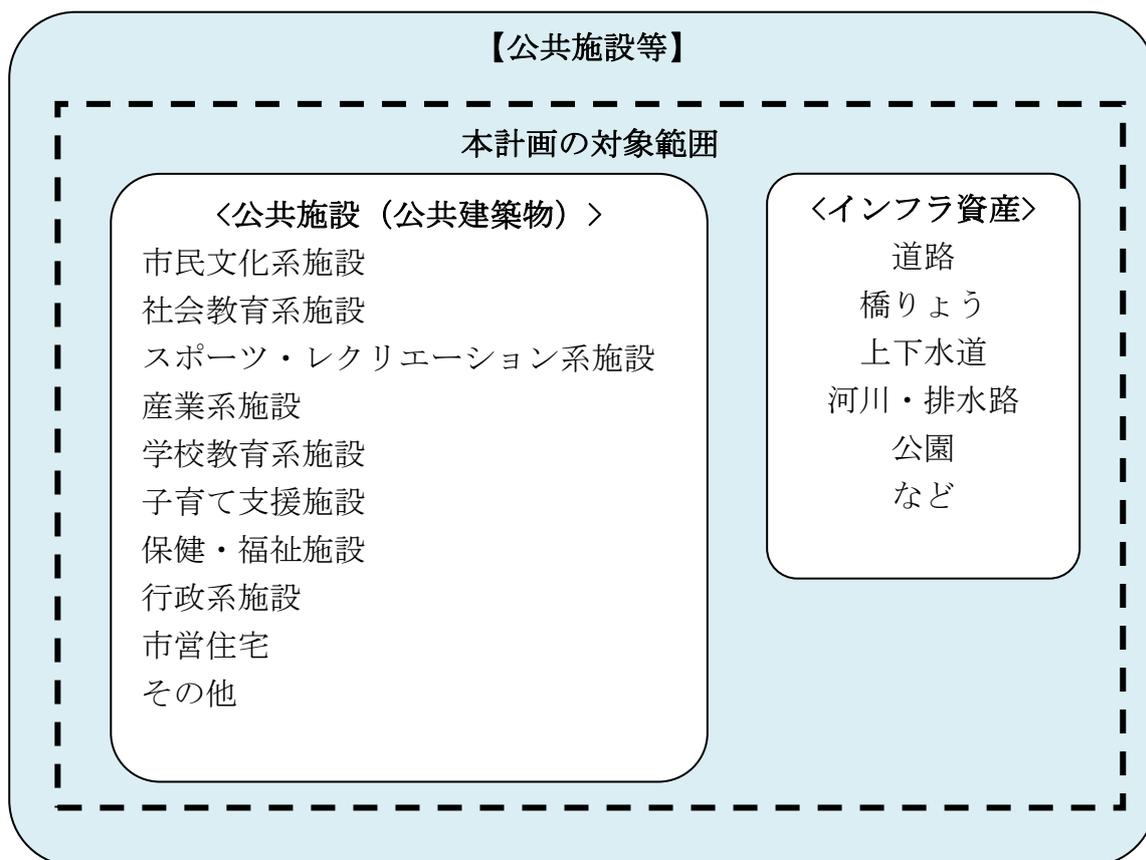


(出所：総務省公表「平成27年度地方公共団体の主要財政指標一覧」より作成)

5 公共施設等の状況

(1) 対象とする公共施設等

本計画において対象とする公共施設等は、市民文化系施設、スポーツ・レクリエーション系施設、小中学校等の学校教育系施設、市営住宅等の公共施設（公共建築物）、及び道路・橋りょう・上下水道施設などのインフラ資産とします。



- (注1) 上下水道施設の管理棟等の建屋、公園便所は「インフラ資産」に含まれます。
- (注2) 対象施設の分類は、総務省推奨の一般財団法人地域総合整備財団の「公共施設等更新費用試算ソフト」に基づくものです。
- (注3) 対象施設は平成26年度末時点の状況です。なお、耐震補強については、平成27年度末時点の状況です。

(2) 類型別公共施設の保有状況

本計画が対象とする公共施設は279施設、面積（総延べ床面積）は381,082.41㎡で、市民一人当たりでは約2.0㎡となっています。

施設数では、市民文化系施設が142施設（全施設の50.9%）で最も多く、次いで学校教育系施設35施設（全施設の12.5%）、その他施設26施設（全施設の9.3%）となっています。なお、市民文化系施設は、各地区にある集会所がその大半を占めています。

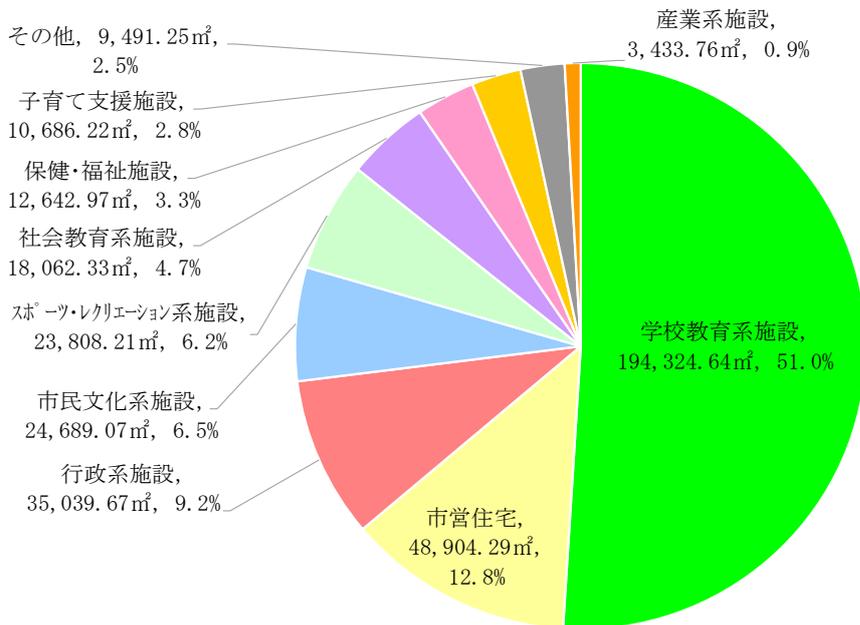
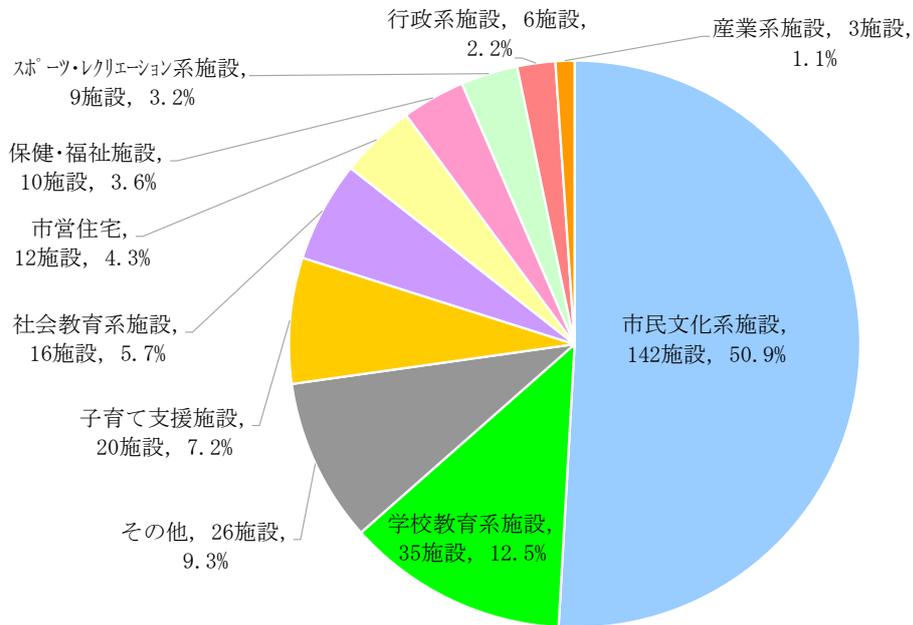
また延べ床面積では、学校教育系施設が194,324.64㎡（全施設の51.0%）で最も多く、次いで市営住宅48,904.29㎡（全施設の12.8%）、行政系施設35,039.67㎡（全施設の9.2%）となっています。

【類型別公共施設の施設数・延べ床面積】

大分類	中分類	施設数		延べ床面積	
			構成比		構成比
市民文化系施設		142 施設	50.9%	24,689.07 ㎡	6.5%
	集会所	141 施設	50.5%	17,158.72 ㎡	4.5%
	文化施設	1 施設	0.4%	7,530.35 ㎡	2.0%
社会教育系施設		16 施設	5.7%	18,062.33 ㎡	4.7%
	図書館	3 施設	1.1%	2,693.88 ㎡	0.7%
	その他社会教育施設	13 施設	4.7%	15,368.45 ㎡	4.0%
スポーツ・レクリエーション系施設		9 施設	3.2%	23,808.21 ㎡	6.2%
	レクリエーション施設・観光施設	7 施設	2.5%	12,512.72 ㎡	3.3%
	スポーツ施設	2 施設	0.7%	11,295.49 ㎡	3.0%
産業系施設		3 施設	1.1%	3,433.76 ㎡	0.9%
	産業系施設	3 施設	1.1%	3,433.76 ㎡	0.9%
学校教育系施設		35 施設	12.5%	194,324.64 ㎡	51.0%
	小学校	21 施設	7.5%	108,453.15 ㎡	28.5%
	中学校	9 施設	3.2%	68,159.23 ㎡	17.9%
	小中一貫校	1 施設	0.4%	15,624.91 ㎡	4.1%
	幼稚園	4 施設	1.4%	2,087.35 ㎡	0.5%
子育て支援施設		20 施設	7.2%	10,686.22 ㎡	2.8%
	幼児・児童施設	12 施設	4.3%	2,479.94 ㎡	0.7%
	保育所	8 施設	2.9%	8,206.28 ㎡	2.2%
保健・福祉施設		10 施設	3.6%	12,642.97 ㎡	3.3%
	高齢福祉施設	8 施設	2.9%	6,716.02 ㎡	1.8%
	保健施設	1 施設	0.4%	3,573.32 ㎡	0.9%
	その他保健福祉施設	1 施設	0.4%	2,353.63 ㎡	0.6%
行政系施設		6 施設	2.2%	35,039.67 ㎡	9.2%
	庁舎等	1 施設	0.4%	29,545.02 ㎡	7.8%
	消防施設	5 施設	1.8%	5,494.65 ㎡	1.4%
市営住宅		12 施設	4.3%	48,904.29 ㎡	12.8%
	市営住宅	12 施設	4.3%	48,904.29 ㎡	12.8%
その他		26 施設	9.3%	9,491.25 ㎡	2.5%
	その他	26 施設	9.3%	9,491.25 ㎡	2.5%
合計		279 施設	100.0%	381,082.41 ㎡	100.0%

(注) 本計画中の図表の各種数値の合計は、端数処理の関係で、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。(以下同様)

【類型別公共施設の施設数・延べ床面積の構成比】



【類型別公共施設一覧】

大分類	中分類	施設名					
市民文化系施設	集会施設	141	榎島集会所	六地藏公会堂	広野集会所	矢落集会所	砂田集会所
			若宮集会所	西山集会所	南山集会所	三室戸集会所	中ノ田集会所
			名木集会所	広野丸山集会所	伊勢田北集会所	南遊田集会所	名木西集会所
			笠取集会所	中木幡集会所	笠取南部集会所	蔭山集会所	広野宮谷集会所
			車田集会所	城南荘集会所	神明集会所	川東集会所	南部福角集会所
			落合集会所	一番割集会所	上権現集会所	登り集会所	平尾集会所
			宇治野神集会所	羽拍子集会所	広野寺山集会所	西川原集会所	折居台北集会所
			琵琶台集会所	宇治橋通集会所	市役所前集会所	菟道集会所	福角集会所
			北広野集会所	戸ノ内集会所	折居台南集会所	南陵南集会所	六地藏南集会所
			西岡屋会館	伊勢田南集会所	羽戸山集会所	御廟集会所	折居台東集会所
			老ノ木集会所	榎島十一集会所	五ヶ庄東集会所	西浦東集会所	西目川集会所
			南大久保集会所	天神台集会所	木幡檜尾集会所	菟道北集会所	大開集会所
			南山南集会所	西広野集会所	南堀池集会所	下村集会所	広芝集会所
			五ヶ庄南集会所	尖山集会所	大和田集会所	菟道南集会所	伊勢田集会所
			平尾台西集会所	春日森集会所	東目川集会所	平盛集会所	紫ヶ丘集会所
			平尾台東集会所	広野三軒家集会所	寺山台集会所	中畑集会所	宮西集会所
			御蔵山集会所	砂田北集会所	広岡谷集会所	広野友が丘東集会所	須留集会所
			吹前集会所	志津川集会所	南木幡集会所	明星集会所	蔭山東集会所
			米阪集会所	三室戸北集会所	大林集会所	平町集会所	開集会所
			御園集会所	広野成田集会所	東堀池集会所	御蔵山南集会所	大和田西集会所
			大開西集会所	平尾南集会所	平尾北集会所	里尻集会所	菟道藪里集会所
			平尾東集会所	三番割集会所	木幡北畠集会所	南小倉集会所	下居集会所
			緑ヶ原集会所	榎島三軒家集会所	西小倉集会所	西大久保集会所	南陵集会所
			蓮池中集会所	奥広野集会所	玉池集会所	妙楽集会所	安田町集会所
			新半白集会所	一ノ坪集会所	西木幡集会所	南広野集会所	堀池集会所
			伊勢田西集会所	東木幡集会所	白川集会所	半白集会所	木幡熊小路集会所
			小根尾集会所	蓮池集会所	西小倉コミュニティセンター	東宇治コミュニティセンター	南宇治コミュニティセンター
			榎島コミュニティセンター	菟道ふれあいセンター	伊勢田ふれあいセンター	平盛ふれあいセンター	コミュニティワークこはた館
				コミュニティワークうじ館			
				文化施設	1	文化会館	

大分類	中分類	施設名					
社会教育系施設	図書館	3	中央図書館	東宇治図書館	西宇治図書館		
	その他社会教育施設	13	木幡公民館	小倉公民館	中央公民館	広野公民館	市民会館（宇治公民館）
			大久保青少年センター	善法青少年センター	河原青少年センター	青少年指導センター	歴史資料館
			生涯学習センター	源氏物語ミュージアム	男女共同参画支援センター		
スポーツ・レクリエーション系施設	レクリエーション施設・観光施設	7	観光センター	観光案内所（近鉄大久保駅）	観光案内所（JR宇治駅）	天ヶ瀬森林公園	茶室対鳳庵
			植物公園	総合野外活動センター			
	スポーツ施設	2	黄檗公園	西宇治公園			
産業系施設	産業系施設	3	産業会館	産業振興センター	宇治ベンチャー企業育成工場		
学校教育系施設	小学校	21	北横島小学校	笠取小学校	笠取第二小学校	大久保小学校	菟道小学校
			木幡小学校	横島小学校	西小倉小学校	西大久保小学校	南部小学校
			神明小学校	御蔵山小学校	北小倉小学校	伊勢田小学校	岡屋小学校
			三室戸小学校	平盛小学校	大開小学校	南小倉小学校	菟道第二小学校
			小倉小学校				
	中学校	9	横島中学校	広野中学校	東宇治中学校	西宇治中学校	北宇治中学校
			木幡中学校	宇治中学校	南宇治中学校	西小倉中学校	
	小中一貫校	1	宇治小学校・黄檗中学校（宇治黄檗学園）				
幼稚園	4	大久保幼稚園	東宇治幼稚園	神明幼稚園	木幡幼稚園		
子育て支援施設	幼児・児童施設	12	小倉育成学級	平盛育成学級	北横島育成学級	三室戸育成学級	岡屋育成学級
			菟道第二育成学級	横島育成学級	御蔵山育成学級	南部育成学級	神明育成学級
			大久保育成学級	地域子育て支援基幹センター			
	保育所	8	北木幡保育所	宇治保育所	善法保育所	木幡保育所	Hana花保育園
大久保保育所			西小倉保育所	小倉双葉園保育所			
保健・福祉施設	高齢福祉施設	8	木幡地域福祉センター	開地域福祉センター	西小倉地域福祉センター	東宇治地域福祉センター	広野地域福祉センター
			横島地域福祉センター	小倉デイホーム	平盛デイホーム		
	保健施設	1	保健・消防センター（健やかセンター）				
	その他社会保険施設	1	総合福祉会館				
行政系施設	庁舎等	1	市庁舎				
	消防施設	5	西消防署	中消防署横島消防分署	東消防署	保健・消防センター（中消防署）	西消防署伊勢田救急出張所

大分類	中分類	施設名					
市営住宅	市営住宅	12	宇治下居市営住宅	宇治玉池市営住宅	宇治東山市営住宅	神明宮東市営住宅	五ヶ庄福角市営住宅
			五ヶ庄野添市営住宅	木幡河原市営住宅	大久保旦椋市営住宅	小倉中畑市営住宅	神明宮西市営住宅
			黄檗市営住宅	槇島吹前市営住宅			
その他	その他	26	京阪三室戸駅前自転車等駐車場	J R 木幡駅前自転車等駐車場	近鉄小倉駅西第2自転車等駐車場	J R 六地藏駅前自転車等駐車場	J R 新田駅前自転車等駐車場
			J R 六地藏駅前第2自転車等駐車場	京阪木幡駅前自転車等駐車場	近鉄小倉駅東自転車等駐車場	J R 黄檗駅前第2自転車等駐車場	J R 小倉駅南自転車等駐車場
			J R 宇治駅北自転車等駐車場	J R 小倉駅北自転車等駐車場	J R 宇治駅南自転車等駐車場	天ヶ瀬吊橋前公衆便所	宇治神社前公衆便所
			J R 宇治駅前公衆便所	観光バリアフリー便所等	夢浮橋ひろば公衆便所	(公社) 宇治市シルバー人材センター	善法農業共同作業所
			斎場	内職センター	墓地公園管理棟	(一社) 宇治高齢者事業団事務所	宇治駅前交番
			旧中消防署 (宇治市福祉サービス公社)				

施設概要一覧

	施設	施設の概要
1	集会所	地域コミュニティの活性化を図るため、各種地域活動を行う施設です。
2	コミュニティーセンター	市民相互の交流と地域コミュニティの活性化を図るため、各種地域活動を行う施設です。
3	ふれあいセンター	市民が各種会合やスポーツ等に利用できる施設です。
4	隣保館（コミュニティワークうじ館、こはた館）	福祉の向上や人権啓発のための住民交流を図る施設です。
5	文化会館（文化センター）	市民の文化の向上と社会教育の振興を図るための施設です。
6	図書館	図書や各種資料を貸出や閲覧によりご利用いただく施設です。
7	公民館	社会教育（生涯学習）を目的とした教育・学習を楽しんでいただく施設です。
8	市民会館	生活文化の向上と社会福祉の増進を図るため、各種活動に利用していただく施設です。
9	歴史資料館	宇治の歴史資料を収集・保存するとともに、展覧会等を開催する施設です。
10	源氏物語ミュージアム	『源氏物語』と平安時代の文化に親しめる社会教育施設です。
11	男女共同参画支援センター（ゆめりあうじ）	男女共同参画社会の実現に向けての中核となる施設です。
12	青少年指導センター	少年補導委員会や青少年健全育成協議会等、青少年育成団体の活動拠点です。
13	生涯学習センター	市内で開催される生涯学習関連の催しや講座を行う施設です。
14	青少年センター	遊びと生活を通じた青少年の健全育成を図る施設です。
15	黄檗公園／西宇治公園	スポーツ・レクリエーションを楽しんでいただく施設です。
16	天ヶ瀬森林公園	豊かな自然に触れ合うことのできる、保健休養を提供する施設です。
17	観光センター／観光案内所	観光客や市民等への宇治の観光の魅力を発信する施設です。
18	茶室（対鳳庵）	気軽に宇治茶・茶道を楽しんで体験していただく施設です。
19	観光トイレ	観光客のみならず利用していただくためのトイレです。
20	総合野外活動センター（アクトバル宇治）	「自然とのふれあい、自然の中での交流」を目指した、自然体験型施設です。
21	植物公園	自然と緑に触れ、学び、楽しんでいただく施設です。
22	産業振興センター	宇治市の産業の振興及び地域情報化の推進を目的とした施設です。
23	ベンチャー企業育成工場	ものづくりベンチャー企業を育成する施設です。
24	産業会館	産業活性化の拠点となる施設です。
25	保育所	保育が必要な児童を預かり、保育するための施設です。
26	幼稚園／小学校／中学校／小中一貫校	幼児から中学生までが教育を受けるための施設です。
27	育成学級（専用施設）	放課後に保護者が昼間不在となる小学生に、遊びや生活の場を提供する施設です。
28	地域子育て支援基幹センター	子育てに関する相談や、子育て情報の提供など地域の子育て支援の拠点となる施設です。
29	地域福祉センター	市内に居住する高齢者の方の地域交流、福祉の情報提供、在宅福祉サービス実施のための施設です。
30	デイホーム	市内に居住する高齢者の方のレクリエーションなどの健康、福祉の増進のための施設です。
31	総合福祉会館	身体障害者、高齢者、福祉関係団体等を対象とした福祉事業の拠点となる施設です。
32	市庁舎	市が行政事務を行うために使用するとともに、各種申請等の受付を行う施設です。
33	保健・消防センター（うじ安心館）	市民生活の安全と保健福祉の充実を図る施設です。
34	消防署	市民の生命、身体及び財産を守る拠点となる施設です。
35	市営住宅	住宅にお困りの低額所得者にお貸しする住宅です。
36	駐輪場	駅への自転車等利用者のための施設です。
37	斎場	火葬や葬儀を執り行う場を提供する施設です。
38	墓地公園	公園と一体となった、故人を追慕するための施設です。
39	農業共同作業所	農業の振興を図る施設です。
40	内職センター	内職者対策事業を行うための施設です。

(3) 築年別の整備と耐震化の状況

①公共施設

本市では、人口の増加や市民ニーズの拡大などに伴い、昭和60年（1985年）頃までに多くの公共施設の整備を進めてきました。

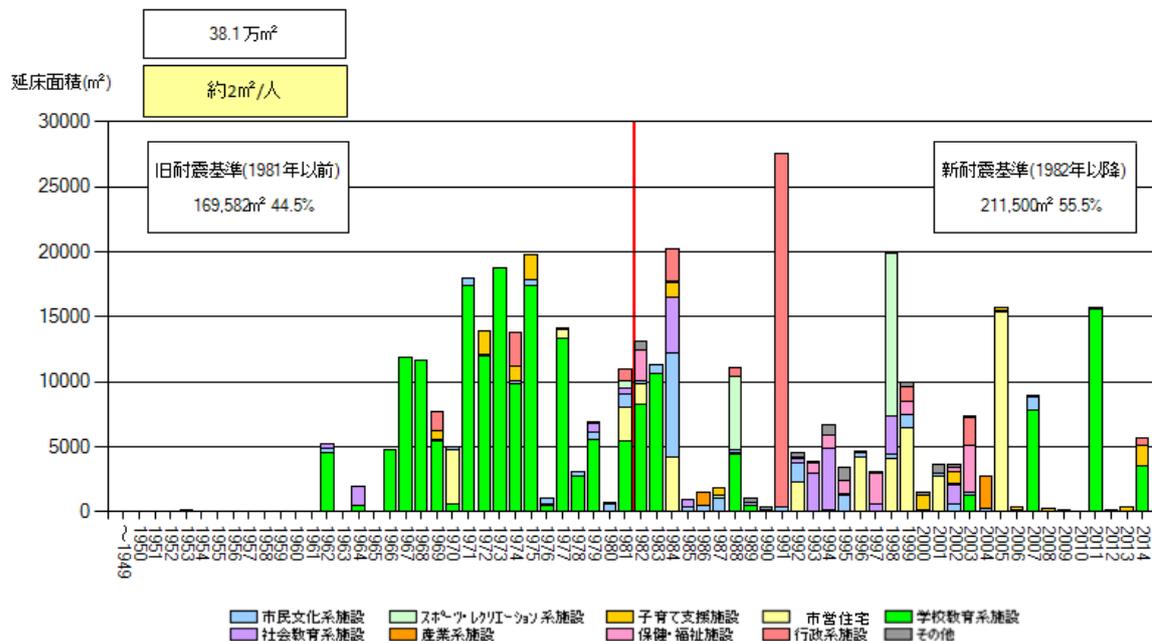
本市における公共施設の築年数は平均32年となっています。施設を適時適切に修繕した場合でも、建築物の標準的な耐用年数は60年（日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」）とされていることを踏まえると、今後30年の内に、計画的に長寿命化を図る一方で、建替えの検討が必要な施設もあります。

その中でも、整備から40年以上を経過している施設は51施設（全施設の18.3%）、整備から30年以上40年未満経過している施設は86施設（全施設の30.8%）あります。このように、老朽化が進み、今後30年で建替え等が必要となってくる施設は137施設（全施設の49.1%）あり、さらに延べ床面積は全施設の約56%となっており将来の施設更新の課題の顕在化が見込まれます。

また、現行の新耐震基準が施行された昭和56年6月1日よりも前に整備された施設が約半数ありますが、幼児・児童・生徒の教育の場として、さらに地域防災における緊急時の避難場所としても位置づけられている小中学校や幼稚園をはじめとして、保育所や市営住宅などについて耐震の補強工事を優先的に実施してきており、一部耐震化が未実施の施設があるものの市有建築物の耐震化率は平成27年度末で90%以上を達成しています。

今後も安全・安心な公共施設づくりのため、耐震化が未実施の公共施設についても引き続き耐震化を進めていく必要があります。

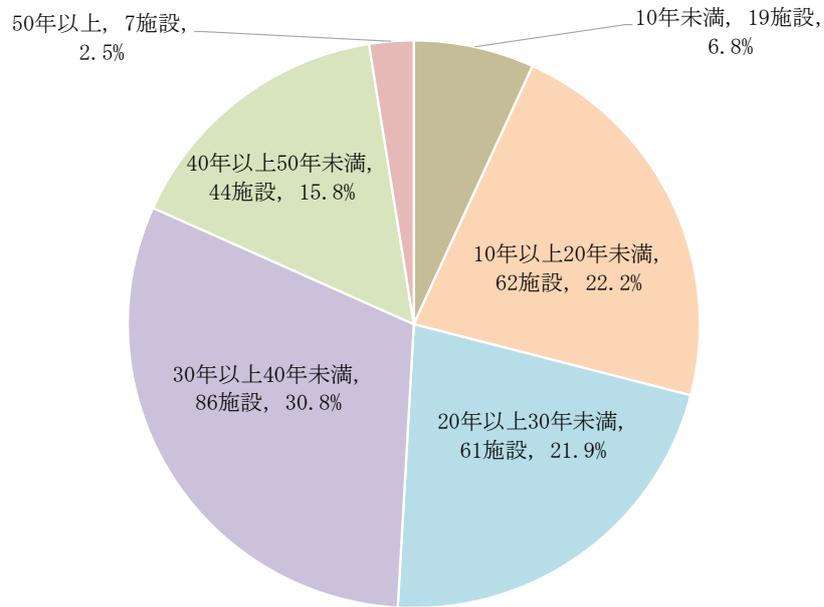
【公共施設 築年別の整備と耐震化の状況】



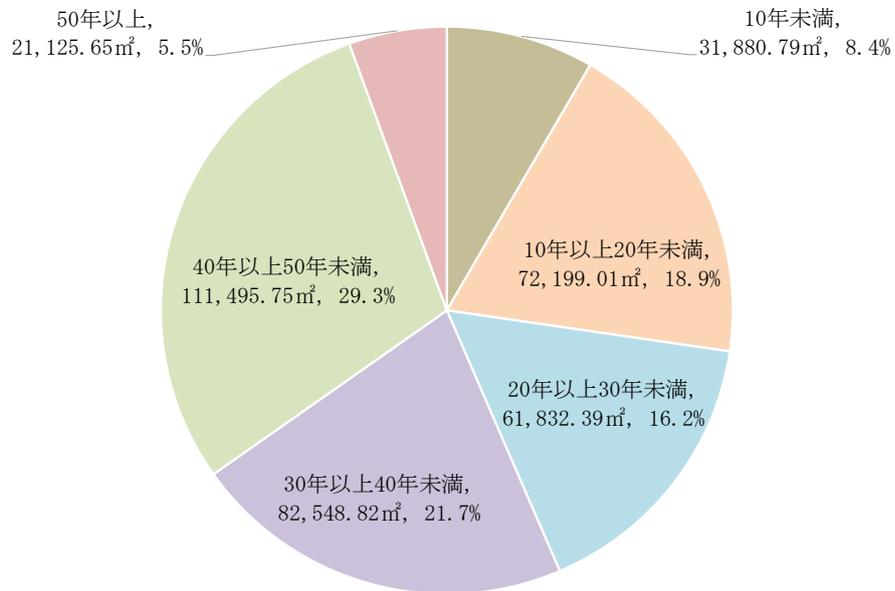
(出所：総務省による公共施設等更新費用試算ソフトを用いて作成)

築年別の公共施設の整備状況をみると、昭和30年代の後半から昭和50年代にかけて、数多くの学校教育施設を整備してきたことがわかります。また、延べ床面積の大きい主な公共施設として、昭和59年（1984年）には文化会館、歴史資料館及び斎場などを、昭和63年（1988年）には木幡河原市営住宅や黄檗公園などを、平成3年（1991年）には市庁舎等を、平成10年（1998年）には総合野外活動センター、西宇治公園、源氏物語ミュージアムなどを、平成17年（2005年）には黄檗市営住宅を、平成23年（2011年）には宇治小学校・黄檗中学校（宇治黄檗学園）等をそれぞれ整備してきました。

【公共施設 整備からの経過年数の状況（施設数）】



【公共施設 整備からの経過年数の状況（延べ床面積）】



②インフラ資産

ア 道路

道路の総量(一般道路、自転車歩行者道、農道、林道)は、総延長620,195 m、総面積3,286,297㎡となっています。

なお道路は15年ごとに舗装替えを行うことが一般的であり、舗装替えは必要に応じてこれまでも実施しています。

【道路の整備状況】

①一般道路

道路種別	路線数	総延長 (m)	道路面積道路部 (㎡)
1級(幹線) 市道	32	34,203	348,900
2級(幹線) 市道	30	35,919	218,111
その他の市道	3,065	526,442	2,711,209
合計	3,127	596,564	3,278,220

②自転車歩行者道

道路種別	路線数	総延長(m)	道路面積自転車歩行者道部 (㎡)
自転車歩行者道	7	1,952	3,247

③農道、林道

道路種別	路線数	総延長(m)	舗装面積 (㎡)
農道	3	421	130
林道	9	21,258	4,700

合計

	路線数	総延長(m)	道路面積 (㎡)
合計	3,146	620,195	3,286,297

イ 橋りょう

橋りょうは総延長3,524m、総面積24,876㎡となっています。

また、橋りょうの耐用年数を60年とすると、今後30年以内に耐用年数が到来する又は既に耐用年数が到来している橋りょう（経過年数30年以上の橋りょう）は132本（全橋りょうの39.9%）、総延長で1,252m（全橋りょうの35.5%）、面積は5,593㎡（全橋りょうの22.5%）です。

【橋りょうの整備状況】

経過年数	橋りょう数	総延長 (m)	面積 (㎡)
10年未満	7	59	148
10年以上 20年未満	43	672	7,082
20年以上 30年未満	149	1,541	12,053
30年以上 40年未満	89	577	2,969
40年以上 50年未満	32	475	1,909
50年以上 60年未満	10	146	607
60年以上	1	54	108
合計	331	3,524	24,876

ウ トンネル

トンネルは4箇所、総延長は1,001mです。なおこれらの整備年度は平成9年及び平成16年と比較的新しく整備された施設となっています。

【トンネルの整備状況】

番号	名称	種別	延長 (m)	幅員 (m)
1	黄檗トンネル	その他の市道	620	10.3
2	岩分第一トンネル	2級(幹線) 市道	91	8.0
3	岩分第二トンネル	2級(幹線) 市道	67	8.0
4	白川トンネル	林道	223	9.3
合計			1,001	

エ 上水道

本市の上水道は、昭和25年に軍用水道施設を転用し、市内一部に給水を開始しました。

以後、今日まで給水の普及に取り組んできましたが、水道施設の老朽化が進んでおり、有形固定資産の減価償却率は全国平均と比較してやや高い水準にあります。(平成26年決算ベース：有形固定資産減価償却率本市55.1%、類似団体平均値46.3%)

【上水道の整備状況】

分類	主な構成施設
上水道	管路、管理棟、浄水場、配水池等

上水道の普及率は、平成26年度末現在、99.5%です。

主な施設は、管路672km、浄水場6箇所、配水池8箇所です。

オ 下水道（污水）

本市の下水道は、昭和61年に供用を開始しました。下水道施設等については、現在も管渠整備に取り組んでいることから、比較的新しい管渠が多くなっていますが、開発等に伴い民間で整備され受贈を受けた管渠については老朽化したものが多くなっています。

【下水道（污水）の整備状況】

分類	主な構成施設
下水道	管路、管理棟、汚水処理場等

下水道整備率は、平成26年度末現在、88.4%です。

主な施設は、管路470km、汚水処理場1箇所、ポンプ場2箇所です。

カ 河川・排水路

都市化の進展に伴う雨水の流出量の増大や近年多発している局地的豪雨に対応した治水対策とあわせ、快適な生活環境の確保を図るため、準用河川・普通河川及び排水路の改修や整備に努めています。

【河川・排水路の整備状況】

分類		延長（m）
河川法の適用を受けるもの		1,610
下水道法の適用を受けるもの	公共下水道（雨水）	13,820
	都市排水路	4,480
その他	普通河川・その他水路	119,110

キ ため池

ため池は、3施設あります。なお、管理者は地元管理組合であり、工事は本市が行っています。

ク 公園

公園は、500施設、総面積554,924㎡であります。また、公園に付設されている便所については18箇所あります。

なかでも、地域に密着した小規模な遊園が298施設（全公園の60%）あります。

【公園の整備状況】

分類	施設数（施設）	面積（㎡）
街区公園	151	150,615
近隣公園	1	9,270
総合公園	1	101,675
地区公園	3	140,051
都市緑地	23	45,491
風致公園	1	40,014
緑道	1	3,703
歴史公園	1	7,064
遊園	298	52,974
緑地	20	4,067
合計	500	554,924

これらのインフラ資産の多くは老朽化が進行しており、今後、更新費用の増大が見込まれるものの、市民に安全・安心にサービスを提供し続けるためには、更新費用の増大を抑制する必要があります。

6 公共施設等の将来の更新費用試算

現状の公共施設を全て更新する場合に、公共施設等の更新費用が財政的にどの程度の負担になるかを試算します。試算は総務省によるツールを用いていますが、公共施設については、総務省によるツールよりも分類を細分化し精緻化するとともに、市で設定した単価など定められた仮定に基づいて行います。なお、インフラ資産については、市で設定した単価等と総務省が定めた単価に大きな相違が見られなかったため、総務省によるツールをそのまま用います。

(1) 前提条件

①公共施設

長期的な観点から、今後40年間、このまま施設を全て保有し続けるとして、次の前提条件により試算を行います。

なお、直近5年間の投資的経費については、各年度の普通建設事業費（公共施設関係）とし、物価の変動については考慮しないと仮定します。

※総務省公共施設等更新費用試算ソフトを用いて試算

前提条件
(算定方法)
<ul style="list-style-type: none">● 目標耐用年数は60年と仮定し、建替えまでの中間である30年後に大規模改修を行うとし、竣工年から60年後に建替えを行うとする。● 大規模改修及び建替えに要する費用は次頁の単価表に更新対象となる施設の面積を乗じた金額とする。● 大規模改修は2年をかけて実施すると仮定する。また、大規模改修の積み残し処理を割り当てる年数については、試算の時点で、建設時からの経過年数が31年以上50年未満のものについては今後10年間で均等に大規模改修を行うと仮定し、建設時より50年以上経ているものについては建替えの時期が近いため、大規模改修は行わずに60年を経た年度に建替えると仮定する。● 建替えは3年をかけて実施すると仮定する。また、試算時点で更新年数を既に経過し、建替えられなくてはならないはずの施設が、建替えられずに残されている場合には試算初年度において一度に建替えが行われたと仮定する。● 本市が保有している公共施設を全て現状の面積で今後も保有するとする。● 次頁の【単価表】における「その他」は便所及び駐輪場などに用いる単価である。● 建築物が複数ある場合は、そのうち代表的な建築物の竣工年度を基に将来の更新費用を試算している。

前提条件			
【市独自の単価表】			(千円/㎡)
類型（大分類）	中分類	大規模改修	建替え
市民文化系施設	集会施設（集会所）	150	240
	文化施設	370	590
	上記以外	200	320
社会教育系施設	源氏物語ミュージアム	370	590
	上記以外	200	310
スポーツ・レクリエーション系施設		230	400
産業系施設		210	330
学校教育系施設	小学校、中学校	170	320
	幼稚園	170	330
子育て支援施設	幼児・児童施設	110	200
	保育所	170	330
保健・福祉施設		180	320
行政系施設		240	370
市営住宅		170	270
その他		90	160

上記更新単価（建替え）は、本市における過去 20 年間の設計ベースの㎡単価を基に設定したものである。なお、大規模改修単価は総務省公共施設等更新費用試算ソフトにおける類型別の「大規模改修÷建替え」の割合を用いて設定したものである。

- なお、以下の施設については対象施設一覧に記載の類型（大分類）と更新費用シミュレーションで使用する類型別単価は異なっている。

施設名	対象施設一覧	更新費用シミュレーション
斎場	その他	行政系施設
墓地公園管理棟	その他	行政系施設
宇治駅前交番	その他	社会教育系施設 (源氏物語ミュージアム以外)
善法農業共同作業所	その他	行政系施設
旧中消防署	その他	行政系施設

②インフラ資産

今後40年間、現在敷設している道路、橋りょう、上下水道及び公園便所をそのまま維持し続けるとして次の前提条件により試算を行います。

なお、直近5年間の投資的経費については、各年度の普通建設事業費（インフラ資産関係）とし、物価の変動については考慮しないと仮定します。

※総務省公共施設等更新費用試算ソフトを用いて試算

種別	前提条件				
道路	(算定方法) ● 1年当たり更新費用＝敷設面積÷15年×4,700円/m ²				
橋りょう	(算定方法) ● 耐用年数（60年）到来後に更新対象の橋りょうと同じ面積で更新するとする。 ● 更新単価は、PC（プレキャストコンクリート）橋は425千円/m ² 、鋼橋は500千円/m ² とする。 ● 現在、構造が鋼橋のものは鋼橋で更新するが、その他の構造のものはPC橋で更新するのが一般的であるため、PC橋で更新するとする。				
上水道	上水道事業は独立採算であるが、総務省公共施設等更新費用試算ソフトの考え方に従い、更新費用の算定に含めている。 (算定方法) ● 管路については耐用年数（40年）到来後に更新対象の管路と同じ延長で更新するとし、建物については公共施設の試算方法に準じて試算する。 【単価表】 (千円/m ²) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>大規模改修</th> <th>建替え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">200</td> <td style="text-align: center;">360</td> </tr> </tbody> </table> ● 管路の更新単価は、次頁のとおりとする。 ● 試算時点で更新年数を既に経過し、更新しなくてはならないはずの管路が、更新されずに残されている場合には試算初年度から5年間で均等に更新を行うと仮定する。	大規模改修	建替え	200	360
大規模改修	建替え				
200	360				

種別	前提条件			
● 管径別				
管径		導水管/送水管	管径	配水管
300 mm未満		100 千円/m	50 mm以下	97 千円/m
300～500 mm		114 千円/m	75 mm以下	
500～1000 mm未満		161 千円/m	100 mm以下	
1000～1500 mm未満		345 千円/m	125 mm以下	
1500～2000 mm未満		742 千円/m	150 mm以下	
2000 mm以上		923 千円/m	200 mm以下	
耐用年数は40年とする			250 mm以下	103 千円/m
			300 mm以下	106 千円/m
			350 mm以下	111 千円/m
			400 mm以下	116 千円/m
			450 mm以下	121 千円/m
			500 mm以下	128 千円/m
			550 mm以下	
			600 mm以下	142 千円/m
			700 mm以下	158 千円/m
			800 mm以下	178 千円/m
			900 mm以下	199 千円/m
			1000 mm以下	224 千円/m
			1100 mm以下	250 千円/m
			1200 mm以下	279 千円/m
1350 mm以下	628 千円/m			
1500 mm以下	678 千円/m			
1650 mm以下	738 千円/m			
1800 mm以下	810 千円/m			
2000 mm以上	923 千円/m			

種別	前提条件													
下水道	<p>下水道事業は独立採算であるが、総務省公共施設等更新費用試算ソフトの考え方に従い、更新費用の算定に含めている。</p> <p>(算定方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 耐用年数 (50 年) 到来後に更新対象の管路と同じ延長で更新するとし、建物については公共施設の試算方法に準じて試算する。 <p>【単価表】 (千円/m²)</p> <table border="1" data-bbox="451 586 1410 685"> <thead> <tr> <th data-bbox="451 586 952 633">大規模改修</th> <th data-bbox="952 586 1410 633">建替え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="451 633 952 685">200</td> <td data-bbox="952 633 1410 685">360</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● 管路の更新単価は、以下のとおりとする。ただし、直近5年間の投資的経費から新規整備分を除く。 ● 管種別 <table border="1" data-bbox="451 831 1410 1077"> <thead> <tr> <th data-bbox="451 831 791 878">管種</th> <th data-bbox="791 831 1099 878">耐用年数</th> <th data-bbox="1099 831 1410 878">総量把握更新単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="451 878 791 925">コンクリート管</td> <td data-bbox="791 878 1099 1077" rowspan="4">50 年</td> <td data-bbox="1099 878 1410 1077" rowspan="4">124 千円/m</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 925 791 972">陶管</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 972 791 1019">塩ビ管</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 1019 791 1077">更生管</td> </tr> </tbody> </table>	大規模改修	建替え	200	360	管種	耐用年数	総量把握更新単価	コンクリート管	50 年	124 千円/m	陶管	塩ビ管	更生管
大規模改修	建替え													
200	360													
管種	耐用年数	総量把握更新単価												
コンクリート管	50 年	124 千円/m												
陶管														
塩ビ管														
更生管														
公園便所	<p>(算定方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設の試算方法に準じて、耐用年数 (60 年) 到来後に更新対象の公園便所と同じ面積で更新するとする。 													

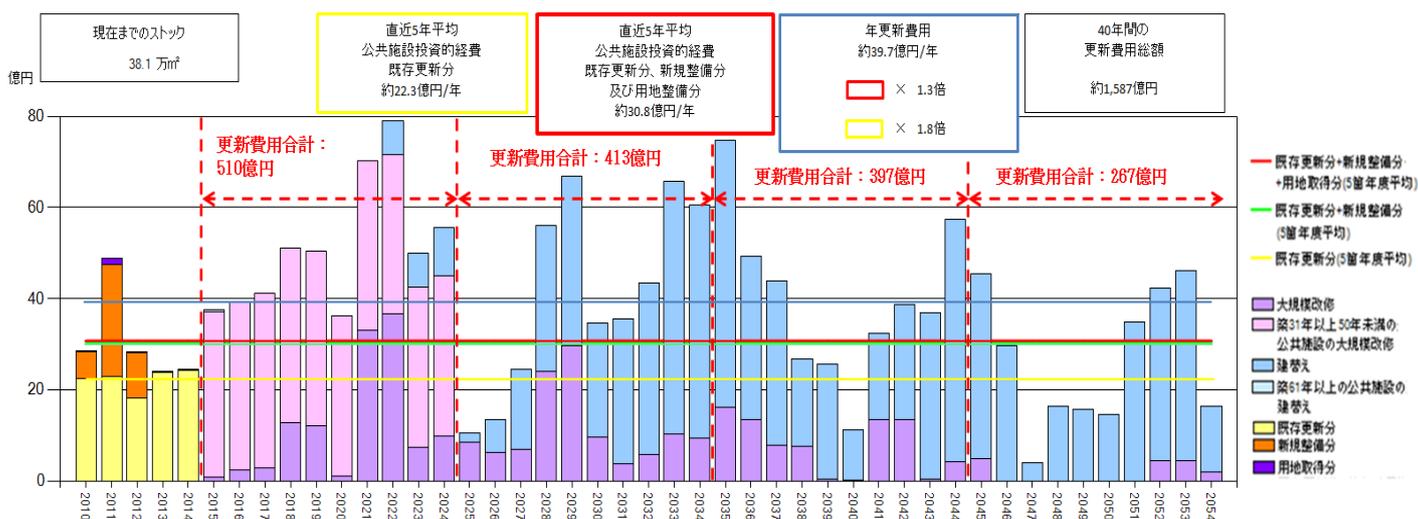
(2) 試算結果

① 公共施設

今後40年間、公共施設をそのまま保有し続けることを前提に更新費用を試算すると、40年間で総額約1,587億円、年平均約40億円となります。

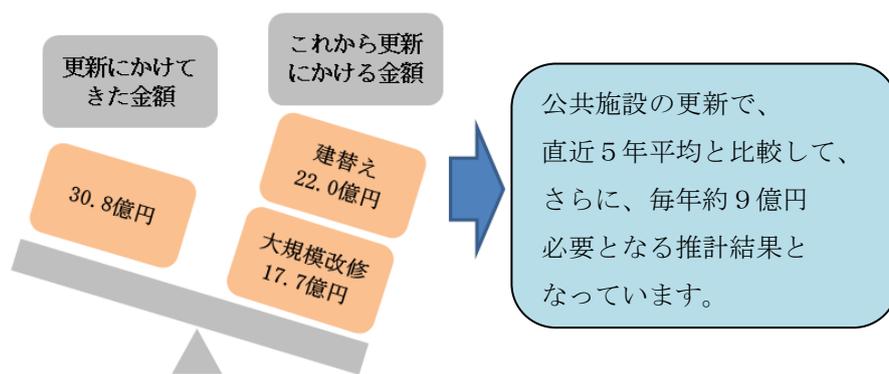
なお、総務省の単価で試算すると、40年間で総額約1,653億円、年平均約41億円となります。

【将来の公共施設の更新費用の推計】



(出所：総務省公共施設等更新費用試算ソフトを用いて作成)

特に今後40年間のうち、最初の10年間における公共施設の大規模改修及び建替えに伴う更新費用が510億円と最も多く要する推計結果となっています。

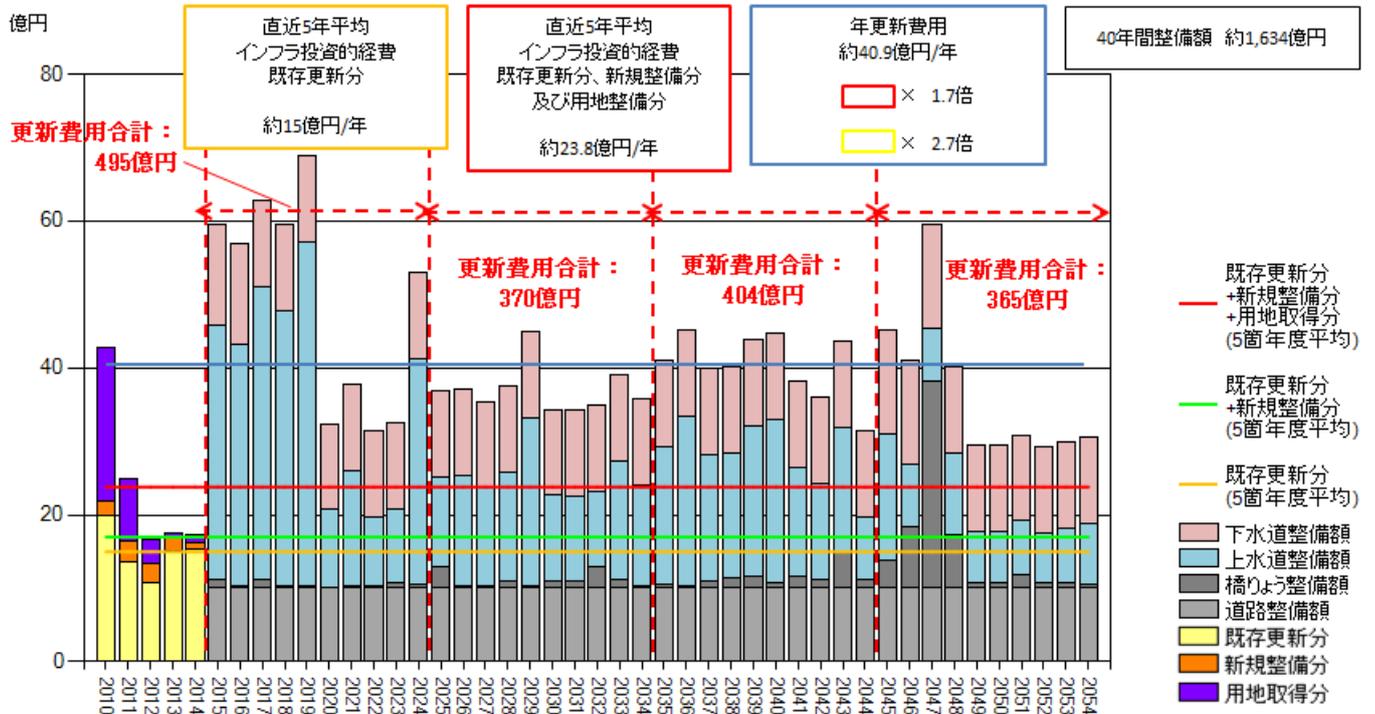


	40年間総額 (億円)	年更新費用 (億円/年)	投資的経費に対する倍率	
			既存更新分、新規整備分及び用地取得分 (倍)	既存更新分 (倍)
総務省ベース	1,653	41.3	1.3	1.9
市独自	1,587	39.7	1.3	1.8

②インフラ資産

今後40年間、現在敷設している道路等をそのまま維持し続ける場合、40年間で総額約1,634億円、年平均約41億円となります。

【将来のインフラ資産の更新費用の推計】



(出所：総務省公共施設等更新費用試算ソフトを用いて作成)

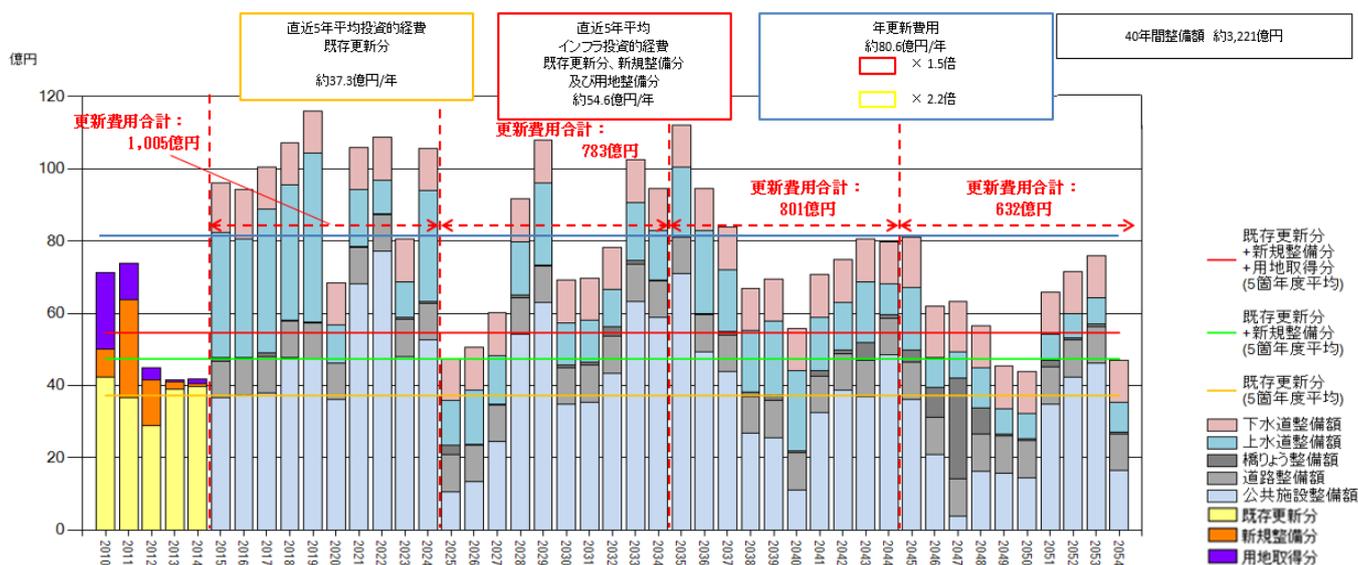
特に今後40年間のうち、最初の10年間におけるインフラ資産の更新費用が495億円と最も多く要する推計結果となっています

③まとめ

公共施設及びインフラ資産の更新費用の試算結果を合算したグラフは次のとおりになります。

今後40年間、公共施設及びインフラ資産をそのまま保有し続けることを前提に総務省公共施設等更新費用試算ソフトを用いて試算すると、40年間で総額約3,221億円、年平均約80億円となります。公共施設及びインフラ資産の更新費用の試算結果のとおり、将来の更新費用が現状の投資額の水準を上回っていることが推計されており、厳しい状況となっています。

【将来の公共施設等の更新費用の推計】



(出所：総務省公共施設等更新費用試算ソフトを用いて作成)

特に今後40年間のうち、最初の10年間における公共施設等の大規模改修及び建替えに伴う更新費用が1,005億円と最も多く要する推計結果となっています。

このことから、公共施設等のあり方そのもの見直しや、公共施設等の維持管理経費の削減についてもあわせて検討する必要があります。

【本市の公共施設等の現状と課題】

	現状	課題
人口 推移	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少が進行 ●少子高齢化が進展 	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少、少子高齢化を見据えた公共施設等のあり方 ●未来の宇治のまちづくり等、将来ビジョンをもった取組
財政 状況	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少に伴う市税収入への影響がある ●公共施設及びインフラ資産の新規整備や、施設の大規模改修や修繕、耐震化に係る財源を十分に確保することが非常に厳しい状況になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ●健全かつ持続可能な財政運営の実施 ●公共施設等の維持管理経費の削減 ●財政の平準化
公共 施設等 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設の老朽化・耐震性能が懸念される ●インフラ資産についても老朽化への対策が必要になる 	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設保有量の見直し ●老朽化・耐震化への対応 ●維持管理の効率化と施設運営の見直し ●公共施設・インフラ資産の長寿命化 ●市有財産の有効活用 ●時代に即した施設の整備

第3章 市民意向の把握

1 市民アンケートの概要

(1) アンケート実施目的

本市では、公共施設の老朽化、人口減少・少子高齢社会の進展、厳しい財政状況等を踏まえ、将来にわたって地域の実情にふさわしい、公共施設サービスのあり方を検討する中で、市民の公共施設に関する意向を把握するためアンケートを実施しました。

(2) アンケート方法

実施期間：平成28年7月1日～7月15日

配布方法：宇治市在住の18歳以上の3,000名を無作為抽出し調査票を郵送

(3) 回答状況

回答数：749名 回答率：25.0%

(4) 実施結果の概要

①公共施設の現状認識とあり方に関する質問

公共施設の現状と課題について、公共施設の老朽化については80.4%の方が、人口減少・少子高齢社会の進展については85.7%の方が、財政の状況については81.7%の方がそれぞれ関心を持っていることがわかりました。

本市の将来のまちづくりを見据えた上で、今後の公共施設の総量については、47.5%の方が減らすべきであるとの意見、22.4%の方が維持し続けるべきであるとの意見、3.5%の方が増やすべきであるとの意見となりました。

今後の公共施設の方向性として、全ての施設において「現状維持」と回答された方が最も多くなりました。

そのような中、「減らす方向」と考える方の割合については「集会所」40.4%が最も高く、次いで「青少年センター」34.5%、「隣保館（コミュニティワークうじ館、こはた館）」32.2%、「公民館」32.2%、「ふれあいセンター」31.1%の順となりました。

また、「増やす方向」と考える方の割合については「保育所」37.9%が最も高く、「観光トイレ」32.6%、「デイホーム」27.4%、「駐輪場」24.8%、「小中一貫校」22.0%の順となりました。

公共施設の整備や施設の管理・運営などの手法について、実施すべきとの意見で割合が高かった項目は「あまり利用されていない公共施設は廃止

又は縮小する。」87.3%、「機能が類似した施設は統合する。」87.1%、「公共施設の機能の複合化や多機能化の手法を活用する。」82.4%、「現在の公共施設を計画的に改修するなどして、できるだけ長い間使用する」72.5%、「今後、公共施設の建替えなどに多額の費用が必要になるときに備え、計画的に基金(貯金)を蓄える。」79.1%、「利用していない土地や施設を売却、賃借して収入を得る。」87.2%、「施設を更新する場合は、施設用途やニーズの変化に柔軟に対応できるものとする。」85.8%となりました。

一方、実施すべきとの意見で割合が低かった項目は「利用者が少ない施設は費用をかけてでも、施設サービスを充実させる。」12.7%、「コストを削減するために、運営内容や運営時間などのサービス水準を引き下げる。」29.8%となりました。

②公共施設の利用状況と重要性に関する質問

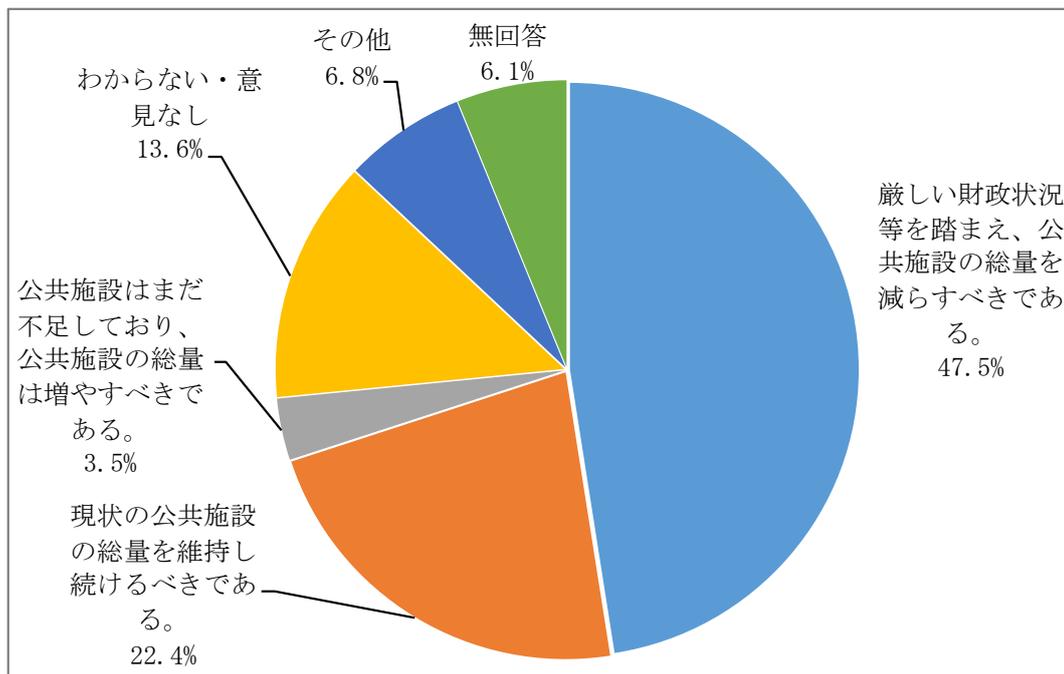
公共施設の利用状況について、32種類のうち、利用するとの回答が30%を超える施設は「集会所」、「コミュニティセンター」、「文化会館（文化センター）」、「図書館」、「源氏物語ミュージアム」、「黄檗公園／西宇治公園(体育館、プール含む)」、「植物公園」の7種類、利用しないとの回答が70%を超える施設は25種類となりました。

また、利用しないと回答された方の理由については、大半の施設において「利用する必要がない」、「施設があることを知らなかった」が多数となりました。

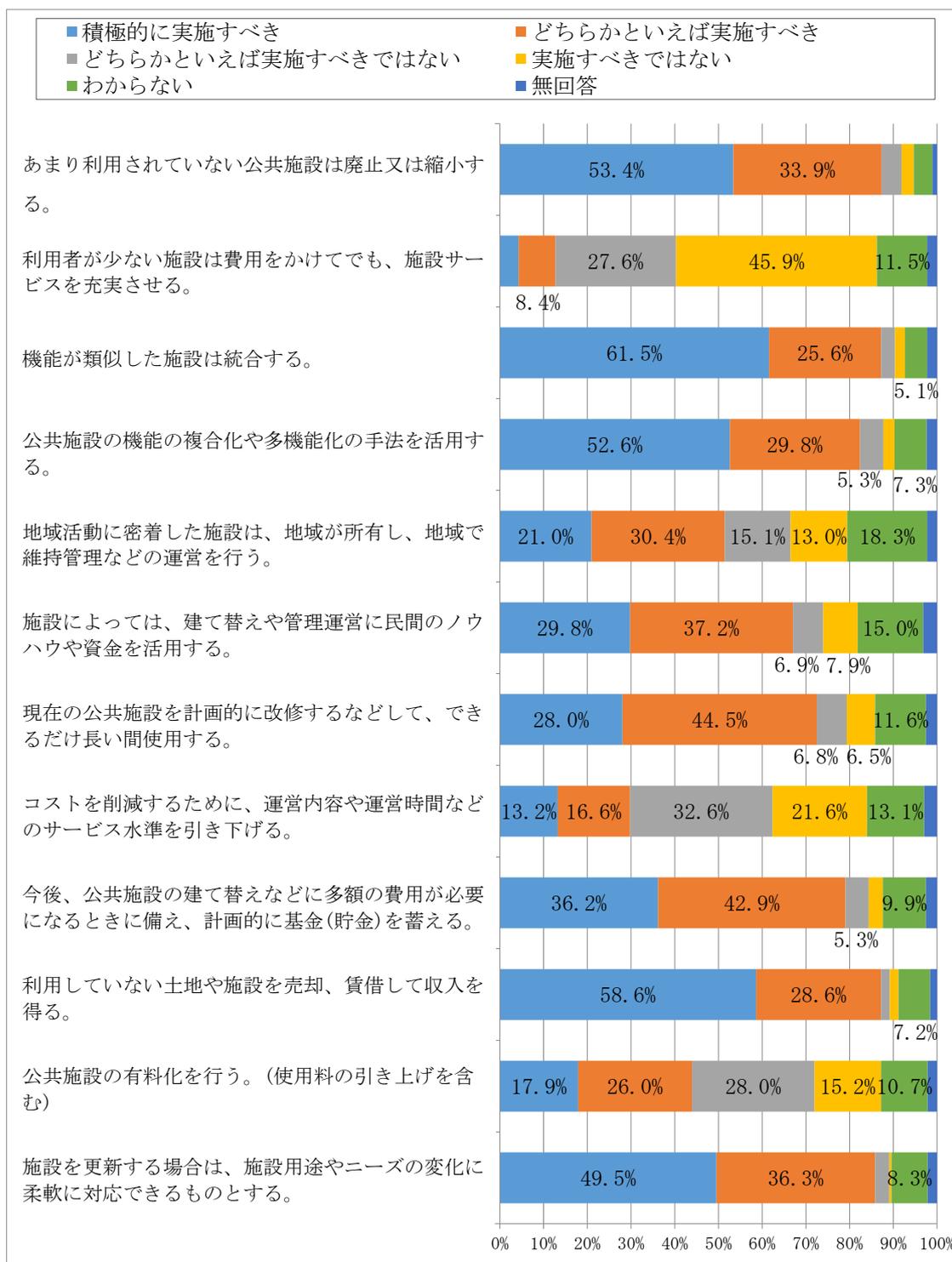
利用状況に関わらず重要だと思う（必要がある）公共施設について、「図書館」が最も高く81.8%の方が「重要だと思う」意見となり、次いで「文化会館（文化センター）」62.3%、「駐輪場」59.4%、「集会所」58.6%の順となりましたが、施設の設置目的や経過、利用状況などに関わらず、アンケートの結果としては「重要だと思う」割合の低い施設もありました。

地区別にみると、コミュニティセンターやふれあいセンターなどで、近くに住む地域の方の重要だと思う割合が高い傾向にありました。

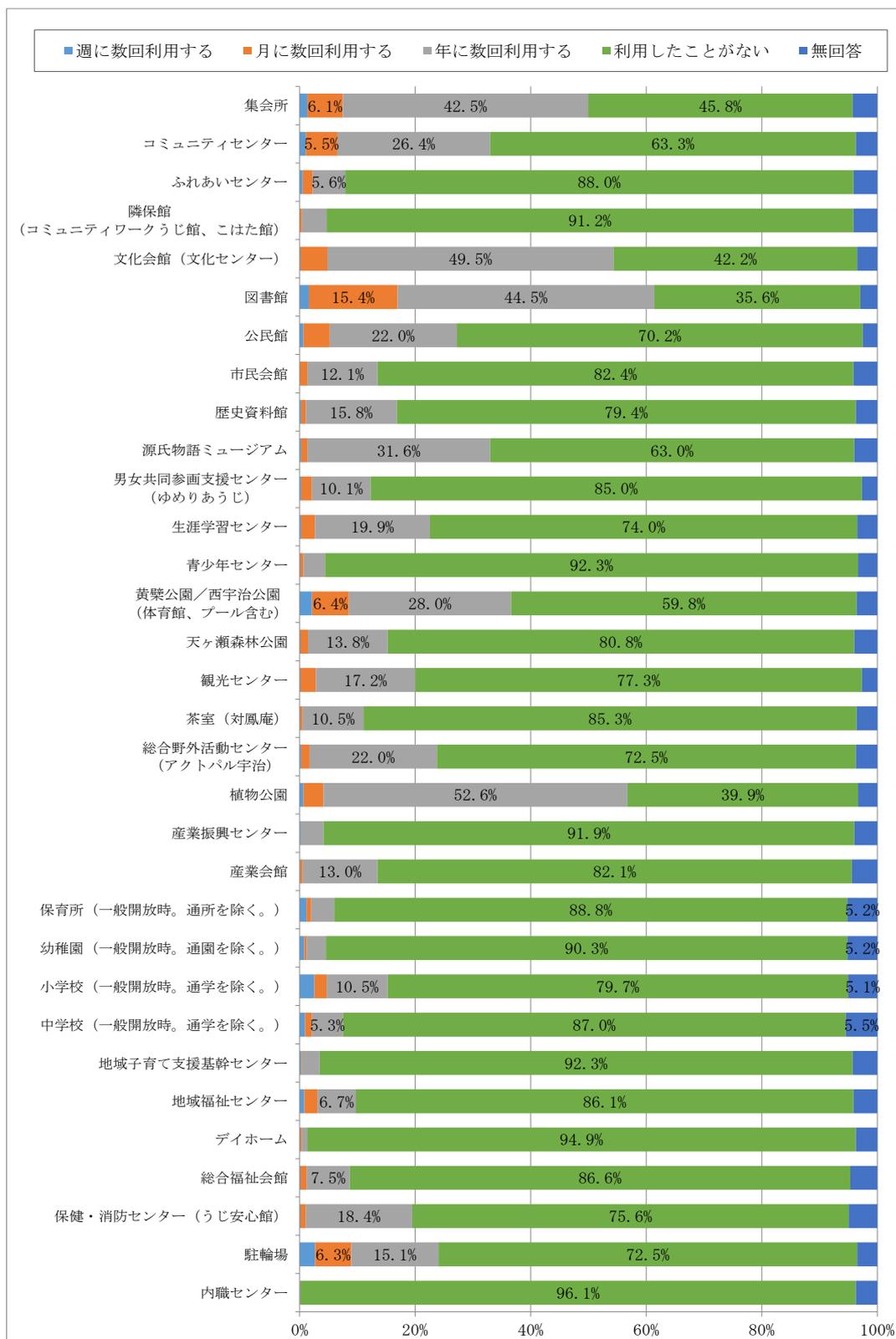
<将来のまちづくりを見据えた上での、今後の公共施設の総量について>



＜今後の公共施設の整備や施設の管理・運営等の手法について＞



＜公共施設の利用状況について＞



2 公共施設のあり方を考える市民懇談会等について

本市の公共施設等の状況について、市民への周知や情報共有を行うとともに公共施設等のあり方について市民とともに考える市民懇談会等を開催しました。

(1) 市民懇談会

開催場所	開催日	参加人数
榎島コミュニティセンター	平成28年12月17日（土）	8人
西小倉コミュニティセンター	平成28年12月17日（土）	11人
南宇治コミュニティセンター	平成28年12月23日（祝）	15人（内、傍聴4人）
東宇治コミュニティセンター	平成28年12月23日（祝）	30人
うじ安心館	平成28年12月23日（祝）	14人（内、傍聴1人）

(2) 大学生・高校生

開催場所	開催日	参加人数
京都文教大学地域入門	平成28年10月21日（金）	約400人
高校生「めっ茶、好きやねん！！～宇治に届け～」	平成29年1月17日（火）	10人

(3) 出前懇談会

開催場所	開催日	参加人数
茶摘ヶ丘町内会	平成29年2月18日(土)	35人
高砂台自治会	平成29年2月18日(土)	30人
公団中川原町内会	平成29年2月19日(日)	38人
広野三軒屋町内会	平成29年2月26日(日)	40人
宇治公民館、市民会館の存続を求める 中宇治の会	平成29年3月2日(木)	24人
半白連合町内会	平成29年3月3日(金)	17人
うぐいす台町内会	平成29年3月5日(日)	18人
府営西大久保団地連合自治会	平成29年3月7日(火)	10人
サロン槇の島	平成29年3月11日(土)	22人
全日本年金者組合	平成29年3月14日(火)	19人
新丸山町内会	平成29年3月19日(日)	12人
菟道車田連合町内会	平成29年3月22日(水)	9人
宇治市図書館友の会	平成29年3月24日(金)	7人
木幡平尾町内会	平成29年3月26日(日)	34人
東広野自治連合会	平成29年3月28日(火)	10人
中宇治みどりG	平成29年3月29日(水)	23人
南陵町自治会	平成29年4月1日(土)	12人
京都建設業協会	平成29年4月25日(火)	12人
宇治市青少年健全育成協議会	平成29年5月29日(月)	25人

(4) シンポジウム

開催場所	開催日	参加人数
公共施設シンポジウム	平成29年6月3日(土)	約120人

(5) その他

開催場所	開催日	参加人数
子育て広場(ひあにしおぐら)	平成28年12月13日(火)	5人
子育て広場(ぶんきょうにこにこルーム)	平成29年1月25日(水)	9人
子育て広場(りぼん)	平成29年1月26日(木)	14人
保護者としての意見(連合育友会)	平成29年2月2日(木)	31人
民生児童委員協議会	平成29年2月27日(月)	31人

3 市民意向の把握に向けた取組

市民意向の把握については、市民アンケート調査から、公共施設の総量自体は減らすべきであるとの意見が多くなっていますが、今後の公共施設の方向性としては、全ての施設において「現状維持」との回答が最も多い結果となりました。公共施設の整備や管理運営などの手法については、「あまり利用されていない公共施設は廃止又は縮小する」や「機能が類似した施設は統合する」、「公共施設の機能の複合化や多機能化の手法を活用する」の項目で、「実施すべき」との回答割合が高い結果となりました。

なお、市民アンケート結果からは、各施設の役割等について十分に市民に周知できているとは言えないこと、また、市民懇談会の参加人数からは、公共施設に対する関心は高いとは言えないことから、出前懇談会やシンポジウムを開催し、市民への周知に努めるとともに、市民の公共施設に対する関心を高める取組を行いました。

その結果として、約20回開催した出前懇談会では、「施設を安易に建替えるのではなく、長持ちさせる工夫が必要」や「今のまま建替えるのではなく、複合化や統廃合のような工夫が必要」といった長寿命化や複合化などの更新手法についての意見をいただきました。他にも、「公共施設の空きスペースの活用」や「公共施設は避難所として活用するので、耐震補強はしっかりしてほしい」などの意見とともに、「施設の統廃合などは、地元住民と十分話し合って、理解を求める努力をしてほしい」という意見もありました。

今後についても、将来のまちづくりを見据えた公共施設のあり方について、「市民もともに考える機運」をより高めていく取組が必要です。

【本市の公共施設等の現状と課題】

	現状	課題
市民意向	<ul style="list-style-type: none">●公共施設の総量は減らすべきである●公共施設の統合を積極的にすべきである	<ul style="list-style-type: none">●公共施設の方向性の見直し●公共施設の管理手法の見直し

第4章 公共施設等全体の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

1 公共施設等総合管理計画の基本方針

本市の公共施設等の現状と課題を踏まえ、次の基本方針を定めます。

(1) 宇治への愛着の醸成と市民による「ふるさと宇治」の創生のためのまちづくり、市民参画

未来の宇治のまちづくりといった将来ビジョンをもち、30年先の公共施設等のあり方を検討していく上では、市民参画・協働が重要となります。そのため、市民が参画する機会を確保するとともに、地域コミュニティやまちづくりなどの組織とも連携を図り、協働によるまちづくりを推進していきます。

また、人口減少、少子高齢社会の進展による人口構造の変化や多様化する市民ニーズを踏まえて、公共施設等に求められる機能（サービスの内容）の見直しを行います。その際には、地域ごとに様々な角度から効果的な検討ができるように、ワン・ストップ型で公共施設等のあり方を検討できる仕組みづくりを検討していきます。

(2) 公民連携

指定管理者や民間事業者のノウハウを活用するなどの取組について、その効果を十分検討した上で推進し、施設の管理運営面からの改善を図ります。また、新規整備にあたってはPPP/PFIなど民間活力の導入を推進するとともに、複合化等による整備費や維持管理経費の削減に努めるなど、公民連携を図り、特に民間活力を活かし、市民サービスの充実を図ります。

(3) 施設性能の保全

今後も保有し続ける公共施設等については、ライフサイクルコスト（LCC）を意識しながら、計画的な予防保全（修繕・改修）及び長寿命化により公共施設の耐久性を向上させます。また、日常点検等を実施し、日々の施設の安全性の確保に努めます。

(4) 財政的負担の低減

老朽化する公共施設等の適切な保全や長寿命化を図り、中長期的な観点から維持管理経費の削減に努めます。

また、厳しい財政状況のもと、持続可能な財政運営を推進するため、地方公会計の観点から財務諸表を活用した分析を行い、維持管理経費の適正化に努めるとともに、より公平かつ適正な受益者負担の観点も踏まえながら無料

施設や駐車場の有料化、施設の使用料の見直しなどを検討し、施設の有効活用による歳入増加に取り組みます。さらに、計画的な財源の確保と平準化を図るため、今後の大規模改修のみならず建替・更新のための基金を創設することを検討します。

(5) 公共施設総量の適正化

◆数値目標

○公共施設

延べ床面積を、平成 58 年度までに 20%削減することを目標とします。

38.1 万㎡（平成 26 年度） ⇒ 30.5 万㎡（平成 58 年度） 7.6 万㎡減

○インフラ資産

市民生活の基盤となるため削減目標は掲げず、今後の人口動向等を見据えながら、保有量の適正化を図ります。

公共施設総量の適正化に向け、公共施設の総量を今後 30 年間で延べ床面積ベースで 20%削減することを目指します。

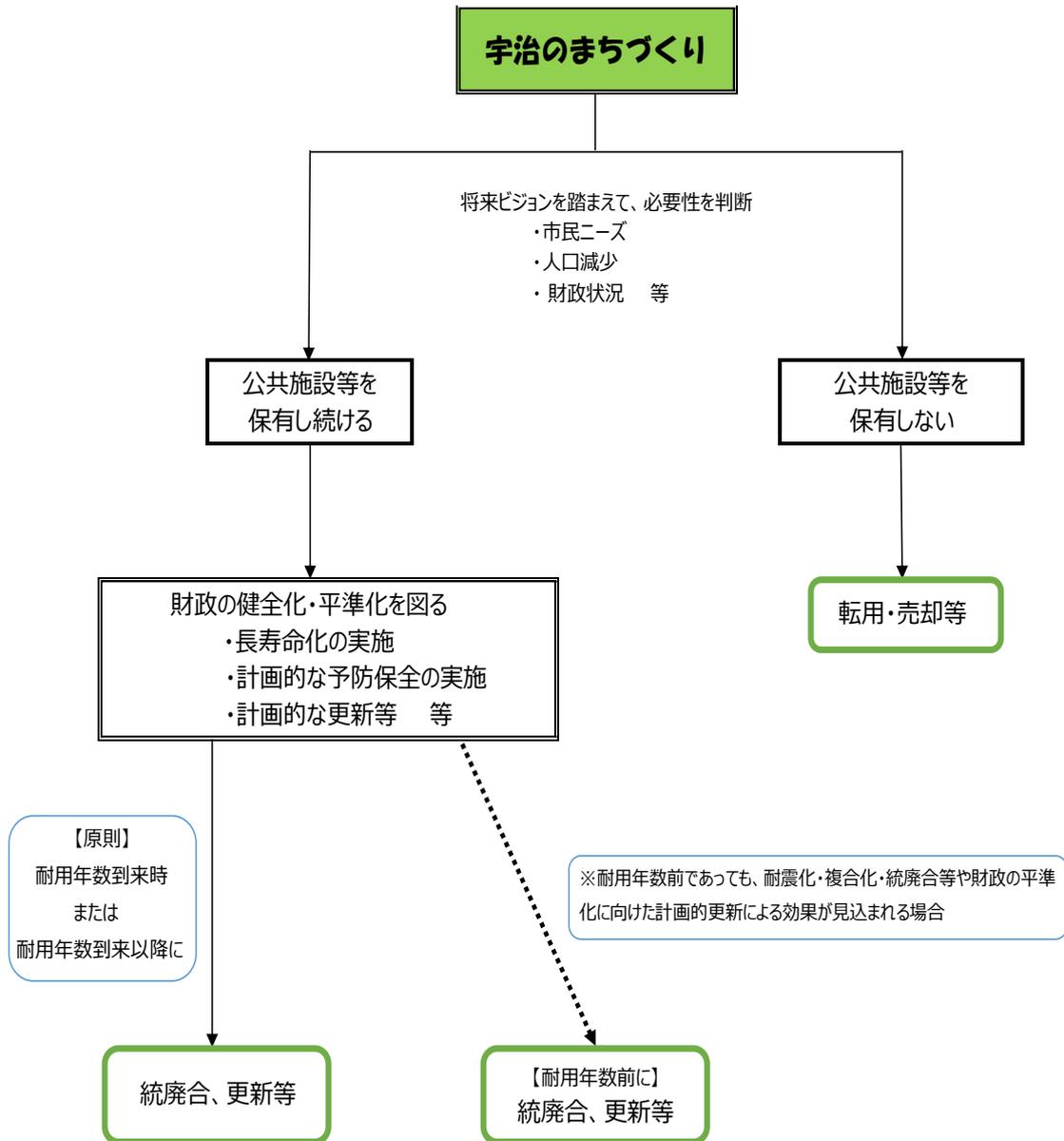
公共施設は、今後更新時期を迎える施設が多くあるため、そのまま全てを保有し続けると、更新費用が 5 年平均（平成 22～平成 26 年度）より毎年約 9 億円が必要となる試算結果（本市独自の単価を用いた総務省公共施設等更新費用試算ソフトによるシミュレーション結果）となっており、この更新費用を現在と同規模にするためには、全施設一律的に延べ床面積を削減する場合は約 23%の削減が必要と考えられます。

一方で、公共施設は市民生活において、重要な役割を担うことから、公共施設の長寿命化に取り組むとともに、より効果的・効率的な管理運営に努め、維持・更新費用等の縮減をあわせて取り組むことで、30 年後の人口減少率である 20%を削減目標とするものです。

なお、インフラ資産については市民生活の基盤となるため削減目標は掲げず、今後の人口動向やまちづくりの展望を見据えながら、保有量の適正化に努めるとともに、空き地等の活用についても検討します。

また、既存の複合施設においては、建築費や維持管理経費の削減、施設の有効活用といった利点があり、施設ではなく機能を確保していく観点から、今後においても複合化を進めることとします。このほか、今後の多様な行政ニーズに的確に対応するため、公共施設の必要性や役割などを十分検討した上で、必要な公共施設については新規整備等を行うこととします。

【基本方針の検討フロー図（考え方）】



2 公共施設等の管理に関する実施方針

公共施設等の管理に関する基本方針を着実に実行するために、公共施設等の管理に関する基本的な9つの実施方針を定めます。

(1) 点検・診断等

①公共施設

公共施設の適時・適切な保全等のためには、計画的に点検・診断を行い、施設の状況を適時・適切に把握することが前提となります。

今後、公共施設の長寿命化に繋がるよう適切な管理を行い、ライフサイクルコスト（LCC）の削減を図る観点で、各施設の状況を踏まえ、「予防保全」の考え方による点検・診断等を必要に応じて行います。

②インフラ資産

道路・橋りょう・トンネル・上水道・下水道等のそれぞれの分野において必要なインフラ資産の規模等を踏まえ、個別の長寿命化計画等に基づき、効果的・効率的な点検・診断を実施します。

(2) 維持管理・修繕・更新等

①公共施設

公共施設の維持管理経費は「当初建築費用及び大規模改修などからなる資産の減価償却費＋施設整備財源としての市債に係る利息＋維持管理費」からなります。

したがって、公共施設の維持管理経費を低減させるためには、当初建築費とともに維持管理費を適正化することが必要になります。

そこで、効果的・効率的な維持管理・修繕・更新等については次の取組を行います。

- 公共施設の更新の際には、施設類型をまたがった公共施設の複合化等による効果的・効率的な整備を検討します。
- 今後も維持していく公共施設については、事後保全ではなく、予防保全の考え方を取り入れた保全を行います¹。
- 公共施設の改修、新築時、設備更新時には、費用対効果等を考慮した上で、省エネルギーに資する運用改善や高効率機器の導入を検討します。

¹ 例えば、耐震工事の際に更新時期の近い設備等の更新を行うことや、天井内の配管を更新する際には天井撤去に伴う関連の工事を同時に行うことなどにより、関連する他の保全工事を同時に行うことにより、工事の重複を少なくし、工事費を削減します。

②インフラ資産

道路・橋りょう・トンネル・上水道・下水道等のそれぞれの分野において必要なインフラ資産の規模等を踏まえ、日常的・定期的な点検により判明した不具合には迅速に対応するとともに、個別の長寿命化計画等に基づき、効果的・効率的な維持管理・修繕・更新等を行います。

(3) 安全確保

①公共施設

継続して保有する公共施設は、市民が安全に利用できるように配慮する必要があります。そこで、次の取組を行います。

- 劣化・損傷等により安全面での危険性が認められた箇所は、応急対応とともに、適時に修繕等の対応を行います。
- 不要となった公共施設については、資源の再利用等を十分に検討した上で、周囲の住民の皆様への安全性等を考慮して、適時・適切に除却します。

②インフラ資産

市民が日常的に使うインフラ資産は、損傷等がなく安全に利用できるように配慮する必要があります。そこで、日常的・定期的な点検により判明した劣化・損傷等により安全面での危険性が認められた箇所については、迅速に修繕等の対応を行います。

(4) 耐震化

①公共施設

安全確保の実施において特に重要となるのが耐震化です。地震等の災害時に備えて十分な耐震性能を確保する必要があります。そのため、耐震診断の結果等を踏まえて、十分な耐震性能の確保を図ります。

耐震性能確保の方策検討の際には、公共施設の必要性等を見直した上で、他の公共施設との集約を含めた建替え、耐震補強、休止や廃止など複数の選択肢から効果的・効率的な対策を検討します。

また、公共施設は地震時に防災活動拠点となる建築物が多く、耐震化の必要性が高いことから、耐震化率 100%を目指すべき指標（耐震改修促進計画の市有建築物の目標：平成 37 年度末まで）とし、効果的・効率的な施策展開を図ります。

②インフラ資産

インフラ資産についても耐震化は重要であり、大規模地震発生時においてもライフラインを市民に提供できるように、道路・橋りょう・トンネル・上水道・下水道等のそれぞれの分野において必要なインフラ資産の規模等を検討した上で個別の長寿命化計画等を策定し、当該計画に基づいた耐震化等の対応を行います。

(5) 長寿命化

①公共施設

公共施設の維持管理経費は「当初建築費用及び大規模改修などからなる資産の減価償却費＋施設整備財源としての市債に係る利息＋維持管理費」からなりますが、公共施設の使用年数を長くすることによって単年あたりの維持管理経費を低減することができます。

そのため、長寿命化対策を計画的に行い、使用年数の延長を図ることを検討します。

社団法人日本建築学会編「建築物の耐久計画に関する考え方」によると、公共施設の躯体の使用年数については、高品質の鉄筋コンクリート造の場合は100年以上、普通品質の場合は60年以上とすることが望ましいとされています。これを参考として、施設評価を踏まえた優先度を設定した上で、一定の公共施設については積極的に長寿命化を図り、60年以上の使用年数の確保に努めることとします。

また、公共施設の長寿命化のためには、公共施設のハード面の長期化だけでなく、施設類型といったソフト面の対応力を高めるべく、将来の公共施設へのニーズの変化に柔軟に対応する必要があります。そこで、公共施設を整備する際には、維持管理の容易な設計を検討するとともに、類型変更や区画変更が容易な設計を検討することによって、将来の社会環境や市民ニーズの変化への対応力を高めます。

※既に策定済の個別の長寿命化計画

- 宇治市公営住宅等長寿命化計画

②インフラ資産

道路・橋りょう・トンネル・上水道・下水道等のそれぞれの分野において必要なインフラ資産の規模等を踏まえ、今後策定する計画も含めた個別の長寿命化計画*等に基づいた長寿命化を行います。

※既に策定済の個別の長寿命化計画

- 宇治市橋梁長寿命化修繕計画

(6) 総量適正化

①公共施設

人口減少、現状の公共施設の利用状況及び将来の財政負担から勘案すると、全ての公共施設を維持更新することは困難であると考えられます。そのため、市民サービスを将来にわたって提供するためには、公共施設総量の削減が必要です。

そこで、地域活性化の観点を意識しつつも、公共施設（機能）の統合、複合化、廃止などを検討する公共施設の適正化を進めるため、次の取組を行います。

- 当初の設置目的にとらわれず、現在及び将来の市民のニーズを踏まえた公共施設の再編を検討します。
- 人口の地域偏在を踏まえた公共施設の適正な配置を検討します。
- 利用者が一部に限られる公共施設は、地域主体の地域運営を検討します。
- 民間事業者で代替可能な事業は、「公共施設」というハコモノにとらわれず、事業の民営化や外部委託などを検討します。
- 市の敷地や空きスペースを含めた公共施設の有効活用について、民間施設への入居や合築などについても検討します。
- 全ての種類の公共施設を本市で整備するのではなく、国・府・周辺市町との広域連携の可能性を検討します。
- 公共施設の更新時には複合化等を進めることや一時的に民間施設の賃借利用を行うことを検討します。
- 新規に公共施設を建設する際には削減目標値を十分踏まえ総量の適正化を図ることを検討した上で実施します。
- 民間活力の導入推進を含めた効果的・効率的な管理運営・整備手法として、PPP/PFI の導入等についても検討します。

②インフラ資産

インフラ資産については現状提供しているサービス水準を維持するものの、人口減少、財政状況などを踏まえ、次の取組を行います。

- 必要性や事業効果などを検討した上で整備を行います。
- 民間活力の導入推進を含めた効果的・効率的な管理運営・整備手法として PPP/PFI の導入等についても検討します。

(7) 総合的かつ計画的な管理を実現するための個別施設管理実施計画の策定及び体制

本計画を着実に実現するためには、全庁的組織である「宇治市都市経営戦略推進本部」による本計画全体の進捗管理とともに、市民参画・協働によるまちづくりの推進とあわせて、これまでに示した各種方針に沿った個別施設管理実施計画の策定及び実施が重要な役割を担います。

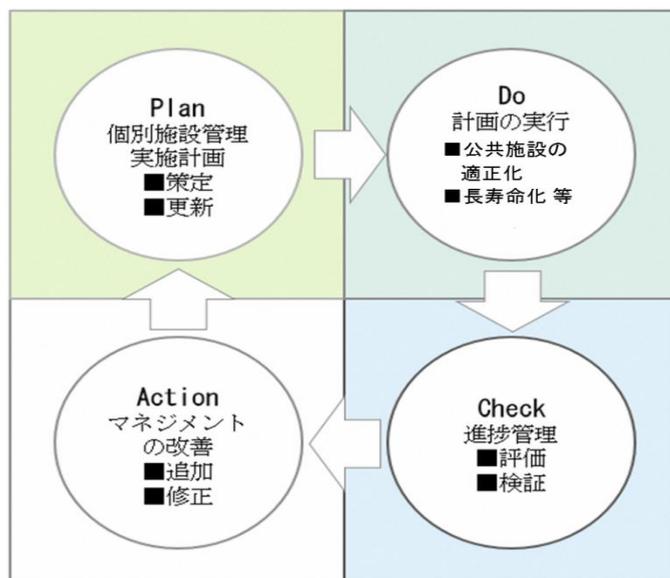
- 各公共施設の状況に応じて、今後策定する個別施設管理実施計画では、本計画で掲げる公共施設全体の削減目標値を踏まえながら、市民が参画する機会を確保するなどした上で、これまでに示した各種方針に沿って具体的な内容や年次計画を策定します。
- 耐震性能や経過などにおいて課題があり、早急に対応が必要な公共施設については、早期に個別施設管理実施計画を策定等するとともに、実施にあたっては、本市における最上位計画である総合計画の中期計画に位置づけて取組を進めます。
- 個別施設管理実施計画の策定において、他の類似する施設との機能の複合化等により、効果的・効率的な運営が可能であると想定される場合は、部署間の組織横断的な連携体制を構築し検討を進めます。
- 個別施設管理実施計画の策定において、新設・再編・更新・統廃合・複合化・長寿命化等を検討する際に、全庁的な調整が必要な場合は、「宇治市都市経営戦略推進本部」において、本計画との整合性や、市全体の観点からの効果的・効率的な整備手法などについて、検討することとします。

(8) 個別施設管理実施計画のマネジメント

個別施設管理実施計画を効果的・効率的に実行するとともに、その時々に対応した状況へと対応する必要性から PDCA サイクルに基づいたマネジメントを行い、必要に応じて、見直しを図ります。

なお、計画の実行にあたっては、様々な情報の公開・提供等により、市民への丁寧な説明に努めます。

【PDCA サイクル概念図】



(9) 今後の公共施設等アセットマネジメント

公共施設等アセットマネジメントを今後着実に進めていくためには、最新データの把握とともに、施設情報の開示についても重要であると考えます。

具体的には、公共施設等に関するストック情報（所在、構造、面積、建築年、耐震補強、修繕・改修実績など）、費用情報（建設費、維持管理費、運営費、減価償却費など）、利用情報（利用者数、利用属性（性別、地域別、団体別）、利用率など）の情報です。

一方で、平成28年度に地方公会計制度による固定資産台帳を整備しましたが、これらの台帳情報は公共施設等アセットマネジメントに多くの部分で活用が可能であることから、今後の公共施設等アセットマネジメントにあたっては、この固定資産台帳データ等を十分活用します。

本計画については、全庁横断的な組織である「宇治市都市経営戦略推進本部」で進行管理を行い、議会や市民、関係団体等との情報共有とともに、ご意見も伺いながら、外部有識者等による効果検証を行うなど、PDCAサイクルに基づくマネジメントを行いながら進めていくこととします。

第5章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

「第4章 公共施設等全体の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針」で示した内容により、公共施設等の見直し等を行っていきませんが、施設類型ごとの基本的な方針を次のとおり定めます。

なお、「③基本的な考え方」の全体的な方向としては、公共施設の将来の更新費用の試算等の費用分析や、公共施設の整備や管理運営などの手法についての市民アンケート調査の結果や出前懇談会でのご意見などを踏まえ、複合化や長寿命化などを基本としています。

また、これまでの経過や耐震性能に課題がある施設については、個別に具体的な方向性も記載しています。

1 市民文化系施設

(1) 集会施設（集会所）

① 施設の概要

集会施設（集会所）は、地域コミュニティの活性化を図るため、各種地域活動を行う施設であり、132施設あります。

その中には、築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎える施設が76施設（面積比57%）あり、そのうち、耐震補強が必要な施設は24施設あります。

【施設一覧】

※建築物が複数ある場合、「竣工」はそのうち、代表的な建築物のものです。

※耐震補強の「－」については、昭和56年6月1日以降の建築物、又は昭和56年5月31日以前の建築物で耐震診断の結果、耐震補強が不要のものです。（以下、この章において同様）

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強
集会施設	槇島集会所	129.60	昭和45年	－
	六地藏公会堂	163.65	昭和47年	－
	広野集会所	51.60	昭和49年	－
	矢落集会所	59.13	昭和49年	－
	砂田集会所	85.14	昭和50年	－
	若宮集会所	57.91	昭和50年	－
	西山集会所	56.77	昭和50年	－
	南山集会所	53.77	昭和50年	－

分類	施設名	延べ床面積 (m ²)	竣工年度	耐震補強
集会施設	三室戸集会所	57.96	昭和51年	-
	中ノ田集会所	52.65	昭和51年	-
	名木集会所	48.60	昭和51年	-
	広野丸山集会所	52.16	昭和53年	-
	伊勢田北集会所	56.70	昭和54年	-
	南遊田集会所	64.80	昭和54年	-
	名木西集会所	63.02	昭和54年	-
	笠取集会所	140.77	昭和55年	-
	中木幡集会所	23.35	昭和55年	-
	笠取南部集会所	104.34	昭和56年	-
	蔭山集会所	52.99	昭和56年	-
	広野宮谷集会所	57.96	昭和56年	-
	車田集会所	57.96	昭和56年	-
	城南荘集会所	246.62	昭和56年	-
	神明集会所	52.99	昭和56年	-
	川東集会所	156.08	昭和56年	-
	南部福角集会所	54.24	昭和56年	-
	落合集会所	68.73	昭和56年	-
	一番割集会所	49.69	昭和57年	-
	上権現集会所	80.00	昭和57年	-
	登り集会所	57.96	昭和57年	-
	平尾集会所	49.69	昭和57年	-
	宇治野神集会所	51.34	昭和58年	-
	羽拍子集会所	49.69	昭和58年	-
	広野寺山集会所	71.69	昭和58年	-
	西川原集会所	234.35	昭和58年	-
	折居台北集会所	67.18	昭和58年	-
	琵琶台集会所	165.62	昭和58年	-
	宇治橋通集会所	67.00	昭和59年	-
	市役所前集会所	50.51	昭和59年	-
	菟道集会所	168.84	昭和59年	-
	福角集会所	52.90	昭和59年	-
	北広野集会所	51.34	昭和59年	-
	戸ノ内集会所	50.51	昭和60年	-
	折居台南集会所	71.63	昭和60年	-
	南陵南集会所	69.55	昭和60年	-
	六地藏南集会所	50.11	昭和60年	-
	西岡屋会館	122.88	昭和60年	-
	伊勢田南集会所	56.72	昭和61年	-
	羽戸山集会所	185.68	昭和61年	-
御廟集会所	66.75	昭和61年	-	
折居台東集会所	80.74	昭和61年	-	
老ノ木集会所	52.17	昭和61年	-	
槇島十一集会所	56.72	昭和61年	-	
五ヶ庄東集会所	54.65	昭和62年	-	

分類	施設名	延べ床面積 (m ²)	竣工年度	耐震補強
集会施設	西浦東集会所	49.68	昭和62年	-
	西目川集会所	55.48	昭和62年	-
	南大久保集会所	49.68	昭和62年	-
	天神台集会所	124.56	昭和63年	-
	木幡檜尾集会所	54.65	昭和63年	-
	菟道北集会所	78.66	昭和63年	-
	大開集会所	66.86	平成元年	-
	南山南集会所	69.57	平成元年	-
	西広野集会所	59.02	平成元年	-
	南堀池集会所	56.31	平成元年	-
	下村集会所	54.65	平成2年	-
	広芝集会所	66.24	平成2年	-
	五ヶ庄南集会所	115.84	平成3年	-
	尖山集会所	66.24	平成3年	-
	大和田集会所	97.72	平成3年	-
	菟道南集会所	54.65	平成3年	-
	伊勢田集会所	150.71	平成4年	-
	平尾台西集会所	147.77	平成4年	-
	春日森集会所	49.69	平成6年	-
	東目川集会所	57.96	平成6年	-
	平盛集会所	56.31	平成6年	-
	紫ヶ丘集会所	140.78	平成7年	-
	平尾台東集会所	149.92	平成7年	-
	広野三軒家集会所	75.36	平成8年	-
	寺山台集会所	112.62	平成8年	-
	中畑集会所	128.16	平成8年	-
	宮西集会所	57.97	平成10年	-
	御蔵山集会所	162.31	平成10年	-
	砂田北集会所	72.45	平成10年	-
	広岡谷集会所	54.65	平成11年	-
	広野友が丘東集会所	122.97	平成11年	-
	須留集会所	48.03	平成11年	-
	吹前集会所	99.84	平成12年	-
	志津川集会所	94.40	平成13年	-
	南木幡集会所	57.96	平成13年	-
	明星集会所	170.58	平成13年	-
	蔭山東集会所	66.24	平成14年	-
	米阪集会所	68.94	平成14年	-
	三室戸北集会所	127.52	平成15年	-
	大林集会所	69.56	平成15年	-
平町集会所	70.38	平成15年	-	
開集会所	101.85	平成16年	-	
御園集会所	57.60	平成16年	-	
広野成田集会所	68.99	平成16年	-	
東堀池集会所	65.02	平成16年	-	

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強
集会施設	御蔵山南集会所	88.77	平成17年	-
	大和田西集会所	57.33	平成17年	-
	大開西集会所	76.17	平成18年	-
	平尾南集会所	90.08	平成18年	-
	平尾北集会所	116.76	平成19年	-
	里尻集会所	57.97	平成19年	-
	菟道藪里集会所	77.43	平成20年	-
	平尾東集会所	169.90	平成21年	-
	三番割集会所	92.74	平成22年	-
	木幡北島集会所	58.50	平成23年	-
	南小倉集会所	73.26	昭和44年	未実施
	下居集会所	59.56	昭和44年	未実施
	緑ヶ原集会所	107.46	昭和46年	未実施
	槇島三軒家集会所	110.16	昭和46年	未実施
	西小倉集会所	162.30	昭和49年	未実施
	西大久保集会所	181.81	昭和50年	未実施
	南陵集会所	49.42	昭和50年	未実施
	蓮池中集会所	72.87	昭和50年	未実施
	奥広野集会所	51.87	昭和51年	未実施
	玉池集会所	134.13	昭和51年	未実施
	妙楽集会所	54.65	昭和51年	未実施
	安田町集会所	51.75	昭和52年	未実施
	新半白集会所	68.42	昭和52年	未実施
	一ノ坪集会所	69.97	昭和53年	未実施
	西木幡集会所	82.62	昭和53年	未実施
	南広野集会所	68.04	昭和54年	未実施
	伊勢田西集会所	71.21	昭和54年	未実施
	堀池集会所	52.99	昭和54年	未実施
	東木幡集会所	53.82	昭和55年	未実施
	白川集会所	206.28	昭和55年	未実施
	半白集会所	49.67	昭和55年	未実施
	木幡熊小路集会所	83.63	昭和55年	未実施
	小根尾集会所	64.38	昭和55年	未実施
蓮池集会所	66.25	昭和56年	未実施	

② 現状と課題

耐震診断の結果、耐震補強が必要と診断された施設は24施設あり、耐震性能を確保することが課題となっています。

耐震補強が必要と診断された以外の施設でも、竣工から30年以上経過している施設も多くあるため、今後、施設の長寿命化が課題となっています。

また、集会所は高齢者や子育て世代の活動などにも利用されていますが、集会所によっては利用状況が様々であり、「集会所再生プラン」の理念に基づき、改めて検討する必要があります。

③ 基本的な考え方

耐震補強未実施の施設は、地域の実情や削減目標値を踏まえ、他の公共施設との集約を含めた建替え、耐震補強、休止や廃止など複数の選択肢から対策を検討します。

また、長寿命化対策を計画的に行い、使用年数の延長を図ることを検討します。

集会所は、地域コミュニティ活動や地域福祉活動における拠点としての必要性があり、地域ごとに整備しているため、再編にあたっては地域の実情にあわせることが必要となり一律的な再編は困難ですが、管理運営費の削減に努めるとともに、建物の耐用年数や地域ごとの事情を総合的に判断し、施設の複合化や類似施設の活用、統廃合、地域組織への移管などについて検討し、総量の削減に取り組みます。

(2) 集会施設（コミュニティセンター等）

① 施設の概要

集会施設（コミュニティセンター等）は9施設あります。内訳は、市民相互の交流と地域コミュニティの活性化を図るため各種地域活動を行う施設であるコミュニティセンターが4施設、市民が各種会合やスポーツなどに利用できる施設であるふれあいセンターが3施設、福祉の向上や人権啓発のための住民交流を図る施設であるコミュニティワークうじ館、こはた館の2施設があります。これらの中には、築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎える施設が3施設（面積比16%）あり、いずれも耐震補強が必要な施設です。

各コミュニティセンターは、指定管理者制度で管理運営しています。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強	備考
集会施設	西小倉コミュニティセンター	791.86	昭和62年	-	
	東宇治コミュニティセンター	1,183.03	平成4年	-	※1
	南宇治コミュニティセンター	960.99	平成7年	-	
	榎島コミュニティセンター	751.50	平成11年	-	
	菟道ふれあいセンター	326.00	昭和37年	未実施	※2
	伊勢田ふれあいセンター	346.00	昭和46年	未実施	
	平盛ふれあいセンター	307.00	昭和54年	未実施	※3
	コミュニティワークこはた館	511.04	平成14年	-	※4
	コミュニティワークうじ館	967.38	平成19年	-	

※1 東宇治コミュニティセンターおよび東宇治図書館は複合施設です。

※2 菟道ふれあいセンターおよび青少年指導センターは複合施設です。

※3 平盛ふれあいセンターおよび大久保青少年センターは複合施設です。

※4 コミュニティワークこはた館、河原集会所および木幡河原市営住宅は複合施設です。

② 現状と課題

耐震診断の結果、耐震補強が必要と診断された施設は3施設あり、耐震性能を確保することが課題となっています。

竣工から30年以上経過している施設は、今後、施設の長寿命化が課題となっています。

③ 基本的な考え方

耐震補強未実施の施設は、施設の必要性等を見直した上で、削減目標値を踏まえ、他の公共施設との集約を含めた建替え、耐震補強、休止や廃止など複数の選択肢から対策を検討します。

また、長寿命化対策を計画的に行い、使用年数の延長を図ることを検討します。

効果的・効率的な運営方法による管理運営費の削減に取り組むとともに、公平かつ適正な受益者負担の実現に向けた使用料の見直しや利用者の増加に向けた取組も検討します。

コミュニティセンターは、利用状況を踏まえつつ、市民相互の交流や地域コミュニティの活性化など、各種地域活動の今日的・将来的な課題を検討するとともに、他の施設との複合化の検討を進め、さらに拠点整備についても検討します。

ふれあいセンターは、耐震性に課題があることから、利用実態を鑑みる中で、他の施設との統廃合を検討します。

(3)文化施設

① 施設の概要

文化施設は文化会館で、市民の文化の向上と社会教育の振興を図るための施設であり、指定管理者制度で管理運営しています。

なお、築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎えますが、耐震補強の必要はありません。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強	備考
文化施設	文化会館	7,530.35	昭和59年	-	※

※ 文化会館、中央図書館、中央公民館および歴史資料館は複合施設（文化センター）です。

② 現状と課題

築年数が竣工から30年以上経過しているため老朽化の懸念があり、大規模な改修や施設の長寿命化が課題となっています。また、管理運営費については、できる限り削減に取り組む必要があります。

③ 基本的な考え方

施設の修繕費等を低減させるために、長寿命化対策を計画的に行い、使用年数の延長を図ることを検討します。

また、民間活力の導入推進を含めた効果的・効率的な管理運営による経費の削減や使用料の見直し、利用者の増加に向けた取組を検討します。

複合施設であることを踏まえ、施設を更新する場合には、さらなる市民の文化の向上等に加え、機能充実に向けて、他の施設との複合化を検討します。

2 社会教育系施設

(1) 図書館

① 施設の概要

図書館は3施設あります。

これらの中には、築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎える施設として中央図書館（面積比66%）がありますが、耐震補強が必要な施設はありません。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強	備考
図書館	中央図書館	1,786.94	昭和59年	-	※1
	東宇治図書館	310.00	平成4年	-	※2
	西宇治図書館	596.94	平成9年	-	※3

※1 文化会館、中央図書館、中央公民館および歴史資料館は複合施設（文化センター）です。

※2 東宇治コミュニティセンターおよび東宇治図書館は複合施設です。

※3 西宇治図書館および西小倉地域福祉センターは複合施設です。

② 現状と課題

中央図書館は竣工から30年以上経過しており、今後、施設の長寿命化が課題となっています。

管理運営費の削減と利用者数の増大、蔵書数の拡大、高度情報化社会への対応（電子媒体による情報収集や提供）が課題となっています。

魅力ある図書館づくりを進めるため、「(仮称)宇治市図書館事業計画」を策定するとともに、中央図書館において、平成29年4月から開館時間の延長を実施しています。

③ 基本的な考え方

施設の修繕費等を低減させるために、長寿命化対策を計画的に行い、使用年数の延長を図ることを検討します。

民間活力の導入推進を含めた効果的・効率的な管理運営による管理運営費の削減や利用者の増加、図書サービスの利便性向上に向けた取組を検討します。

全て複合施設であることを踏まえ、施設を更新する場合には、他の施設との調整を図り、複合化を検討します。

(2) その他社会教育施設

① 施設の概要

その他社会教育施設は13施設あります。内訳は、社会教育（生涯学習）を目的とした施設である公民館が5施設、学習・文化活動、遊びなどの生活を通じた青少年の健全育成を図る施設である青少年センターが3施設、その他、男女共同参画社会の実現に向けて中核となる施設である男女共同参画支援センターや、歴史・文化に親しんでいただくなどの施設である歴史資料館や源氏物語ミュージアムなどの5施設となっています。

これらの中には、築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎える施設が9施設（面積比49%）あり、市民会館（宇治公民館）は耐震補強が必要な施設です。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強	備考
その他社会教育施設	木幡公民館	632.29	昭和55年	-	
	小倉公民館	550.49	昭和56年	-	
	中央公民館	1,246.44	昭和59年	-	※1
	広野公民館	609.73	昭和60年	-	
	市民会館（宇治公民館）	1,566.23	昭和39年	未実施	
	大久保青少年センター	146.00	昭和54年	未実施	※2
	善法青少年センター	1,209.36	昭和59年	-	※3
	河原青少年センター	543.18	昭和62年	-	※4
	青少年指導センター	374.00	昭和37年	未実施	※5
	歴史資料館	1,267.41	昭和59年	-	※6
	生涯学習センター	2,970.51	平成5年	-	
	源氏物語ミュージアム	2,939.94	平成10年	-	
	男女共同参画支援センター	1,312.87	平成14年	-	※7

※1 文化会館、中央図書館、中央公民館および歴史資料館は複合施設（文化センター）です。

※2 平盛ふれあいセンターおよび大久保青少年センターは複合施設です。

※3 善法児童センターおよび善法教育集会所の複合施設です。

※4 河原児童センターおよび河原教育集会所の複合施設です。

※5 菟道ふれあいセンターおよび青少年指導センターは複合施設です。

※6 文化会館、中央図書館、中央公民館および歴史資料館は複合施設（文化センター）です。

※7 男女共同参画支援センター、観光案内所（JR宇治駅）、地域子育て支援基幹センター、

Hana花保育園、観光バリアフリー便所等および宇治駅前交番は複合施設（ゆめりあうじ）です。

② 現状と課題

耐震診断の結果、耐震補強が必要と診断された施設は、耐震性能を確保することが課題となっています。

竣工から30年以上経過している施設は、今後、施設の長寿命化や施設のあり方が課題となっています。

管理運営費については、できる限り削減に取り組む必要があります。

③ 基本的な考え方

耐震補強未実施の施設は、施設の必要性等を見直した上で、削減目標値を踏まえ、他の公共施設との集約を含めた建替え、耐震補強、休止や廃止など複数の選択肢から対策を検討します。

竣工から30年が経過している施設は、施設の修繕費等を低減させるために、長寿命化対策を計画的に行い、使用年数の延長を図ることや、市民ニーズを踏まえた公共施設の再編を検討します。

市民サービスを将来にわたって提供するために他の施設機能との統廃合や複合化による公共施設の適正な配置及び効率的な管理運営を検討します。また、一部の施設では、民間活力の導入推進を含めた効果的・効率的な管理運営による管理運営費の削減や公平かつ適正な受益者負担の実現に向けた使用料の見直し、利用者の増加に向けた取組を検討します。

公民館は、耐震性に課題がある施設もあることから、早急に公民館のあり方を検討し、教育委員会会議や生涯学習審議会などの意見も伺いながら、方向性を取りまとめ、市としての方針を決定しますが、生涯学習の活動は維持・継続しながら、他の施設との複合化や統廃合の検討を進めます。

青少年指導センターは、青少年の健全な育成を図るために設置し、青少年育成団体の活動拠点であり、他の施設との複合化も含めた建替えを検討します。

3 スポーツ・レクリエーション系施設

(1)レクリエーション施設・観光施設

① 施設の概要

レクリエーション施設・観光施設は7施設あります。そのうち、総合野外活動センターは、「自然とのふれあい、自然の中での交流」を目指した自然体験型施設です。

また、茶室対鳳庵は気軽に宇治茶・茶道を楽しんで体験していただく施設で、植物公園は自然と緑に触れ、学び、楽しんでいただく施設です。これらの中には、築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎える施設として観光センター（面積比4%）がありますが、耐震補強が必要な施設はありません。

観光センター、茶室対鳳庵、植物公園及び総合野外活動センターは、指定管理者制度で管理運営しています。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強	備考
レクリエーション施設・ 観光施設	観光センター	490.00	昭和56年	-	
	観光案内所（近鉄大久保駅）	15.00	昭和62年	-	
	観光案内所（JR宇治駅）	107.34	平成14年	-	※
	天ヶ瀬森林公園	236.52	昭和62年	-	
	茶室対鳳庵	86.22	平成4年	-	
	植物公園	4,732.66	平成6年	-	
	総合野外活動センター	6,844.98	平成10年	-	

※ 男女共同参画支援センター、観光案内所（JR宇治駅）、地域子育て支援基幹センター、Hana花保育園、観光バリアフリー便所等および宇治駅前交番は複合施設（ゆめりあうじ）です。

② 現状と課題

竣工から30年近く経過している施設は、今後、施設の長寿命化が課題となっています。

一部の施設では、管理運営費が高く、その削減が課題となっています。

また、源氏物語ミュージアムをはじめ他の類型施設も含め、観光客が利用する施設については、観光資源を活用した施策とともに、国内外からの観光誘客の推進に繋がっているところです。

植物公園は開園20年を超え、そのあり方について検討する必要があります。

③ 基本的な考え方

竣工から30年近くが経過している施設は、施設の修繕費等を低減させるために、長寿命化対策を計画的に行い、使用年数の延長を図ることを検討します。

民間活力の導入推進として、民間施設の有効活用とともに、民間との協働等についても検討し、効果的・効率的な管理運営による管理運営費の削減や使用料の見直し、利用者の増加に向けた取組を検討します。

(2) スポーツ施設

① 施設の概要

いずれもスポーツ・レクリエーションを楽しんでいただく施設です。

これらの中には、築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎える施設や耐震補強が必要な施設はありません。

両施設とも、指定管理者制度で管理運営しています。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強	備考
スポーツ施設	黄檗公園	5,639.03	昭和63年	-	※1
	西宇治公園	5,656.46	平成10年	-	※2

※1 黄檗公園には体育館、プール、野球場、弓道場、屋外便所が含まれています。

※2 西宇治公園には体育館、プールが含まれています。

② 現状と課題

竣工から30年近くが経過している施設は、今後は施設の長寿命化が課題となっています。

管理運営費の削減や利用者数を増加させることが課題となっています。

東宇治地域の防災拠点として位置づけている黄檗公園については、防災機能の向上を目指した防災公園の整備を着実に進めていく必要があります。

③ 基本的な考え方

施設の修繕費等を低減させるために、長寿命化対策を計画的に行い、使用年数の延長を図ることを検討します。

民間活力の導入推進を含めた効果的・効率的な管理運営による管理運営費の削減や使用料の見直し、利用者の増加に向けた取組を検討します。

4 産業系施設

① 施設の概要

産業系施設は3施設あります。

産業会館は、商工業の振興と産業の育成を目的とした施設であり、指定管理者制度で管理運営しています。産業振興センターは、本市の産業の振興及び地域情報化の推進を目的とした施設です。宇治ベンチャー企業育成工場は、ものづくりベンチャー企業を育成する施設です。

これらの中には、築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎える施設として産業会館（面積比28%）がありますが、耐震補強が必要な施設はありません。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強
産業系施設	産業会館	959.74	昭和61年	-
	産業振興センター	964.27	平成16年	-
	宇治ベンチャー企業育成工場	1,509.75	平成16年	-

② 現状と課題

竣工から30年以上経過している施設は、今後、施設の長寿命化や施設のあり方が課題となっています。

一部の施設では、管理運営費の削減と稼働率を高めることが課題となっています。

③ 基本的な考え方

施設の修繕費等を低減させるために、長寿命化対策を計画的に行い、使用年数の延長を図ることを検討します。

市民サービスを将来にわたって提供するために他の施設機能との統合や複合化による公共施設の適正な配置及び民間活力の導入推進を含めた効果的・効率的な管理運営による管理運営費の削減を検討します。また、使用料の見直しや利用者の増加に向けた取組を検討します。

5 学校教育系施設

(1) 小学校

① 施設の概要

小学校は21施設あります。(※宇治小学校は小中一貫校として記載)

これらの中には、築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎える施設が20施設（面積比93%）あります。

これまでに耐震補強を実施しており、耐震補強が必要な施設はありません。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強	備考
小学校	北榎島小学校	5,319.22	昭和57年	-	
	笠取小学校	1,519.00	昭和58年	-	
	笠取第二小学校	1,619.48	昭和58年	-	
	大久保小学校	7,769.90	平成19年	-	
	菟道小学校	4,790.53	昭和41年	実施済	
	木幡小学校	6,123.87	昭和42年	実施済	
	榎島小学校	5,608.14	昭和43年	実施済	
	西小倉小学校	5,434.00	昭和43年	実施済	
	西大久保小学校	5,430.42	昭和44年	実施済	
	南部小学校	5,196.76	昭和46年	実施済	
	神明小学校	5,283.81	昭和46年	実施済	
	御蔵山小学校	5,747.92	昭和47年	実施済	
	北小倉小学校	5,258.00	昭和47年	実施済	
	伊勢田小学校	5,527.00	昭和48年	実施済	
	岡屋小学校	5,276.00	昭和48年	実施済	
	三室戸小学校	4,331.00	昭和49年	実施済	※1
	平盛小学校	5,481.00	昭和49年	実施済	※2
	大開小学校	5,282.00	昭和50年	実施済	
	南小倉小学校	5,950.00	昭和52年	実施済	
	菟道第二小学校	5,543.00	昭和54年	実施済	
	小倉小学校	5,962.10	昭和41年	実施中	※3

※1 対象施設は平成26年度末時点の状況であるため、三室戸小学校については増築前の延べ床面積です。

※2 平盛小学校および平盛デイホームは複合施設です。

※3 小倉小学校および小倉デイホームは複合施設です。また、対象施設は平成26年度末時点の状況であるため、増築前の延べ床面積です。

② 現状と課題

多くの小学校は人口急増期の昭和40年代から昭和50年代に整備されたものであり、老朽化が進行しています。また、一部の小学校では児童数が減少し、余裕教室が生じているとともに1学年1学級（学年単学級）となっている学校も見られます。今後もさらに児童数の減少が想定されることから、学校規模の適正化が課題となっています。

また、小中一貫教育の推進に向けては、分散進学の解消等に、学校配置の適正化が課題となっています。

文部科学省から、本計画を踏まえた個別施設計画の策定要請があります。

なお、長寿命化を図る観点から、トイレ・ライフラインの改修を順次進めています。

③ 基本的な考え方

人口減少や少子化の状況を踏まえ、学校施設の縮小や統廃合、小中一貫校整備などについて検討を進め、総量の削減に取り組みます。

また、施設の老朽化が進行しているため、学校施設整備計画により長寿命化の視点に立って改修を進めるとともに、文部科学省から策定要請のある個別施設計画を策定し、「宇治市小中一貫教育と学校規模等の適正化の方向～NEXUSプラン～」(平成19年策定)に基づき、小中一貫教育を中心とした教育システムの構築や学校規模・配置の適正化など、総合的に取り組みます。

なお、長寿命化対策を計画的に実施する間、学校教育施設が地域コミュニティの中心となっていることを鑑み、まちづくりの観点を踏まえて、余裕教室の利活用について検討するとともに、建替えの際に他の施設との複合化等について検討する場合には、児童の教育環境や安全性に十分配慮します。

(2) 中学校

① 施設の概要

中学校は9施設あります。(※黄檗中学校は小中一貫校として記載)
全ての施設で築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎えます。
これまでに耐震補強を実施しており、耐震補強が必要な施設はありません。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強
中学校	槇島中学校	5,498.00	昭和56年	-
	広野中学校	7,514.00	昭和58年	-
	東宇治中学校	9,724.65	昭和37年	実施済
	西宇治中学校	7,001.18	昭和42年	実施済
	北宇治中学校	6,911.20	昭和46年	実施済
	木幡中学校	7,982.00	昭和48年	実施済
	宇治中学校	8,534.70	昭和50年	実施済
	南宇治中学校	7,580.00	昭和50年	実施済
	西小倉中学校	7,413.50	昭和52年	実施済

② 現状と課題

生徒数のさらなる減少が想定され、学校規模・配置の適正化が課題となっています。また、全ての中学校が昭和50年代以前に整備されたものであり、老朽化が進行しています。

文部科学省から、本計画を踏まえた個別施設計画の策定要請があります。

なお、長寿命化を図る観点から、トイレ・ライフラインの改修を順次進めています。

本市にある私立中学校は1施設です。

③ 基本的な考え方

人口減少や少子化の状況を踏まえ、学校施設の縮小や統廃合、小中一貫校整備などについて検討を進め、総量の削減に取り組みます。

また、施設の老朽化が進行しているため、学校施設整備計画により長寿命化の視点に立って改修を進めるとともに、文部科学省から策定要請のある個別施設計画を策定し、「宇治市小中一貫教育と学校規模等の適正化の方向～NEXUSプラン～」(平成19年策定)に基づき、小中一貫教育を中心とした教育システムの構築や学校規模・配置の適正化など、総合的に取り組みます。

なお、長寿命化対策を計画的に実施する間、学校教育施設が地域コミュニティの中心となっていることを鑑み、まちづくりの観点を踏まえて、余裕教室の利活用について検討するとともに、建替えの際に他の施設との複合化等について検討する場合には、生徒の教育環境や安全性に十分配慮します。

(3) 小中一貫校

① 施設の概要

小中一貫校は宇治小学校・黄檗中学校（宇治黄檗学園）です。
なお、耐震補強の必要はありません。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強
小中一貫校	宇治小学校・黄檗中学校（宇治黄檗学園）	15,624.91	平成23年	-

② 現状と課題

「宇治市小中一貫教育と学校規模等の適正化の方向～NEXUSプラン～」(平成19年策定)に基づき、現状の小中学校の課題への対応として整備した施設であり、効果的・効率的な管理運営について今後も検討が必要となります。

③ 基本的な考え方

本市における小中一貫校として、施設の維持管理に関して、引き続き、効果的・効率的な管理運営に努めます。

長期的に使用することを前提として、将来的な修繕等についても検討しながら長寿命化を図ります。

(4) 幼稚園

① 施設の概要

公立幼稚園は4施設あります。

全ての施設で築年数が40年を過ぎ、今後20年以内で更新時期を迎えます。

これまでに耐震補強を実施しており、耐震補強が必要な施設はありません。

また、東宇治幼稚園では、余裕教室を活用した小規模保育事業を実施しています。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強
幼稚園	大久保幼稚園	444.87	昭和39年	-
	東宇治幼稚園	618.48	昭和45年	-
	神明幼稚園	582.00	昭和43年	実施済
	木幡幼稚園	442.00	昭和51年	実施済

② 現状と課題

社会情勢等による保護者ニーズの変化等により、公立幼稚園は、定員を大きく下回る園児数となっています。少子化のさらなる進展が想定される中、本市における公立幼稚園の意義と役割を含む今後の公立幼稚園が目指す就学前教育の効果的な実施にかかる体制や施策などについて、検討が必要であり、昨年度、宇治市公立幼稚園検討委員会から、これらの課題に対する方策等について提言を受けました。

また、全ての幼稚園が竣工から40年以上経過しており、老朽化への対策も課題となっています。

本市にある私立幼稚園は9施設です。

本市においては、公立幼稚園及び私立幼稚園があり、就学前教育のニーズに対応しています。

③ 基本的な考え方

人口減少や少子化、園児数の状況を踏まえ、再編など今後の公立幼稚園の適正規模・適正配置についての検討を進め、総量削減に取り組みます。

その上で、より効果的で質の高い就学前教育を実施するため、私立幼稚園との役割分担も踏まえる中で、公立幼稚園教育の充実方策や体制のあり方などについて検討します。

また、園児の安全に必要な修繕については、計画的に行うとともに、余裕教室の有効活用も検討します。

6 子育て支援施設

(1) 幼児・児童施設

① 施設の概要

育成学級は、放課後に保護者が昼間不在となる小学生に、遊びや生活の場を提供する施設で、専用施設としては11施設あります。

地域子育て支援基幹センターは、子育てに関する相談や子育て情報の提供など地域の子育て支援の拠点となる施設です。

これらの中には、築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎える施設や耐震補強が必要な施設はありません。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強	備考
幼児・児童施設	小倉育成学級	179.82	平成7年	-	※1
	平盛育成学級	224.53	平成14年	-	
	北槇島育成学級	135.42	平成14年	-	
	三室戸育成学級	92.00	平成14年	-	※2
	岡屋育成学級	220.29	平成17年	-	
	菟道第二育成学級	232.91	平成18年	-	
	槇島育成学級	75.93	平成19年	-	※3
	御蔵山育成学級	198.41	平成20年	-	
	南部育成学級	196.73	平成24年	-	
	神明育成学級	392.98	平成25年	-	
	大久保育成学級	450.10	平成26年	-	
	地域子育て支援基幹センター	80.82	平成14年	-	※4

※1 対象施設は平成26年度末時点の状況であるため、小倉育成学級については建替え前の延べ床面積です。

※2 対象施設は平成26年度末時点の状況であるため、三室戸育成学級については建替え前の延べ床面積です。

※3 対象施設は平成26年度末時点の状況であるため、槇島育成学級については、増築前の延べ床面積です。

※4 男女共同参画支援センター、観光案内所（JR宇治駅）、地域子育て支援基幹センター、

Hana花保育園、観光バリアフリー便所等および宇治駅前交番は複合施設（ゆめりあうじ）です。

② 現状と課題

今後、年少人口自体は減少が想定されますが、社会環境の変化に伴う市民ニーズ等にどのように対応していくかが課題となっています。

学校敷地内で運営しており、現在、校舎内の余裕教室を使用して運営している育成学級もあります。また、育成学級のニーズは高まっており、一部では定員を超えて受け入れているところがあります。

なお、本市の社会福祉法人で実施されている放課後児童健全育成事業は4箇所あります。

③ 基本的な考え方

育成学級は、学校敷地内で運営していることから、現在も校舎内教室を使用して運営している育成学級もあり、今後も学校の施設整備時期に育成学級の施設整備をあわせて、学校との一体型施設の整備や、余裕教室の活用をはじめ、他の公共施設や民間施設の活用も含め、効果的・効率的な整備を行うことを検討します。

利用者負担については、毎年検証し、必要に応じて見直しを検討します。

さらに、放課後子ども教室等も含めて、総合的な放課後児童対策に積極的に取り組みます。

(2) 保育所

① 施設の概要

公立保育所は7施設あります。この他、市の施設で運営している民間保育所のHana花保育園があります。

これらの中には、築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎える施設が5施設（面積比66%）あります。

これまでに耐震補強を実施しており、耐震補強が必要な施設はありません。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強	備考
保育所	北木幡保育所	1,090.25	昭和49年	-	
	宇治保育所	1,059.76	昭和50年	-	
	善法保育所	800.51	昭和50年	-	
	木幡保育所	1,169.35	平成12年	-	
	Hana花保育園	425.94	平成14年	-	※
	大久保保育所	1,166.39	平成26年	-	
	西小倉保育所	675.37	昭和44年	実施済	
	小倉双葉園保育所	1,818.71	昭和47年	実施済	

※ 男女共同参画支援センター、観光案内所（JR宇治駅）、地域子育て支援基幹センター、

Hana花保育園、観光バリアフリー便所等および宇治駅前交番は複合施設（ゆめりあうじ）です。

② 現状と課題

少子化が進んでいるものの、本市の保育ニーズは増加傾向にあり、待機児童対策は喫緊の課題となっています。また、半数以上の保育所は昭和50年以前に整備されたものであり、老朽化が進行しています。

本市の民間保育所等（私立）は、19箇所（うち、認定こども園が8箇所）あります。

本市においては、公立保育所及び民間保育所などにより、市民の保育ニーズに対応しています。

③ 基本的な考え方

「宇治市子ども・子育て支援事業計画」も踏まえながら、保育サービスのさらなる充実に向けて、他の公共施設との複合化、民間活力の活用など効果的・効率的な整備手法を検討します。

また、人口減少・少子化の中での保育ニーズを確認し、それに応じた調整を図ります。

施設の修繕費等を低減させるために、長寿命化対策を計画的に行い、使用年数の延長を図ることを検討します。

利用者負担については、毎年検証し、必要に応じて見直しを検討します。

7 保健・福祉施設

(1) 高齢福祉施設

① 施設の概要

高齢福祉施設は8施設あります。内訳は、市内に居住する高齢者の方の地域交流、福祉の情報提供、在宅福祉サービス実施のための施設である地域福祉センターが6施設、市内に居住する高齢者の方のレクリエーションなどの健康、福祉の増進のための施設であるデイホームが2施設です。これらの中には、築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎える施設や耐震補強が必要な施設はありません。

高齢福祉施設のうち、地域福祉センター4施設、デイホーム2施設は指定管理者制度で管理運営しています。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強	備考
高齢福祉施設	木幡地域福祉センター	367.50	平成5年	-	
	開地域福祉センター	433.37	平成5年	-	
	西小倉地域福祉センター	1,248.93	平成9年	-	※1
	東宇治地域福祉センター	1,269.00	平成9年	-	
	広野地域福祉センター	1,058.66	平成11年	-	
	槇島地域福祉センター	386.91	平成14年	-	
	小倉デイホーム	1,024.25	平成6年	-	※2
	平盛デイホーム	927.40	平成7年	-	※3

※1 西宇治図書館および西小倉地域福祉センターは複合施設です。

※2 小倉小学校および小倉デイホームは複合施設です。

※3 平盛小学校および平盛デイホームは複合施設です。

② 現状と課題

全ての施設で竣工から30年を経過していませんが、今後、施設の長寿命化が課題となっています。

また、今後の高齢者人口の増加や高齢化の進展を踏まえ、高齢者の多様なニーズに対応するための施設のあり方を検討していく必要があります。

③ 基本的な考え方

施設の修繕費等を低減させるために、長寿命化対策を計画的に行い、使用年数の延長を図ることを検討します。

今後の高齢者人口の増加に伴う高齢者のニーズを踏まえて、他の公共施設や民間施設の有効活用についても検討します。

(2) 保健施設

① 施設の概要

保健施設は保健・消防センター（健やかセンター）で、保健施設の充実を図る施設です。

また、市民生活の安全を守る、うじ安心館は、大規模災害発生に備え、防災無線や気象情報の収集システムなどが設置されており、災害時にはホールに災害対策本部が設置されます。

なお、耐震補強の必要はありません。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強	備考
保健施設	保健・消防センター（健やかセンター）	3,573.32	平成15年	-	※

※ 保健・消防センター（健やかセンター）および保健・消防センター（中消防署）は複合施設（うじ安心館）です。

② 現状と課題

現状では大きな問題は見られませんが、効果的・効率的な管理運営について継続的な改善の検討が必要となります。

③ 基本的な考え方

施設の維持管理に関して、引き続き、効果的・効率的な管理運営に努めます。

長期的に使用することを前提として、将来的な修繕等についても検討しながら長寿命化を図ります。

(3) その他保健福祉施設

① 施設の概要

その他保健福祉施設は、総合福祉会館であり、身体障がい者、高齢者、福祉関係団体などを対象とした福祉事業の拠点となる施設です。また、指定管理者制度で管理運営しています。

なお、築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎えますが、耐震補強の必要はありません。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強
その他保健福祉施設	総合福祉会館	2,353.63	昭和57年	-

② 現状と課題

竣工から30年以上経過し、老朽化が進行している中、多様な福祉ニーズを踏まえ、福祉事業の拠点となる施設のあり方を検討する必要があります。

③ 基本的な考え方

効果的・効率的な管理運営による管理運営費の削減や施設の有効活用に向けた取組を検討します。また、稼働率の低いスペースについては他の同様のスペースを有している公共施設に機能を移管、廃止することなどを検討します。

老朽化を踏まえ、必要な改修等を実施するとともに、長寿命化対策による、使用年数の延長等を検討します。

なお、施設の建替えを行う際は、将来を見据え、必要な機能や面積を精査するとともに、複合化や集約化などについても検討します。

8 行政系施設

(1) 庁舎等

① 施設の概要

築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎える棟が2棟（市庁舎（西館）、議会棟）あります。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強
庁舎等	市庁舎	29,545.02	平成3年	※

※ 市庁舎は、本館、議会棟、西館から構成されています。

※ 市庁舎のうち、西館(昭和49年竣工、2,619.80㎡)については耐震補強未実施です。

② 現状と課題

市庁舎（西館）は、耐震診断の結果、耐震補強が必要と診断されたため、耐震性能を確保することが課題となっています。

また、さらなる市民サービスの品質向上に向け、窓口対応や相談業務の充実を図るためにも、それに見合ったスペースの確保が課題となっています。

③ 基本的な考え方

西館は、施設の必要性等を見直した上で、他の公共施設との集約を含めた建替えや耐震補強など複数の選択肢から対策を検討します。

本館及び議会棟は、長寿命化対策を行い、施設の修繕費等を低減させるとともに、市民サービスを将来にわたって提供するために他の施設との統合や複合化による公共施設の適正な配置及び効率的な管理運営を検討します。

(2) 消防施設

① 施設の概要

消防施設は5施設あります。

その中には、築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎える施設として西消防署（面積比17%）がありますが、耐震補強が必要な施設はありません。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強	備考
消防施設	西消防署	956.04	昭和56年	-	
	中消防署榎島消防分署	618.10	昭和63年	-	
	東消防署	1,114.29	平成11年	-	
	保健・消防センター（中消防署）	2,292.62	平成15年	-	※
	西消防署伊勢田救急出張所	513.60	平成26年	-	

※ 保健・消防センター（健やかセンター）および保健・消防センター（中消防署）は複合施設（うじ安心館）です。

② 現状と課題

竣工から30年近くを経過している施設は、老朽化の懸念があり施設の長寿命化が課題となっています。

また、各施設の設備も耐用年数に達しているものもあり、計画的な更新の必要があります。

管理運営費については、できる限り削減に取り組む必要があります。

③ 基本的な考え方

竣工から30年近くが経過している施設は、施設の修繕費等を低減させるために、長寿命化対策を計画的に行い、使用年数の延長を図ることを検討します。

9 市営住宅

① 施設の概要

市営住宅は12施設あります。

その中には、築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎える施設が7施設（面積比46%）ありますが、耐震補強が必要な施設はありません。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強	備考
公営住宅	宇治下居市営住宅	191.52	昭和51年	-	
	宇治玉池市営住宅	649.10	昭和52年	-	
	宇治東山市営住宅	2,697.26	昭和54年	-	
	神明宮東市営住宅	2,601.14	昭和56年	-	
	五ヶ庄福角市営住宅	2,620.13	昭和59年	-	
	五ヶ庄野添市営住宅	1,633.17	昭和61年	-	
	木幡河原市営住宅	5,438.83	昭和63年	-	※1
	大久保旦椋市営住宅	2,316.28	平成4年	-	
	小倉中畑市営住宅	4,268.91	平成8年	-	
	神明宮西市営住宅	4,127.95	平成10年	-	
	黄檗市営住宅	10,070.13	平成17年	-	
	槇島吹前市営住宅	12,289.87	昭和45年	実施済	※2

※1 コミュニティワークこはた館、河原集会所および木幡河原市営住宅は複合施設です。

※2 槇島吹前市営住宅のうち、7棟(昭和46年竣工、1,487.07㎡)については耐震補強実施済です。

(補足) 対象施設は平成26年末時点の状況であるため、今後完成予定の伊勢田ウトロ市営住宅は含まれていません。

② 現状と課題

竣工から30年以上経過している施設は、今後、施設の長寿命化が課題となっています。

③ 基本的な考え方

市営住宅は生活の場であるため、日常的に点検・診断を行い、また中長期的な対策として「宇治市公営住宅等長寿命化計画」(平成26年度～平成35年度)を策定しており、当計画に基づき予防保全的な維持管理による長寿命化を推進し、公営住宅ストックの長期活用及び修繕費などの削減を図ることを検討します。

また、「宇治市住宅マスタープラン」(平成29年度～平成38年度)において、住みよいまちづくりの推進においては、市民、事業者、市がそれぞれに主体性を発揮し、あわせて相互に補完しあい協働で取り組むことが重要としており、今後、民間事業者等の民間活力の活用についても検討します。

10 その他

① 施設の概要

その他施設は26施設あり、そのうち自転車等駐車場13施設、公衆便所5施設、その他8施設となっています。これらの中には、築年数が30年を過ぎ、今後30年以内で更新時期を迎える施設が6施設（面積比52%）ありますが、耐震補強が必要な施設はありません。

自転車等駐車場、斎場及び墓地公園管理棟は、指定管理者制度で管理運営しています。

【施設一覧】

分類	施設名	延べ床面積 (㎡)	竣工年度	耐震補強	備考
その他	京阪三室戸駅前自転車等駐車場	645.43	昭和57年	-	
	J R 木幡駅前自転車等駐車場	340.99	平成元年	-	
	近鉄小倉駅西第2自転車等駐車場	203.04	平成2年	-	
	J R 六地藏駅前自転車等駐車場	220.00	平成4年	-	
	J R 新田駅前自転車等駐車場	137.33	平成4年	-	
	J R 六地藏駅前第2自転車等駐車場	93.61	平成5年	-	
	京阪木幡駅前自転車等駐車場	826.50	平成6年	-	
	近鉄小倉駅東自転車等駐車場	995.55	平成7年	-	
	J R 黄檗駅前第2自転車等駐車場	295.08	平成11年	-	
	J R 小倉駅南自転車等駐車場	13.22	平成12年	-	
	J R 宇治駅北自転車等駐車場	109.46	平成12年	-	
	J R 小倉駅北自転車等駐車場	116.66	平成12年	-	
	J R 宇治駅南自転車等駐車場	610.87	平成13年	-	
	天ヶ瀬吊橋前公衆便所	8.64	平成5年	-	
	宇治神社前公衆便所	33.75	平成7年	-	
	J R 宇治駅前公衆便所	16.90	平成9年	-	
	観光バリアフリー便所等	126.88	平成14年	-	※
	夢浮橋ひろば公衆便所	34.49	平成15年	-	
	(公社) 宇治市シルバー人材センター	155.20	昭和28年	-	
	善法農業共同作業所	92.71	昭和55年	-	
	斎場	2,455.92	昭和59年	-	
	内職センター	64.57	昭和59年	-	
	墓地公園管理棟	275.00	平成3年	-	
	(一社) 宇治高齢者事業団事務所	35.64	平成8年	-	
	宇治駅前交番	63.57	平成14年	-	※
	旧中消防署 (宇治市福祉サービス公社)	1,520.24	昭和44年	実施済	

※ 観光バリアフリー便所等、宇治駅前交番は、「ゆめりあうじ」との複合施設です。

② 現状と課題

竣工から30年以上経過している施設が多数あるため、今後は施設の長寿命化が課題となっています。

管理運営費については、できる限り削減に取り組む必要があります。

稼働率の低い自転車等駐車場は、施設のあり方を検討する必要があります。

③ 基本的な考え方

竣工から30年以上経過している施設は、施設の修繕費等を低減させるために、長寿命化対策を計画的に行い、使用年数の延長を図ることや、当初の設置目的にとらわれず、現在及び将来の市民ニーズを踏まえた公共施設の再編を検討します。

使用料を徴収している施設は、利用形態や受益者負担などを勘案し、利用者の増加の取組や使用料の見直しを検討します。

また、利用状況や費用対効果も踏まえながら、民間との役割分担も考慮する中で、廃止を含めた将来的な施設のあり方を検討します。

なお、自転車等駐車場については、本市が運営する施設全体のあり方を検討し、より効果的・効率的な管理運営を図るとともに、大規模改修・更新等の方針・手法の検討にあたっては、駐輪需要・稼働率のほか、本市における少子高齢化の進展等を踏まえ、現状施設の規模の見直しを含めて検討します。

第6章 公共施設等総合管理計画のマネジメント

1 個別計画（アクションプラン）の策定

本計画は、公共施設等に関するマスタープランとして位置づけ、今後は、公共施設、インフラ資産に関する個別施設管理実施計画を本計画の下位計画として必要に応じて策定します。なお、総合管理計画については、本市における最上位計画の「宇治市第5次総合計画」を踏まえるとともに、各分野における既存計画との整合性に留意し策定しました。

2 計画の進行管理・マネジメント

公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するためには、部局横断的な組織体制が必要になります。

そのため、公共施設等の新設・再編・更新・統廃合・複合化・長寿命化等については、必要に応じて全庁的組織である「宇治市都市経営戦略推進本部」において、本計画との整合性や当該公共施設の必要性、市全体の観点から効果的・効率的な整備手法等について十分検討した上で実施することとします。

また、本計画で策定し実施する方針を効果的・効率的に実行していくために、必要に応じて外部有識者等へ進捗を報告し検証を行うなど、PDCAサイクルに基づいたマネジメントを行い、見直しを図ります。

3 議会や市民との情報共有・合意形成の推進

本計画の推進は、今後の本市の持続可能なサービスにとって、非常に重要なものであることから、議会や市民との情報共有や市民参画・協働での取組が重要であると考えています。

そのため、市民の代表である議会とは、市民の財産である公共施設等に関する本計画の内容や主旨について、情報を共有するとともに、本計画の実行にあたっては、議会のご理解・ご協力を得ながら、各地域で取組を進めていく必要があると考えています。

また、市民の皆様には、広報紙やホームページなどを通じて、情報を共有し、計画の推進に向けて、市民参画の機会をできる限り確保し、市民の皆様とともに、将来のまちづくりを見据え、子どもや孫の世代に引き継げる公共施設等となるよう、協働によるまちづくりを推進していきます。

参考資料

1 宇治市公共施設等総合管理計画の策定経過

年度	月	日	内容
平成 28 (2016)	5	30	宇治市都市経営戦略推進本部会議（第 1 回）
	6	8	宇治市都市経営戦略推進本部会議専門部会（第 1 回）
	6	12	宇治市公共施設等総合管理計画検討委員会（第 1 回）
	6	17	宇治市議会総務常任委員会
	7	20	宇治市都市経営戦略推進本部会議専門部会（第 2 回）
	8	4	宇治市都市経営戦略推進本部会議専門部会（第 3 回）
	8	5	宇治市都市経営戦略推進本部会議（第 2 回）
	8	28	宇治市公共施設等総合管理計画検討委員会（第 2 回）
	9	1	宇治市議会総務常任委員会
	11	16	宇治市都市経営戦略推進本部会議専門部会（第 4 回）
	12	20	宇治市都市経営戦略推進本部会議（第 5 回）
	12	27	宇治市公共施設等総合管理計画検討委員会（第 3 回）
	1	4	宇治市都市経営戦略推進本部会議（第 6 回）
	1	18	宇治市議会総務常任委員会
	2	10	宇治市都市経営戦略推進本部会議専門部会（第 5 回）
	2	16	宇治市都市経営戦略推進本部会議（第 7 回）
	2	26	宇治市公共施設等総合管理計画検討委員会（第 4 回）
	3	3	宇治市議会総務常任委員会
平成 29 (2017)	5	16	宇治市都市経営戦略推進本部会議専門部会（第 6 回）
	5	30	宇治市都市経営戦略推進本部会議（第 1 回）
	6	11	宇治市公共施設等総合管理計画検討委員会（第 5 回）
	6	22	宇治市議会総務常任委員会
	8	8	宇治市都市経営戦略推進本部会議専門部会（第 7 回）
	8	15	宇治市都市経営戦略推進本部会議（第 3 回）
	8	23	宇治市公共施設等総合管理計画検討委員会（第 6 回）

2 用語集

あ行	
依存財源	国や府の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入。地方交付税、国庫支出金、府支出金、地方譲与税、市債（地方債）などが該当する。
一般財源	地方公共団体の歳入の用途による分類に基づくものであり、その用途が特定されていないもの。主なものとして、地方税、地方交付税などが挙げられる。なお、用途が特定されているものは特定財源という。
インフラ資産	産業や生活の基盤を形成する構築物のこと。本計画では、道路、橋りょう、トンネル、上水道、下水道（汚水）、河川・排水路、ため池、公園のことを指す。
か行	
街区公園	主に街区に居住する者の利用に供することを目的とする公園のこと。誘致距離 250mの範囲内で1箇所あたり面積 0.25ha を標準として配置される。
供用	一定の目的のために提供すること、使用に充てることをいう。
繰出金	一般会計と特別会計又は特別会計相互間において支出される経費。
経常収支比率	毎年度経常的に入ってくる歳入に対して、毎年度経常的に支払う歳出がどれくらいの割合かを示すもので、財政構造の弾力性を判断する指標として用いられるもの。 都市にあっては75%が妥当と考えられている。
減価償却費	土地を除く有形固定資産について、使用、時間の経過、技術的不適応による価値の減損度を、一定の見積もり耐用年数内に一定の割合で各事業年度に損失として計上したものをいう。
公共施設	庁舎や学校など、公用又は公共用に供す施設のこと。本計画では、延べ床面積で数量を把握する 279 施設のことを指す。
公共施設等アセットマネジメント	公共施設等を対象に、経営的な視点から総合的かつ総括的に企画、管理、運営を行うこと。
公債費	地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還等に要する経費。

か行	
更新	一般に老朽化等に伴い機能が低下した施設等を取り替え、同程度の機能に再整備すること。
高度経済成長期	日本では昭和 29 年（1954 年）12 月から昭和 48 年（1973 年）11 月までの経済規模が飛躍的に成長した時期を指す。
高齢者人口	65 歳以上の人口区分のこと。老年人口ともいう。
国庫支出金	国が用途を特定して地方公共団体に交付する支出金の総称。国庫負担金、国庫補助金、国庫委託金などがある。一般に国庫補助金ともいわれる。
固定資産台帳	全ての固定資産を 1 単位ごとに記帳する台帳をいう。 固定資産は、地方公共団体の財産の極めて大きな割合を占めるため、その財政を把握するためには正確な固定資産台帳整備が求められる。
さ行	
財政健全化計画	実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率のいずれかが早期健全化基準以上となった場合、実質赤字比率をゼロ以下に、それ以外の指標を基準未満にするために定める計画をいう。
財政再生基準	財政の再生を図るべき基準として、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率のそれぞれについて定められた数値をいう。基準となる数値については、都道府県と市町村で異なるが、いずれかが基準以上になると財政再生団体となる。
自主財源	地方公共団体が自主的に収入できる財源。この割合が高いほど財政の自主性と安定性が高いといえる。地方税、分担金及び負担金、使用料及び手数料などがこれに該当する。
指定管理者制度	平成 11 年（2003 年）の地方自治法の改正により創設された制度であり、民間事業者等に幅広く管理を委任することができるようになっている。また、使用の許可という行政処分の一部についても、指定管理者に委任することができるようになっている。
将来負担比率	地方公共団体の借入金（地方債）等、現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したもの。 地方公共団体の財政の健全化に関する法律において「健全化判断比率」として定められた 4 つの指標の 1 つである。
新耐震基準	昭和 56 年（1981 年）6 月 1 日の建築基準法施行令改正に基づく、建築基準法第 20 条の規定による耐震基準。

さ行	
実質公債費比率	地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものを、その地方公共団体の財政の健全化に関する法律において「健全化判断比率」として定められた4つの指標の1つである。
事後保全	施設の機能や性能に関する明らかな不都合が生じてから修繕を行う管理手法。
受益者負担	特定のサービスを受ける者に対し、受益に応じた負担を求めること。
少子高齢化	出生率が低下する一方、平均寿命が伸びたことによって、人口全体に占める子供の割合が低下し、高齢者の割合が高まること。
生産年齢人口	15歳～64歳の人口区分のこと。
早期健全化基準	財政の早期健全化を図るべき基準として、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率のそれぞれについて定められた数値をいう。 基準となる数値については、都道府県と市町村、市町村はさらに規模により異なるが、いずれかが基準以上になると財政健全化団体となる。
送水管	浄水場から配水池へ水を送る管のこと。
た行	
大規模改修	大きな建造物の基本性能（安全性、衛生性及び快適性）を維持するために定期的（10～30年ごと）に実施される規模の大きな修繕のこと。
耐用年数	機械・設備等の、経済的に使用可能な見積期間のこと。
長寿命化	建物を計画的に保全することにより、劣化の進行を遅らせ、長期間建物を使用すること。
投資的経費	施設の建設や道路の新設などの社会資本の整備にかかる経費。
導水管	河川、井戸からくみ上げた原水を各浄水場へ運ぶ管のこと。
な行	
年少人口	15歳未満の人口区分のこと。
延べ床面積	建築物の各階の床面積の合計のこと。
は行	
配水管	配水池から各家庭へ給水するために街路に埋設し、水を送る管のこと。
バリアフリー	住宅、公共施設、交通機関、身の回りの商品などを、障がい者や高齢者が生活するのに支障のない構造や仕様にする事。

は行	
ファシリティ マネジメント	企業・団体等が保有又は私用する全施設資産及びそれらの利用環境を経営戦略的視点から総合的かつ統括的に企画、管理、活用する経営活動（公益社団法人ファシリティマネジメント協会の定義）
普通会計	地方公共団体の会計は一般会計と特別会計に区分経理されるが、各団体の会計区分は一樣ではないため、地方公共団体相互間の比較を可能とする観点から、地方財政統計上統一的に用いられている会計区分のこと。
複合化	複数の異なる機能の施設を一つの施設（同一建物、敷地内）にまとめること。
扶助費	社会保障制度の一環として、生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づき、被扶助者に対してその生活を維持するために支出される経費。
や行	
予防保全	損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施することで、機能の保持・回復を図る管理手法。
ら行	
ライフサイクル コスト (LCC)	プロジェクトにおいて、計画から、施設の設計、建設、維持管理、運営、修繕、事業終了までの事業全体にわたり必要なコスト。
ライフライン	電気、水道、ガス、通信、交通施設、情報施設など日常生活に不可欠なものをネットワークにより供給するライン。
類似団体	全国の市町村を「人口」と「産業構造」をもとに類型化したもの。
老朽化	年数の経過に伴い、躯体や構成材が物理的あるいは化学的に劣化すること。仕様等が時代の要求水準に満たなくなる社会的な劣化を含む。
A～Z	
PC（プレキャスト コンクリート）橋	工場などであらかじめ製造されたコンクリート（プレキャストコンクリート）を用いて、現場で組み立て・設置を行う工法で施行された橋をいう。
PDCA	計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Act 又は Action）の4段階から構成されるマネジメントの行程の略称。

A～Z	
PFI	<p>Private-Finance-Initiative の略。公共施設等の建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法をいう。</p> <p>国や地方公共団体などが直接実施するよりも効率的かつ効果的に公共サービスを提供できる事業について実施される。</p>
PPP	<p>Public-Private-Partnership の略。官 (Public) と民 (Private) が役割を分担し、公共施設整備、公共サービスの提供、公有資産を活用した公共性の高い事業を実施していく様々な手法の総称。PPP の主な実施手法として、PFI や指定管理者制度、包括的民間委託などがある。</p>

< 資料編 >

宇治市公共施設に関する市民アンケート調査結果

平成 28 年 8 月

宇治市

1 アンケートの実施について

(1) アンケート実施目的

本市では、公共施設の老朽化、人口減少・少子高齢社会の進展、厳しい財政状況等を踏まえ、将来にわたって地域の実情にふさわしい、公共施設サービスのあり方の検討を進めています。

このたび、市民の皆さまの公共施設に関するお考えをお伺いするためアンケートを実施しました。

(2) アンケート方法

実施期間：平成 28 年 7 月 1 日～7 月 15 日

配布方法：宇治市在住の 18 歳以上の 3,000 名を無作為抽出し、調査票を郵送

(3) 回答状況

回答数：749 名 回答率：25.0%

2 アンケート実施結果について

(1) 公共施設の現状認識とあり方に関する質問

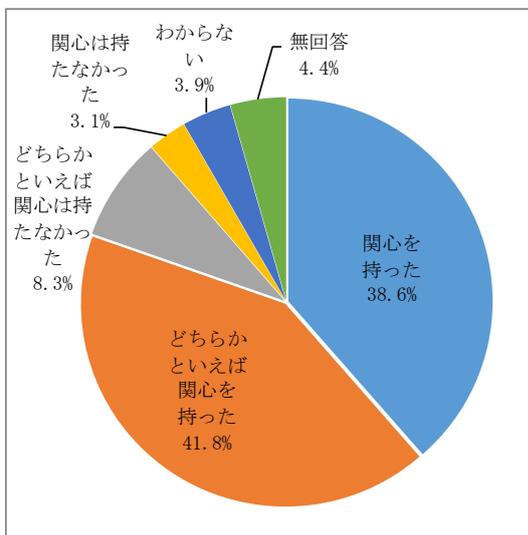
問1. あなたは「宇治市の公共施設の現状と課題」を読まれて、どの程度関心を持ちましたか。最も近いものに○印を付けてください。

公共施設の現状と課題について、公共施設の老朽化については80.4%の方が、人口減少・少子高齢社会の進展については85.7%の方が、財政の状況については81.7%の方がそれぞれ関心を持っている¹ことがわかりました。

今後、公共施設の見直しを推進する際には、公共施設を取り巻く状況も含めて市民への周知・理解を図っていきます。

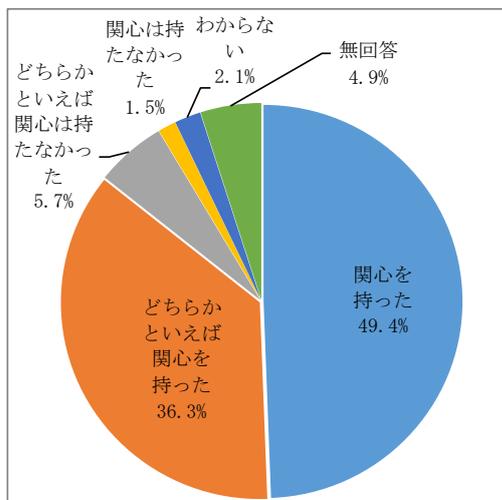
(単位:人)

問1 (公共施設の老朽化)	回答数	回答割合
関心を持った	289	38.6%
どちらかといえば関心を持った	313	41.8%
どちらかといえば関心は持たなかった	62	8.3%
関心は持たなかった	23	3.1%
わからない	29	3.9%
無回答	33	4.4%
合計	749	100.0%



(単位:人)

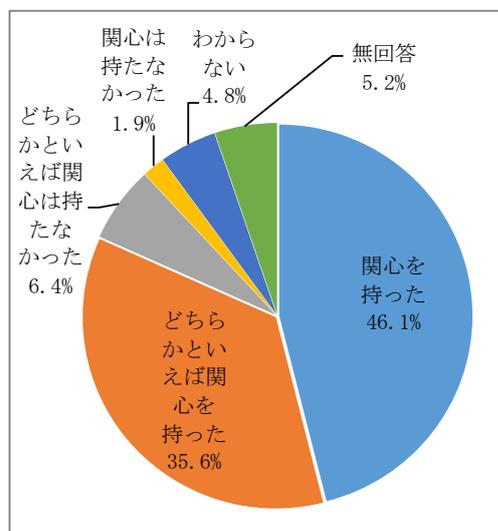
問1 (人口減少・少子高齢社会の進展)	回答数	回答割合
関心を持った	370	49.4%
どちらかといえば関心を持った	272	36.3%
どちらかといえば関心は持たなかった	43	5.7%
関心は持たなかった	11	1.5%
わからない	16	2.1%
無回答	37	4.9%
合計	749	100.0%



¹ 「関心を持った」、「どちらかといえば関心を持った」の合計としています。

(単位:人)

問1 (財政の状況)	回答数	回答割合
関心を持った	345	46.1%
どちらかといえば関心を持った	267	35.6%
どちらかといえば関心は持たなかった	48	6.4%
関心は持たなかった	14	1.9%
わからない	36	4.8%
無回答	39	5.2%
合計	749	100.0%



(注) %については、四捨五入のため合計値が合わないことがあります。(以下同じ)

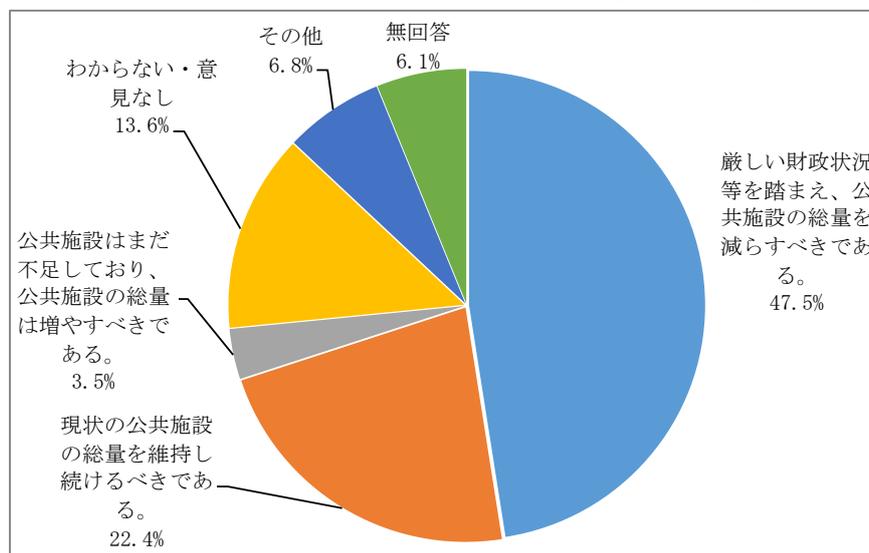
問2. 将来のまちづくりも見据えて、今後の公共施設の総量について、あなたの考え方に最も近いものを一つ選んでください。また、選んだ理由もあればご記入ください。

本市の将来のまちづくりを見据えて、今後の公共施設の総量については、47.5%の方が減らすべきであるとの意見¹、22.4%の方が維持し続けるべきであるとの意見²、3.5%の方が増やすべきであるとの意見³となっています。

本市の公共施設の課題や現状等を踏まえ、その解決のために、比較的多くの市民が総量の削減を行うべきと考えられています。

(単位:人)

問2	回答数	回答割合
厳しい財政状況等を踏まえ、公共施設の総量を減らすべきである。	356	47.5%
現状の公共施設の総量を維持し続けるべきである。	168	22.4%
公共施設はまだ不足しており、公共施設の総量は増やすべきである。	26	3.5%
わからない・意見なし	102	13.6%
その他	51	6.8%
無回答	46	6.1%
合計	749	100.0%



¹ 「厳しい財政状況等を踏まえ、公共施設の総量を減らすべきである。」を集計しています。

² 「現状の公共施設の総量を維持し続けるべきである。」を集計しています。

³ 「公共施設はまだ不足しており、公共施設の総量は増やすべきである。」を集計していません。

(注1)「厳しい財政状況等を踏まえ、公共施設の総量を減らすべきである。」を選択した主な意見は、以下のとおりです。

- 類似した施設は統合すべき。
- 維持費がかかるため。
- 人口減少や少子高齢化に鑑みて、施設の量は減らすべき。
- 本市の財政状況に鑑みて、減らすべき。
- 利用率の低い施設は統廃合等、見直すべき。

(注2)「現状の公共施設の総量を維持し続けるべきである。」を選択した主な意見は、以下のとおりです。

- 必要なものは減らせない。
- 利用者としては必要なものである。
- 災害時の避難場所として必要である。
- 高齢者や子育て世代は施設を必要とするため。

(注3)「公共施設はまだ不足しており、公共施設の総量は増やすべきである。」を選択した主な意見は、以下のとおりです。

- 高齢者や子育て世代は施設を必要とするため。
- 地域によって施設数に偏りがあり、それを解消するため。
- 必要と感じるものは増やすべき。
- 子どもが遊べる施設が少ないと感じているため。

(注4)「その他」を選択した主な意見は、以下のとおりです。

- 時代の変化に合わせて考えるべき。
- 市の公共施設に対するPR不足を感じる。
- 施設の量ではなく、質で考えるべき。
- 交通が不便である。

問3. あなたが考える今後の公共施設の方向性を、以下の施設ごとに○印を付けてください。別紙（施設概要一覧）をご覧くださいながらご回答ください。

今後の公共施設の方向性として、全ての施設において「現状維持」と回答された方が最も多くなっています。

そのような中、「減らす方向」¹と考える方の割合については「集会所」40.4%が最も高く、次いで「青少年センター」34.5%、「隣保館（コミュニティワークうじ館、こはた館）」32.2%、「公民館」32.2%、「ふれあいセンター」31.1%の順となっています。

また、「増やす方向」²と考える方の割合については「保育所」37.9%が最も高く、「観光トイレ」32.6%、「デイホーム」27.4%、「駐輪場」24.8%、「小中一貫校」22.0%の順となっています。

今後は各施設の現状や特性等を踏まえ、施設の方向性を検討していきます。

¹ 「減らす（規模の縮小、廃止）」、「移転する、他の施設にまとめる」を合計しています。

² 「増やす（規模の拡大、新設）」を集計しています。

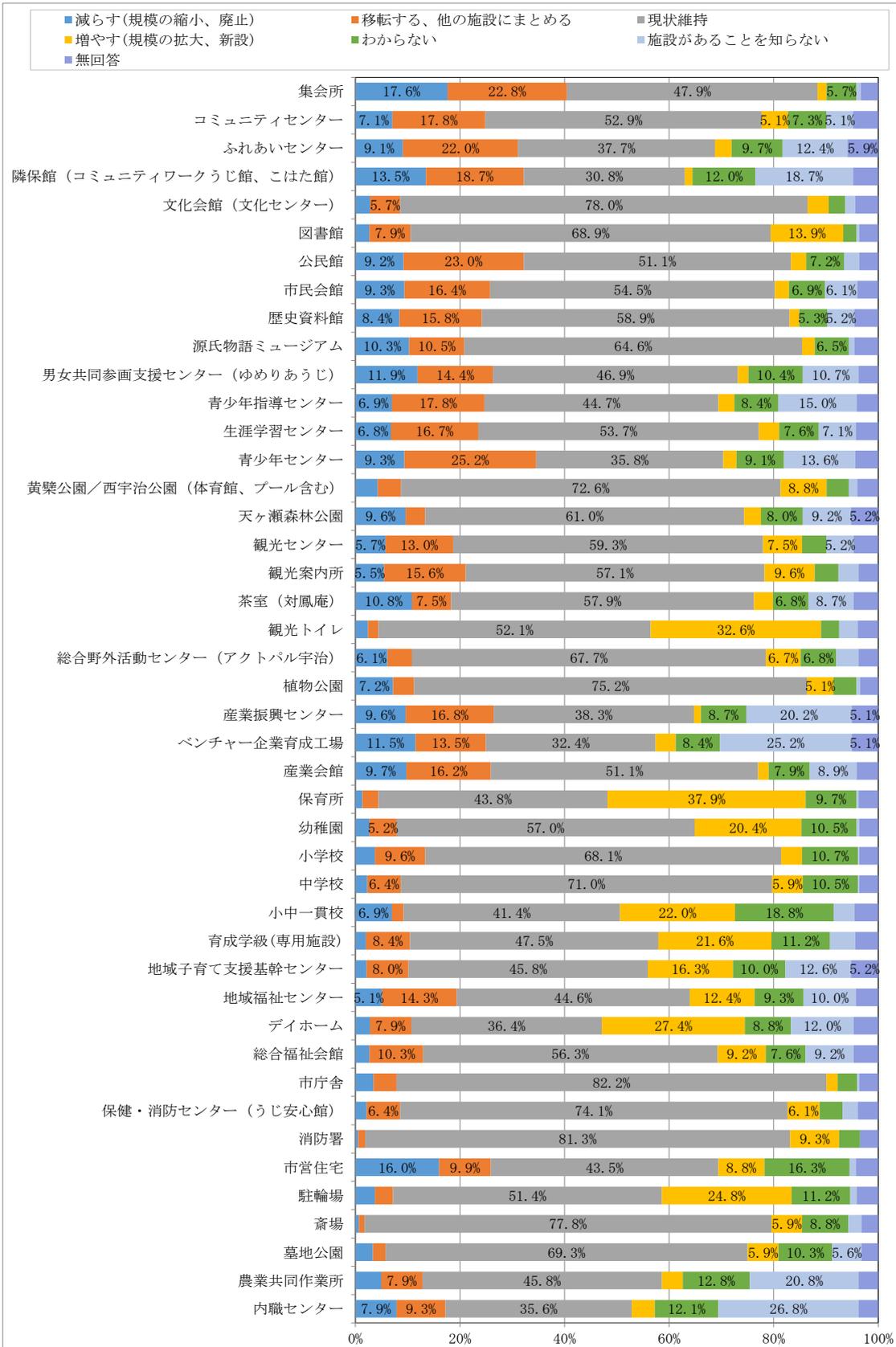
回答数

(単位：件)

問3	減らす (規模 の縮 小、廃 止)	移転す る、他 の施設 にまと める	現状維 持	増やす (規模 の拡 大、新 設)	わか ら ない	施設が あるこ とを 知 ら ない	無回答	合計
集会所	132	171	359	13	43	6	25	749
コミュニティセンター	53	133	396	38	55	38	36	749
ふれあいセンター	68	165	282	24	73	93	44	749
隣保館（コミュニティワークうじ館、こはた館）	101	140	231	11	90	140	36	749
文化会館（文化センター）	21	43	584	30	24	14	33	749
図書館	20	59	516	104	19	4	27	749
公民館	69	172	383	22	54	22	27	749
市民会館	70	123	408	20	52	46	30	749
歴史資料館	63	118	441	14	40	39	34	749
源氏物語ミュージアム	77	79	484	18	49	8	34	749
男女共同参画支援センター（ゆめりあうじ）	89	108	351	15	78	80	28	749
青少年指導センター	52	133	335	23	63	112	31	749
生涯学習センター	51	125	402	29	57	53	32	749
青少年センター	70	189	268	19	68	102	33	749
黄檗公園／西宇治公園（体育館、プール含む）	32	33	544	66	32	12	30	749
天ヶ瀬森林公園	72	28	457	24	60	69	39	749
観光センター	43	97	444	56	35	39	35	749
観光案内所	41	117	428	72	34	29	28	749
茶室（対鳳庵）	81	56	434	27	51	65	35	749
観光トイレ	18	15	390	244	26	27	29	749
総合野外活動センター（アクトパル宇治）	46	35	507	50	51	32	28	749
植物公園	54	30	563	38	33	5	26	749
産業振興センター	72	126	287	10	65	151	38	749
ベンチャー企業育成工場	86	101	243	29	63	189	38	749
産業会館	73	121	383	15	59	67	31	749
保育所	10	23	328	284	73	3	28	749
幼稚園	20	39	427	153	79	4	27	749
小学校	28	72	510	30	80	2	27	749
中学校	17	48	532	44	79	2	27	749
小中一貫校	52	17	310	165	141	30	34	749
育成学級（専用施設）	15	63	356	162	84	36	33	749
地域子育て支援基幹センター	16	60	343	122	75	94	39	749
地域福祉センター	38	107	334	93	70	75	32	749
デイホーム	21	59	273	205	66	90	35	749
総合福祉会館	20	77	422	69	57	69	35	749
市庁舎	26	33	616	16	28	3	27	749
保健・消防センター（うじ安心館）	16	48	555	46	33	22	29	749
消防署	4	10	609	70	30	-	26	749
市営住宅	120	74	326	66	122	9	32	749
駐輪場	28	26	385	186	84	9	31	749
斎場	5	8	583	44	66	19	24	749
墓地公園	25	18	519	44	77	42	24	749
農業共同作業所	37	59	343	30	96	156	28	749
内職センター	59	70	267	33	91	201	28	749

回答割合

問3	減らす (規模 の縮 小、廃 止)	移転す る、他 の施設 にまと める	現状維 持	増やす (規模 の拡 大、新 設)	わか らな い	施設が あるこ とを 知ら ない	無回答	合計
集会所	17.6%	22.8%	47.9%	1.7%	5.7%	0.8%	3.3%	100.0%
コミュニティセンター	7.1%	17.8%	52.9%	5.1%	7.3%	5.1%	4.8%	100.0%
ふれあいセンター	9.1%	22.0%	37.7%	3.2%	9.7%	12.4%	5.9%	100.0%
隣保館（コミュニティワークラジ館、こはた館）	13.5%	18.7%	30.8%	1.5%	12.0%	18.7%	4.8%	100.0%
文化会館（文化センター）	2.8%	5.7%	78.0%	4.0%	3.2%	1.9%	4.4%	100.0%
図書館	2.7%	7.9%	68.9%	13.9%	2.5%	0.5%	3.6%	100.0%
公民館	9.2%	23.0%	51.1%	2.9%	7.2%	2.9%	3.6%	100.0%
市民会館	9.3%	16.4%	54.5%	2.7%	6.9%	6.1%	4.0%	100.0%
歴史資料館	8.4%	15.8%	58.9%	1.9%	5.3%	5.2%	4.5%	100.0%
源氏物語ミュージアム	10.3%	10.5%	64.6%	2.4%	6.5%	1.1%	4.5%	100.0%
男女共同参画支援センター（ゆめりあうじ）	11.9%	14.4%	46.9%	2.0%	10.4%	10.7%	3.7%	100.0%
青少年指導センター	6.9%	17.8%	44.7%	3.1%	8.4%	15.0%	4.1%	100.0%
生涯学習センター	6.8%	16.7%	53.7%	3.9%	7.6%	7.1%	4.3%	100.0%
青少年センター	9.3%	25.2%	35.8%	2.5%	9.1%	13.6%	4.4%	100.0%
黄檗公園／西宇治公園（体育館、プール含む）	4.3%	4.4%	72.6%	8.8%	4.3%	1.6%	4.0%	100.0%
天ヶ瀬森林公園	9.6%	3.7%	61.0%	3.2%	8.0%	9.2%	5.2%	100.0%
観光センター	5.7%	13.0%	59.3%	7.5%	4.7%	5.2%	4.7%	100.0%
観光案内所	5.5%	15.6%	57.1%	9.6%	4.5%	3.9%	3.7%	100.0%
茶室（対鳳庵）	10.8%	7.5%	57.9%	3.6%	6.8%	8.7%	4.7%	100.0%
観光トイレ	2.4%	2.0%	52.1%	32.6%	3.5%	3.6%	3.9%	100.0%
総合野外活動センター（アクトパル宇治）	6.1%	4.7%	67.7%	6.7%	6.8%	4.3%	3.7%	100.0%
植物公園	7.2%	4.0%	75.2%	5.1%	4.4%	0.7%	3.5%	100.0%
産業振興センター	9.6%	16.8%	38.3%	1.3%	8.7%	20.2%	5.1%	100.0%
ベンチャー企業育成工場	11.5%	13.5%	32.4%	3.9%	8.4%	25.2%	5.1%	100.0%
産業会館	9.7%	16.2%	51.1%	2.0%	7.9%	8.9%	4.1%	100.0%
保育所	1.3%	3.1%	43.8%	37.9%	9.7%	0.4%	3.7%	100.0%
幼稚園	2.7%	5.2%	57.0%	20.4%	10.5%	0.5%	3.6%	100.0%
小学校	3.7%	9.6%	68.1%	4.0%	10.7%	0.3%	3.6%	100.0%
中学校	2.3%	6.4%	71.0%	5.9%	10.5%	0.3%	3.6%	100.0%
小中一貫校	6.9%	2.3%	41.4%	22.0%	18.8%	4.0%	4.5%	100.0%
育成学級（専用施設）	2.0%	8.4%	47.5%	21.6%	11.2%	4.8%	4.4%	100.0%
地域子育て支援基幹センター	2.1%	8.0%	45.8%	16.3%	10.0%	12.6%	5.2%	100.0%
地域福祉センター	5.1%	14.3%	44.6%	12.4%	9.3%	10.0%	4.3%	100.0%
デイホーム	2.8%	7.9%	36.4%	27.4%	8.8%	12.0%	4.7%	100.0%
総合福祉会館	2.7%	10.3%	56.3%	9.2%	7.6%	9.2%	4.7%	100.0%
市庁舎	3.5%	4.4%	82.2%	2.1%	3.7%	0.4%	3.6%	100.0%
保健・消防センター（うじ安心館）	2.1%	6.4%	74.1%	6.1%	4.4%	2.9%	3.9%	100.0%
消防署	0.5%	1.3%	81.3%	9.3%	4.0%	-	3.5%	100.0%
市営住宅	16.0%	9.9%	43.5%	8.8%	16.3%	1.2%	4.3%	100.0%
駐輪場	3.7%	3.5%	51.4%	24.8%	11.2%	1.2%	4.1%	100.0%
斎場	0.7%	1.1%	77.8%	5.9%	8.8%	2.5%	3.2%	100.0%
墓地公園	3.3%	2.4%	69.3%	5.9%	10.3%	5.6%	3.2%	100.0%
農業共同作業所	4.9%	7.9%	45.8%	4.0%	12.8%	20.8%	3.7%	100.0%
内職センター	7.9%	9.3%	35.6%	4.4%	12.1%	26.8%	3.7%	100.0%



問4. あなたは、今後の公共施設の整備や施設の管理・運営などの手法についてどのように考えますか。(A～Lの考え方について、それぞれ1つずつに○印を付けてください)

公共施設の整備や施設の管理・運営などの手法について、実施すべきとの意見¹で割合が高かった項目は「あまり利用されていない公共施設は廃止又は縮小する。」87.3%、「機能が類似した施設は統合する。」87.1%、「公共施設の機能の複合化や多機能化の手法を活用する。」82.4%、「現在の公共施設を計画的に改修するなどして、できるだけ長い間使用する」72.5%、「今後、公共施設の建て替えなどに多額の費用が必要になるときに備え、計画的に基金(貯金)を蓄える。」79.1%、「利用していない土地や施設を売却、賃借して収入を得る。」87.2%、「施設を更新する場合は、施設用途やニーズの変化に柔軟に対応できるものとする。」85.8%となりました。

一方、実施すべきとの意見で割合が低かった項目は「利用者が少ない施設は費用をかけてでも、施設サービスを充実させる。」12.7%、「コストを削減するために、運営内容や運営時間などのサービス水準を引き下げる。」29.8%となりました。

さらに、「公共施設の有料化を行う。(使用料の引き上げを含む)」について、実施すべきとの意見が43.9%、実施すべきではないとの意見²が43.2%と拮抗していました。

公共施設の管理方法の検討の際には、今後の公共施設の方向性(問3参照)や市民の施設の利用状況(問5参照)を考慮のうえ、検討することが必要になります。

¹ 「積極的に実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」の合計としています。

² 「どちらかといえば実施すべきではない」、「実施すべきではない」の合計としています。

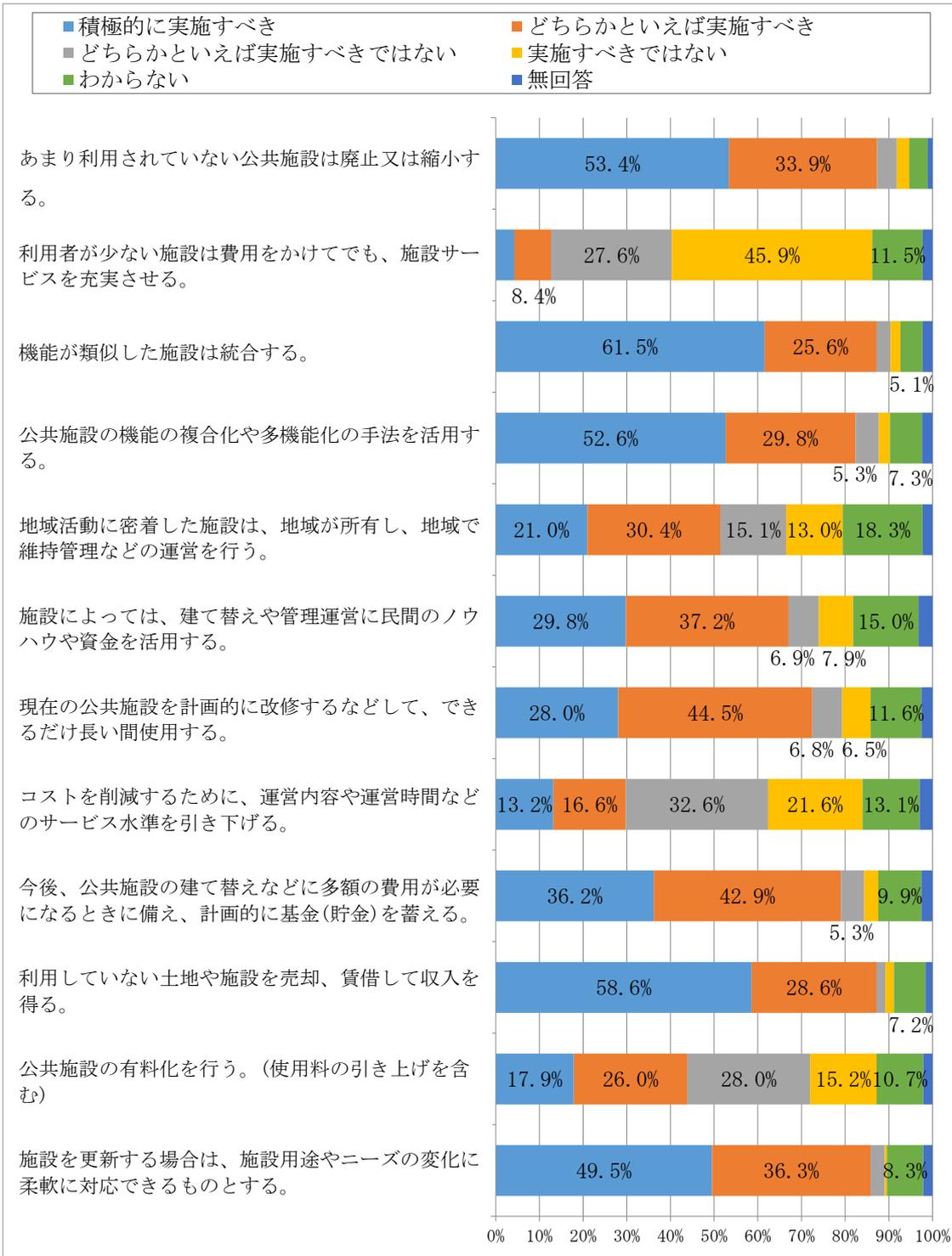
回答数

(単位：件)

問4	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない	無回答	合計
A あまり利用されていない公共施設は廃止又は縮小する。	400	254	34	21	32	8	749
B 利用者が少ない施設は費用をかけてでも、施設サービスを充実させる。	32	63	207	344	86	17	749
C 機能が類似した施設は統合する。	461	192	24	17	38	17	749
D 公共施設の機能の複合化や多機能化の手法を活用する。	394	223	40	19	55	18	749
E 地域活動に密着した施設は、地域が所有し、地域で維持管理などの運営を行う。	157	228	113	97	137	17	749
F 施設によっては、建て替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する。	223	279	52	59	112	24	749
G 現在の公共施設を計画的に改修するなどして、できるだけ長い間使用する。	210	333	51	49	87	19	749
H コストを削減するために、運営内容や運営時間などのサービス水準を引き下げる。	99	124	244	162	98	22	749
I 今後、公共施設の建て替えなどに多額の費用が必要になるときに備え、計画的に基金(貯金)を蓄える。	271	321	40	24	74	19	749
J 利用していない土地や施設を売却、賃借して収入を得る。	439	214	15	15	54	12	749
K 公共施設の有料化を行う。(使用料の引き上げを含む)	134	195	210	114	80	16	749
L 施設を更新する場合は、施設用途やニーズの変化に柔軟に対応できるものとする。	371	272	24	4	62	16	749

回答割合

問4	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない	無回答	合計
A あまり利用されていない公共施設は廃止又は縮小する。	53.4%	33.9%	4.5%	2.8%	4.3%	1.1%	100.0%
B 利用者が少ない施設は費用をかけてでも、施設サービスを充実させる。	4.3%	8.4%	27.6%	45.9%	11.5%	2.3%	100.0%
C 機能が類似した施設は統合する。	61.5%	25.6%	3.2%	2.3%	5.1%	2.3%	100.0%
D 公共施設の機能の複合化や多機能化の手法を活用する。	52.6%	29.8%	5.3%	2.5%	7.3%	2.4%	100.0%
E 地域活動に密着した施設は、地域が所有し、地域で維持管理などの運営を行う。	21.0%	30.4%	15.1%	13.0%	18.3%	2.3%	100.0%
F 施設によっては、建て替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する。	29.8%	37.2%	6.9%	7.9%	15.0%	3.2%	100.0%
G 現在の公共施設を計画的に改修するなどして、できるだけ長い間使用する。	28.0%	44.5%	6.8%	6.5%	11.6%	2.5%	100.0%
H コストを削減するために、運営内容や運営時間などのサービス水準を引き下げる。	13.2%	16.6%	32.6%	21.6%	13.1%	2.9%	100.0%
I 今後、公共施設の建て替えなどに多額の費用が必要になるときに備え、計画的に基金(貯金)を蓄える。	36.2%	42.9%	5.3%	3.2%	9.9%	2.5%	100.0%
J 利用していない土地や施設を売却、賃借して収入を得る。	58.6%	28.6%	2.0%	2.0%	7.2%	1.6%	100.0%
K 公共施設の有料化を行う。(使用料の引き上げを含む)	17.9%	26.0%	28.0%	15.2%	10.7%	2.1%	100.0%
L 施設を更新する場合は、施設用途やニーズの変化に柔軟に対応できるものとする。	49.5%	36.3%	3.2%	0.5%	8.3%	2.1%	100.0%



(2) 公共施設の利用状況と重要性に関する質問

問5. あなたの公共施設の利用状況についてお聞かせください。施設ごとに○印を付けてください。別紙（施設概要一覧）をご覧くださいながらご回答ください。

公共施設の利用状況について、32種類のうち、利用するとの回答¹が30%を超える施設は「集会所」、「コミュニティセンター」、「文化会館（文化センター）」、「図書館」、「源氏物語ミュージアム」、「黄檗公園／西宇治公園（体育館、プール含む）」、「植物公園」の7種類、利用しないとの回答²が70%を超える施設は25種類となりました。

また、利用しないと回答された方の理由については、大半の施設において「利用する必要がない」、「施設があることを知らなかった」が多数となっています。

利用しないとの回答には、一部、利用対象者が限定される施設も含まれていますが、公共施設の総量（問2参照）、公共施設の方向性（問3参照）及び公共施設の管理運営手法（問4参照）とあわせて今後の公共施設のあり方を検討することが必要になります。

¹ 「週に数回利用する」、「月に数回利用する」、「年に数回利用する」の合計としています。

² 「利用したことがない」を集計しています。

利用状況

回答数

(単位：件)

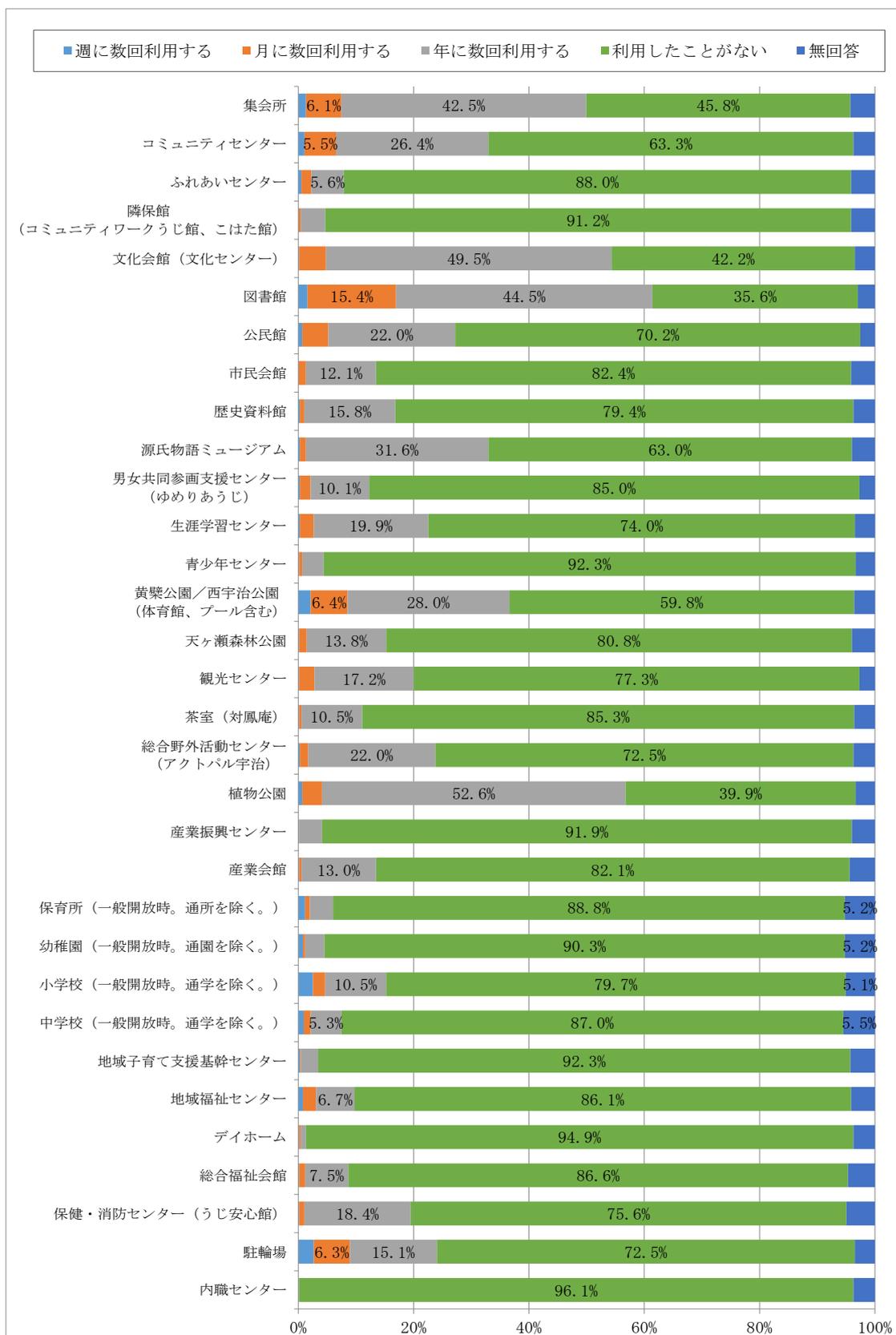
問5 (利用状況)	週に数回 利用する	月に数回 利用する	年に数回 利用する	利用した ことがな い	無回答	合計
集会所	10	46	318	343	32	749
コミュニティセンター	8	41	198	474	28	749
ふれあいセンター	4	13	42	659	31	749
隣保館 (コミュニティワークうじ館、こはた館)	-	3	32	683	31	749
文化会館 (文化センター)	1	35	371	316	26	749
図書館	12	115	333	267	22	749
公民館	5	34	165	526	19	749
市民会館	-	10	91	617	31	749
歴史資料館	2	6	118	595	28	749
源氏物語ミュージアム	2	8	237	472	30	749
男女共同参画支援センター (ゆめりあうじ)	2	14	76	637	20	749
生涯学習センター	2	18	149	554	26	749
青少年センター	1	4	28	691	25	749
黄檗公園／西宇治公園 (体育館、プール含む)	16	48	210	448	27	749
天ヶ瀬森林公園	1	10	103	605	30	749
観光センター	1	20	129	579	20	749
茶室 (対鳳庵)	1	3	79	639	27	749
総合野外活動センター (アクトバル宇治)	2	11	165	543	28	749
植物公園	5	26	394	299	25	749
産業振興センター	1	-	30	688	30	749
産業会館	1	3	97	615	33	749
保育所 (一般開放時。通所を除く。)	9	6	30	665	39	749
幼稚園 (一般開放時。通園を除く。)	6	3	25	676	39	749
小学校 (一般開放時。通学を除く。)	19	16	79	597	38	749
中学校 (一般開放時。通学を除く。)	7	9	40	652	41	749
地域子育て支援基幹センター	2	1	23	691	32	749
地域福祉センター	6	17	50	645	31	749
デイホーム	1	2	7	711	28	749
総合福祉会館	1	8	56	649	35	749
保健・消防センター (うじ安心館)	1	7	138	566	37	749
駐輪場	20	47	113	543	26	749
内職センター	-	-	1	720	28	749

利用状況

回答割合

問5（利用状況）	週に数回 利用する	月に数回 利用する	年に数回 利用する	利用した ことがな い	無回答	合計
集会所	1.3%	6.1%	42.5%	45.8%	4.3%	100.0%
コミュニティセンター	1.1%	5.5%	26.4%	63.3%	3.7%	100.0%
ふれあいセンター	0.5%	1.7%	5.6%	88.0%	4.1%	100.0%
隣保館 （コミュニティワークうじ館、こはた館）	-	0.4%	4.3%	91.2%	4.1%	100.0%
文化会館（文化センター）	0.1%	4.7%	49.5%	42.2%	3.5%	100.0%
図書館	1.6%	15.4%	44.5%	35.6%	2.9%	100.0%
公民館	0.7%	4.5%	22.0%	70.2%	2.5%	100.0%
市民会館	-	1.3%	12.1%	82.4%	4.1%	100.0%
歴史資料館	0.3%	0.8%	15.8%	79.4%	3.7%	100.0%
源氏物語ミュージアム	0.3%	1.1%	31.6%	63.0%	4.0%	100.0%
男女共同参画支援センター （ゆめりあうじ）	0.3%	1.9%	10.1%	85.0%	2.7%	100.0%
生涯学習センター	0.3%	2.4%	19.9%	74.0%	3.5%	100.0%
青少年センター	0.1%	0.5%	3.7%	92.3%	3.3%	100.0%
黄檗公園／西宇治公園 （体育館、プール含む）	2.1%	6.4%	28.0%	59.8%	3.6%	100.0%
天ヶ瀬森林公園	0.1%	1.3%	13.8%	80.8%	4.0%	100.0%
観光センター	0.1%	2.7%	17.2%	77.3%	2.7%	100.0%
茶室（対鳳庵）	0.1%	0.4%	10.5%	85.3%	3.6%	100.0%
総合野外活動センター （アクトバル宇治）	0.3%	1.5%	22.0%	72.5%	3.7%	100.0%
植物公園	0.7%	3.5%	52.6%	39.9%	3.3%	100.0%
産業振興センター	0.1%	-	4.0%	91.9%	4.0%	100.0%
産業会館	0.1%	0.4%	13.0%	82.1%	4.4%	100.0%
保育所（一般開放時。通所を除く。）	1.2%	0.8%	4.0%	88.8%	5.2%	100.0%
幼稚園（一般開放時。通園を除く。）	0.8%	0.4%	3.3%	90.3%	5.2%	100.0%
小学校（一般開放時。通学を除く。）	2.5%	2.1%	10.5%	79.7%	5.1%	100.0%
中学校（一般開放時。通学を除く。）	0.9%	1.2%	5.3%	87.0%	5.5%	100.0%
地域子育て支援基幹センター	0.3%	0.1%	3.1%	92.3%	4.3%	100.0%
地域福祉センター	0.8%	2.3%	6.7%	86.1%	4.1%	100.0%
デイホーム	0.1%	0.3%	0.9%	94.9%	3.7%	100.0%
総合福祉会館	0.1%	1.1%	7.5%	86.6%	4.7%	100.0%
保健・消防センター（うじ安心館）	0.1%	0.9%	18.4%	75.6%	4.9%	100.0%
駐輪場	2.7%	6.3%	15.1%	72.5%	3.5%	100.0%
内職センター	-	-	0.1%	96.1%	3.7%	100.0%

利用状況



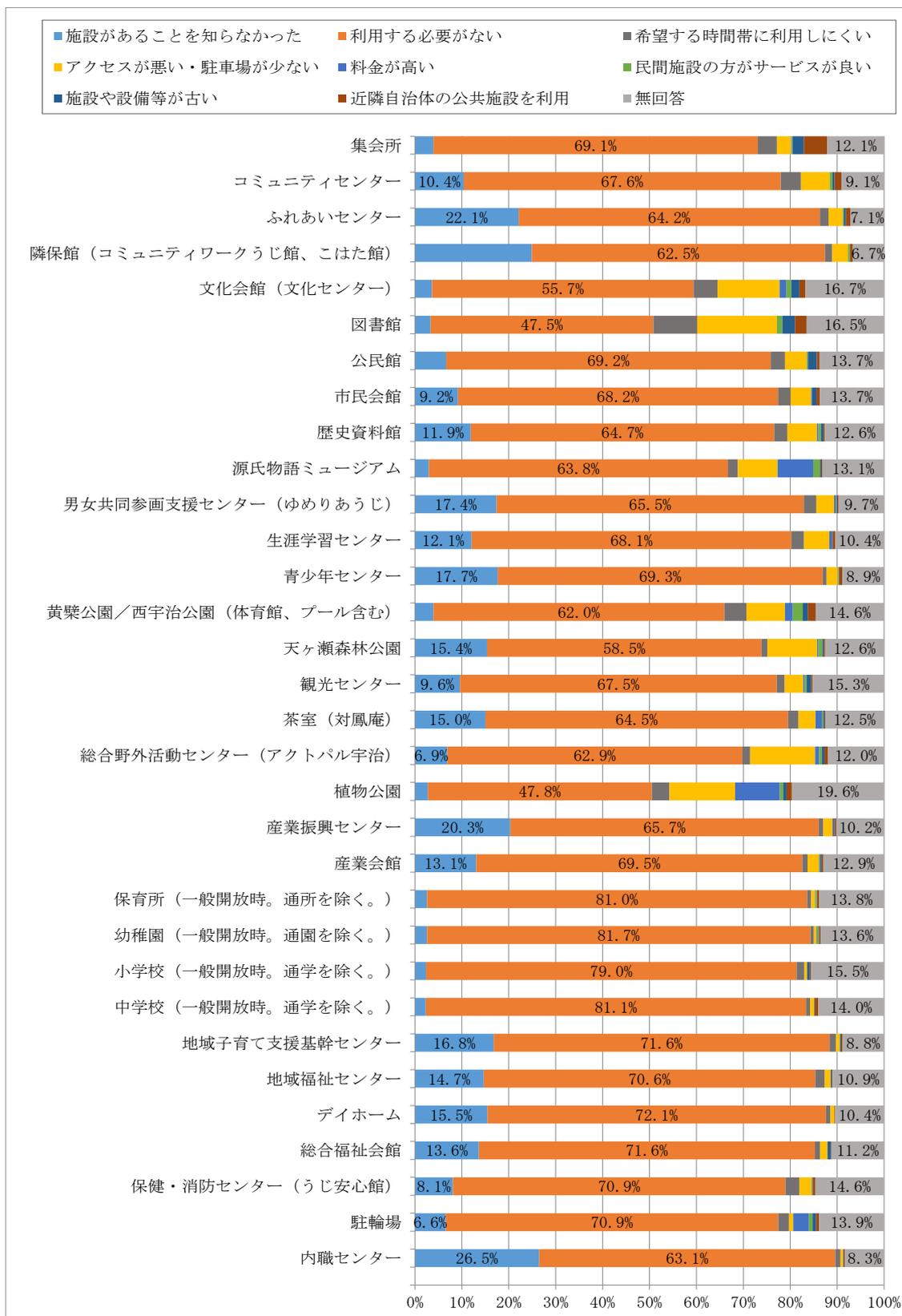
利用しない理由

問5 (利用しない理由)	回答数									合計
	施設があることを知らなかった	利用する必要がない	希望する時間帯に利用しにくい	アクセスが悪い・駐車場が少ない	料金が 高い	民間施設の方がサービスが良い	施設や設備等が古い	近隣自治体の公共施設を利用	無回答	
集会所	26	457	27	20	1	1	16	33	80	661
	(3.9%)	(69.1%)	(4.1%)	(3.0%)	(0.2%)	(0.2%)	(2.4%)	(5.0%)	(12.1%)	(100.0%)
コミュニティセンター	70	454	29	41	-	4	3	10	61	672
	(10.4%)	(67.6%)	(4.3%)	(6.1%)	-	(0.6%)	(0.4%)	(1.5%)	(9.1%)	(100.0%)
ふれあいセンター	155	450	13	21	-	2	3	7	50	701
	(22.1%)	(64.2%)	(1.9%)	(3.0%)	-	(0.3%)	(0.4%)	(1.0%)	(7.1%)	(100.0%)
隣保館 (コミュニティワークうじ館、こはた館)	178	447	11	24	-	3	-	4	48	715
	(24.9%)	(62.5%)	(1.5%)	(3.4%)	-	(0.4%)	-	(0.6%)	(6.7%)	(100.0%)
文化会館 (文化センター)	25	383	35	91	10	7	12	9	115	687
	(3.6%)	(55.7%)	(5.1%)	(13.2%)	(1.5%)	(1.0%)	(1.7%)	(1.3%)	(16.7%)	(100.0%)
図書館	20	285	56	102	-	7	16	15	99	600
	(3.3%)	(47.5%)	(9.3%)	(17.0%)	-	(1.2%)	(2.7%)	(2.5%)	(16.5%)	(100.0%)
公民館	46	478	21	32	-	2	13	4	95	691
	(6.7%)	(69.2%)	(3.0%)	(4.6%)	-	(0.3%)	(1.9%)	(0.6%)	(13.7%)	(100.0%)
市民会館	65	483	19	31	1	-	7	5	97	708
	(9.2%)	(68.2%)	(2.7%)	(4.4%)	(0.1%)	-	(1.0%)	(0.7%)	(13.7%)	(100.0%)
歴史資料館	85	461	20	45	2	4	4	2	90	713
	(11.9%)	(64.7%)	(2.8%)	(6.3%)	(0.3%)	(0.6%)	(0.6%)	(0.3%)	(12.6%)	(100.0%)
源氏物語ミュージアム	21	452	15	60	54	10	2	2	93	709
	(3.0%)	(63.8%)	(2.1%)	(8.5%)	(7.6%)	(1.4%)	(0.3%)	(0.3%)	(13.1%)	(100.0%)
男女共同参画支援センター (ゆめりあうじ)	124	467	19	27	3	1	1	2	69	713
	(17.4%)	(65.5%)	(2.7%)	(3.8%)	(0.4%)	(0.1%)	(0.1%)	(0.3%)	(9.7%)	(100.0%)
生涯学習センター	85	479	19	38	4	-	1	4	73	703
	(12.1%)	(68.1%)	(2.7%)	(5.4%)	(0.6%)	-	(0.1%)	(0.6%)	(10.4%)	(100.0%)
青少年センター	127	498	6	17	1	1	-	5	64	719
	(17.7%)	(69.3%)	(0.8%)	(2.4%)	(0.1%)	(0.1%)	-	(0.7%)	(8.9%)	(100.0%)
黄檗公園/西宇治公園 (体育館、プール含む)	26	408	31	54	11	14	7	11	96	658
	(4.0%)	(62.0%)	(4.7%)	(8.2%)	(1.7%)	(2.1%)	(1.1%)	(1.7%)	(14.6%)	(100.0%)
天ヶ瀬森林公園	109	414	9	75	2	6	2	2	89	708
	(15.4%)	(58.5%)	(1.3%)	(10.6%)	(0.3%)	(0.8%)	(0.3%)	(0.3%)	(12.6%)	(100.0%)
観光センター	68	478	12	28	2	3	7	2	108	708
	(9.6%)	(67.5%)	(1.7%)	(4.0%)	(0.3%)	(0.4%)	(1.0%)	(0.3%)	(15.3%)	(100.0%)
茶室 (対鳳庵)	108	463	16	26	10	2	2	1	90	718
	(15.0%)	(64.5%)	(2.2%)	(3.6%)	(1.4%)	(0.3%)	(0.3%)	(0.1%)	(12.5%)	(100.0%)
総合野外活動センター (アクトバル宇治)	49	445	12	98	6	4	4	5	85	708
	(6.9%)	(62.9%)	(1.7%)	(13.8%)	(0.8%)	(0.6%)	(0.6%)	(0.7%)	(12.0%)	(100.0%)

利用しない理由

問5（利用しない理由）	回答数									合計
	施設があることを知らなかった	利用する必要がない	希望する時間帯に利用しにくい	アクセスが悪い・駐車場が少ない	料金が 高い	民間施設の方がサービスが良い	施設や設備等が古い	近隣自治体の公共施設を利用	無回答	
植物公園	19	331	26	97	66	5	5	8	136	693
	(2.7%)	(47.8%)	(3.8%)	(14.0%)	(9.5%)	(0.7%)	(0.7%)	(1.2%)	(19.6%)	(100.0%)
産業振興センター	146	472	7	14	3	-	-	3	73	718
	(20.3%)	(65.7%)	(1.0%)	(1.9%)	(0.4%)	-	-	(0.4%)	(10.2%)	(100.0%)
産業会館	93	495	8	17	1	1	2	3	92	712
	(13.1%)	(69.5%)	(1.1%)	(2.4%)	(0.1%)	(0.1%)	(0.3%)	(0.4%)	(12.9%)	(100.0%)
保育所（一般開放時。通所を除く。）	18	563	6	6	1	2	-	3	96	695
	(2.6%)	(81.0%)	(0.9%)	(0.9%)	(0.1%)	(0.3%)	-	(0.4%)	(13.8%)	(100.0%)
幼稚園（一般開放時。通園を除く。）	18	573	5	4	1	2	1	2	95	701
	(2.6%)	(81.7%)	(0.7%)	(0.6%)	(0.1%)	(0.3%)	(0.1%)	(0.3%)	(13.6%)	(100.0%)
小学校（一般開放時。通学を除く。）	16	534	11	4	-	-	4	2	105	676
	(2.4%)	(79.0%)	(1.6%)	(0.6%)	-	-	(0.6%)	(0.3%)	(15.5%)	(100.0%)
中学校（一般開放時。通学を除く。）	16	561	6	6	-	-	1	5	97	692
	(2.3%)	(81.1%)	(0.9%)	(0.9%)	-	-	(0.1%)	(0.7%)	(14.0%)	(100.0%)
地域子育て支援基幹センター	120	511	10	6	-	-	2	2	63	714
	(16.8%)	(71.6%)	(1.4%)	(0.8%)	-	-	(0.3%)	(0.3%)	(8.8%)	(100.0%)
地域福祉センター	102	491	14	9	-	-	2	1	76	695
	(14.7%)	(70.6%)	(2.0%)	(1.3%)	-	-	(0.3%)	(0.1%)	(10.9%)	(100.0%)
デイホーム	111	518	7	6	-	-	-	1	75	718
	(15.5%)	(72.1%)	(1.0%)	(0.8%)	-	-	-	(0.1%)	(10.4%)	(100.0%)
総合福祉会館	96	505	8	11	-	-	5	1	79	705
	(13.6%)	(71.6%)	(1.1%)	(1.6%)	-	-	(0.7%)	(0.1%)	(11.2%)	(100.0%)
保健・消防センター（うじ安心館）	57	499	21	18	-	1	1	4	103	704
	(8.1%)	(70.9%)	(3.0%)	(2.6%)	-	(0.1%)	(0.1%)	(0.6%)	(14.6%)	(100.0%)
駐輪場	43	465	15	6	22	5	5	4	91	656
	(6.6%)	(70.9%)	(2.3%)	(0.9%)	(3.4%)	(0.8%)	(0.8%)	(0.6%)	(13.9%)	(100.0%)
内職センター	191	455	8	4	1	-	-	2	60	721
	(26.5%)	(63.1%)	(1.1%)	(0.6%)	(0.1%)	-	-	(0.3%)	(8.3%)	(100.0%)

利用しない理由



問6. 問5の利用状況に関わらず、あなたが生活の中で、「重要だと思う（必要がある）」市の公共施設を選んでください。（当てはまるもの全てに○印を付けてください。）別紙（施設概要一覧）をご覧くださいながらご回答ください。

利用状況に関わらず重要だと思う（必要がある）公共施設について、「図書館」が最も高く81.8%の方が「重要だと思う」意見となり、次いで「文化会館（文化センター）」62.3%、「駐輪場」59.4%、「集会所」58.6%の順となっています。

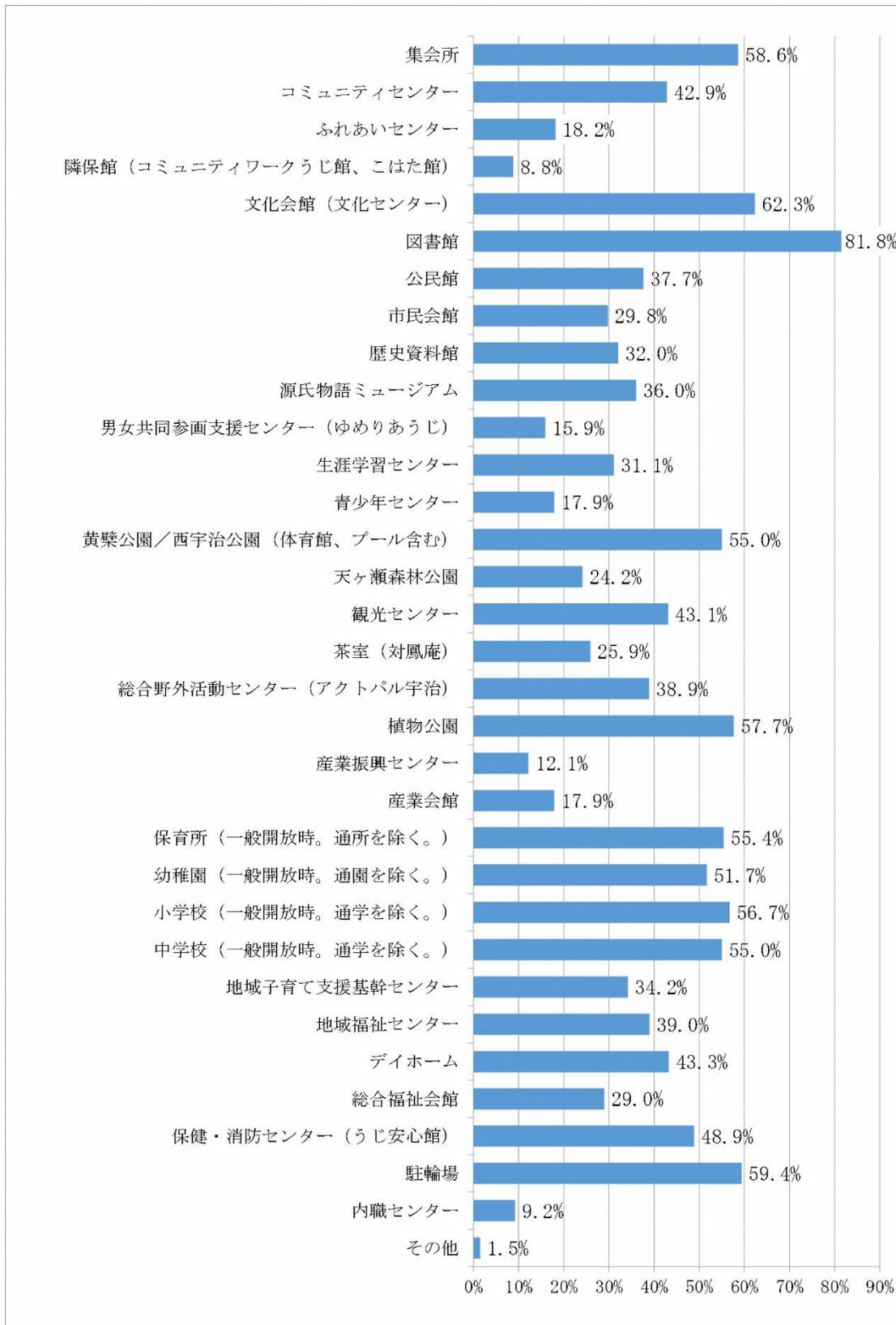
一方で、「隣保館（コミュニティワークうじ館、こはた館）」、「内職センター」、「産業振興センター」、「男女共同参画支援センター（ゆめりあうじ）」は「重要だと思う」割合の低い施設となっています。（なお、「その他」は除いています。）

今後、「重要だと思う」割合の低い施設については、施設の場所や設置目的等について市民への周知に努める必要があります。

また、利用状況等の回答とあわせて、その施設のあり方についても検討が必要となります。

(単位：件)

問6	回答数	回答割合
集会所	439	58.6%
コミュニティセンター	321	42.9%
ふれあいセンター	136	18.2%
隣保館（コミュニティワークうじ館、こはた館）	66	8.8%
文化会館（文化センター）	467	62.3%
図書館	613	81.8%
公民館	282	37.7%
市民会館	223	29.8%
歴史資料館	240	32.0%
源氏物語ミュージアム	270	36.0%
男女共同参画支援センター（ゆめりあうじ）	119	15.9%
生涯学習センター	233	31.1%
青少年センター	134	17.9%
黄檗公園／西宇治公園（体育館、プール含む）	412	55.0%
天ヶ瀬森林公園	181	24.2%
観光センター	323	43.1%
茶室（対鳳庵）	194	25.9%
総合野外活動センター（アクトパル宇治）	291	38.9%
植物公園	432	57.7%
産業振興センター	91	12.1%
産業会館	134	17.9%
保育所（一般開放時。通所を除く。）	415	55.4%
幼稚園（一般開放時。通園を除く。）	387	51.7%
小学校（一般開放時。通学を除く。）	425	56.7%
中学校（一般開放時。通学を除く。）	412	55.0%
地域子育て支援基幹センター	256	34.2%
地域福祉センター	292	39.0%
デイホーム	324	43.3%
総合福祉会館	217	29.0%
保健・消防センター（うじ安心館）	366	48.9%
駐輪場	445	59.4%
内職センター	69	9.2%
その他	11	1.5%



(注) その他は、駐車場、公園、斎場、貸農園など

(3) 自由意見

問7. そのほか、市の公共施設全体に関するご意見があればお聞かせください。

(各施設へのご意見についてもこちらでお聞かせください。)

自由意見の主な回答内容は、公共施設全体に関するもの、個別施設に関するもの、市政全般に関するものでした。

主な自由意見は以下のとおりです。明らかな誤字は回答者の意図が変わらない範囲で修正をしています。また、類似した意見については集約をしています。

公共施設全体に係る主な意見は以下のとおりです。

① 公共施設全体に係る意見

施設の統廃合について以下のような意見あり

- ムダで、やや不透明な施設も含め多すぎると思った。この様なアンケートを重視し活用して率先して行動し、より良い町づくりをして欲しいと願います。
- 少子高齢化が絶対的な時代になるので、施設の数も不要になるはずですが。要らないものは取り壊し、又は、使えるものは改修して、違う目的に使う等、財政を節約して下さい。市民の財産でしょうけれど、大多数の施設は使ったことがありません。
- 費用対効果に表せない施設類について廃止は困難ではあるが、人口減少傾向の今は現状にマッチした施策検討は必要と考える。第三者委員会等を設置して十分なる議論を待ちたい。
- 機能が重複している所は統廃合してコスト削減をしてください。
- 今回のアンケートで初めて知った公共施設が多かったです。所在地も近隣でも分からない所もありますし、どういう活動もされているのかも知らない施設が多かったのも自分自身驚きです。この先を見据えてムダをなくし皆さんの税金を有効に活用いただけたらと思います。将来ある子供達のために、宇治市の発展のために。
- 利用の少ない施設は縮小、廃止を積極的にするべきである。廃止が無理であれば、一つの施設にまとめて売却すべきである。
- 市の施設で活用が少ない施設は減らし、他の（少ない施設）と統合すれば良い。
- 少子高齢化、人口減少に伴い、老朽化した利用頻度の少ないものについて、勇気を出して廃止すべきである。又、財政負担が大きい赤字施設も考えるべきである。経済の上昇や税収の伸びはもう期待できない時代であり、勇気を持った判断がいるのではないかな。
- 財政が厳しいならば複数の機能をひとつの建物にまとめるのはありだと思えます。
- 全般的には市民の利用頻度の低いものは統合縮小。高いものはより便宜性を高める（増やす・拡充する）方向性が必要なのは。
- 市の公共施設を減築して、駐車駐輪スペースを広げて欲しい。自転車・バイクが通り易い道路にして欲しい。
- 働く女性が増える中、保育所、幼稚園の充実は早急に図るべきだと思います。また図書館

の本が少ない。施設が少なくアクセスが不便なため、施設の増加を希望します。一方、似たような目的の施設はどんどん統合し維持管理費・人件費の削減を図るべきと感じます。宇治市が更なる魅力的な自治体となるよう公共施設の変革を期待します。

- 公共施設なので、特定の人だけが利用して恩恵を受けるのではなく、より多くの市民が気軽に利用できる施設であって欲しいと思います。財政状況に応じて必要な統合、縮小をして欲しいですが、子育て中の私としては、子育て中の人にやさしい環境を整えて欲しいと思います。後、施設の利用料を引き上げる（もしくは有料化）は最後の手段であるべきと思います。
- 少子高齢化に伴い優先すべき施設を充実させ施設を改修すべきであると思う。観光も今後充実させていくべきだと思う。集会所や公民館は地域に提供、管理を移管し不要な施設は削減すべきである。
- 厳しい財政状況を踏まえ、全体として公共施設は縮小・廃止や民営化を進めるべき。どの施設を縮小・廃止するかは維持コスト（人件費を含む）、利用状況、その他政策的必要性等を総合的に検討する必要があるが問3の質問では回答しづらい。縮小・廃止する場合は、市民の理解を得られるよう丁寧な説明を行う必要がある。
- どの施設も使用されて必要性はあると思いますが、似たような内容をひとつの施設にまとめてはどうかと思います。
- お金が足らなくなることが必至なのであれば、いいものを一つ建てるのが一番だと思う。青少年センターやら指導センターもまとめることは可能だと思うし、図書館にしても（借りたい本が別の図書館にあると言われても、もういいやとなる）一つの方が、どこに行くか迷わなくて済むと思う。コンパクトにまとめて、作るのであれば、歴史的景観も考えて作っていくと宇治らしさを演出できていいのではないか・・・？（平等院周辺のみが宇治市にしか見えないから）（作るのであれば長年使えるように、ケチらずいいものを作る）
- 各施設は目的によって使用率は変わる（年齢・性別・観光）ので、使用率が低くても必要と感じる。ただ、類似施設については統合等するのが望ましい。市営住宅等は本当に必要な人を優先にすべき。
- 何でも施設を作れば良いというものではなく、必要性を良く考えて欲しい。特定の者のみが利用するようなもの、逆に言えば広く多数の市民が利用しない(できない)ものは、原則不要であり、行政のムダだと考えます。多数の市民のニーズにきめ細かく答えて対応していくことは、物理的に無理な訳で、そう考えると前述のとおり広くニーズがあるものだけに行政サービスを投下すべき。「個のニーズ」よりも「全体のニーズ」を重視して欲しい。「個のニーズ」は、各人が私費で対応すべき部分である。
- 公共施設が散在しすぎ。一ヶ所に集約する。バス等で行きやすくする。公園は公園らしく緑あふれる所にして欲しい。野球場等はなくて良い。年寄りが簡単に動ける広場があると嬉しい。

- 施設内容を見ていると同じような建物が名前をかえてあるだけの様に思える。統合できるものはして空いた敷地建物は民間に売るなりしてこれからの老人増加にそなえて老人ホームやデイサービス等の福祉施設を増やすべき。現時点で申請してもなかなか入れない様なので。
- 少子高齢化が進みますが、子育て支援等、将来を見据えた対策を行っていただきたいので、それを踏まえて、今回の施設見直しを行っていただきたい(単に「利用者が少ないから減らす」というのではなく)。ただ今回、財政の厳しさもわかったので、上記を考慮しての必要性の少ない施設への投資を減らすことは大切だと考えます。
- 改めて宇治市の公共施設を見ていかに利用していない施設があるかを知りました。年齢や生活実態により異なることは当然のことと思います。問5,6については、無責任な回答になっていないか心配です(利用していない施設が多いため)。ただし、財政状況を考えると、歴史的に役割を終えた施設、対象者や目的に沿っての施設の統廃合は進めるべきと考えます。利用者の視点からもわかりやすくすべきかと思えます。また、公共施設は自然災害時の避難所にもなることから安全面に配慮した建て替えも必要です。宇治市域の地域実情に対応した取組をお願いいたします。
- できる限り縮小・統合していくべき。高齢者でなく子供に関するところに投資すべき。かけるところには集中して投資した方がよいと考えます。あまねく平等にというのは無理になってきています。富山市などスモールシティを目指している自治体を手本に計画立案されては如何かと思えます。
- 多額の利用料を必要としない公共施設は市民にとって気軽に集える大切な場であると考えます。ですが、使用頻度の著しく低い施設や統合化する事でより利用しやすくなるのなら、コスト削減のためにも減らす決断はありだと思えます。ただ地域に愛されている施設もあるかと思うので、新しい施設に豪華な設備や内装をする予算を地域の古い施設が利用しやすくなるよう壁紙を変えたりトイレを新しくするなど、住民に優しい予算の使い方をお願いしたいです。
- 今現在子育てをしていないが、将来のことを考えると子育て支援を充実させてほしいと思う。六地藏周辺はあまり宇治市の施設がなく図書館などにも行きにくい立地なので、宇治市の公共施設を頻繁には利用していない。ただ、宇治市の持つ程良い歴史の街とささやかな京都らしさはとても好きなので、宇治市が観光も含めてもう少し活気があればと思っている。福祉に関わる施設はできるだけ減らしてほしくないとも思うが、最初に書いた通り、ニーズと現状から1つずつの施設を見直してもらえたらと思う。
- 幼稚園や学校の学習に問題が出なければ、市民が図書室や空き教室・グラウンドを利用するなどして、コミュニティセンター等で行っている活動をするとうい。公共施設数を減らしたり、他の施設をまとめるなどして維持費を減らしていくことが必要と感じました。アクセスが悪くなるので、循環バスが必要になるが、病院やスーパーなどにも停車すれば買い物に不便な人も助かるし、民間の資金も得られる。

- 使用頻度の少ないものをまとめ全体として減らし職員も効率的に配備する。
- 主婦ですが、内職センターなどの名前は初めて知りました。もっとその存在を前に出されて、その案内を出されたりすれば、内職に対しての疑問・もしくはあっせんなどの問合せも多いと思います。又、似たような業務、もちろん職員の方は違う内容だと言われるかもしれませんが、市民から見れば似ている業務はカテゴリ毎に統一（整理）すべきではないでしょうか？もしくは建物をひとつに統一されるなどして頂ければ、その人件費や光熱費などは少なくなると思います。（源氏物語ミュージアム・観光案内センターもしくは市歴史資料館との一体化）。せっかくのいい内容のものも、ただ存在するだけで無駄なお金（税金）がかかってもったいないです。合理的に運営し、有効に提供してもらいたいです。
- ひとつの市だけではなく近隣の市町村とのコラボが必要では。私はアンケートの中で利用する必要が無いが多いですが会社定年前の職場のメンバーとの交流も多く又は施設利用も多くその結果利用する必要がないとなりました。今後、後期高齢者に近づいていくに従い利用することが出てくると思います。
- 費用が高額であれば良いサービスにできると思いますが、人口推移や流出もあるでしょうし、必要な部分に費用をかけるべきだと思います。以前、移動図書館等があったように思います。市庁舎が立派な建物ですので、近隣の施設を統合できるものがあれば統合を考えていただければいかがでしょうか。又、市営住宅が本当にそれだけの個数が必要でしょうか。民間とどのような違いがあるのか、本当に市が担わなければならないのか、市民全体でその住宅を支えなければならないのか、疑問に思います。市に売却などの土地があるのであれば、産業、工場、会社等、誘致で多くの会社に来ていただくのもよいと思います。

■ 施設へのアクセスについて以下のような意見あり

- 駐車場が少ない。駐輪場が少ない。自動車道路の整備をして欲しい（宇治川沿い、一般道路）
- 高齢者が公共機関等施設を利用する場合、もう少し補助があっても良いと思う。
- 多くの施設は今回のアンケートで初めて知ったものが多数ある。もっと施設を周知させることが必要かと思われる。私自身知っていたら訪れてみたい、使ってみたい施設も幾つかあった。しかし、今まで全くその存在を知らず訪れなかった施設もあった。やはり鉄道の駅近くに施設は建てて欲しい。公共機関がバスだけだと訪れるのがどうしても億劫になってしまう。
- 各施設への必要性については大きな疑念はないが、以下の二点について再考を求めたい。
①各施設の公共交通によるアクセスが悪すぎるか全く考慮されておらず、特に交通弱者への配慮が無さ過ぎる。この点は各施設の利用率の低下に直結するはずなのに、宇治市は鉄道バスといった公共交通との連携や整備を全く考えていないように見える。相手が私企業だからと考えているのであれば、猛省を促したい。今後、施設の集約統合を進めるのであれば、それ自体には異論は無いが、せめて公共交通へのアクセス性の良い場所を優先的に

残すか、施設の配置に配慮した公共交通網を再整備してほしい。それが公共交通の維持、交通弱者への福祉にも繋がるはずである。②各施設間の連携が為されていない。されているとしても目立たない。例として歴史資料館を挙げる。歴史資料館の学術活動及び企画展示内容は自治体として十二分に誇れるものであり、維持発展を切に願うものであるが、資料館へのアクセスが悪すぎることで、源氏物語ミュージアムや平等院等の他の博物館との連携が全く為されていないように見え、故に著しく知名度が低く、有効に活用されていないように見える。あまりにも勿体無い。太閤堤整備についても同様に、他の施設との連携が全く配慮されていないように見える。特に観光センターとの関係性について今一度の精査を望む。

- 公共施設がほとんど自宅からのアクセスが悪い。図書館など山手が多いので利用しにくい。
- 転居して1年ですので宇治の施設がよくわかりません。住み始めてすぐ感じたことですが、1. 道路事情が大変悪く、どこに行くのも大変。2. 全体的に活気のない財政が厳しい町かもと。3. 施設の老朽化が目につきました。4. 小規模の施設が多数点在している。インフラの整備ができれば、施設もまとめる事ができ、公共バスの不足分はコミュニティバスを走らせることで、高齢者の足の確保もしやすくなると思いますが。
- 文化センターは駅から近い場所に移転させるべきだ。高齢社会になるのだから、交通の便利な場所にしないと利用者は増えない。それと、どの公共施設も駐車場があって欲しい。車社会になった今日において、駐車場が無い施設は利用しづらい。人口が減少し、働く世代も減れば、税収も減収するのだから、公共施設を利用した利益の向上をするべきである。空いている市有地をコインパーキングにするとか、テナントビルや宿泊施設にしていくのも、いいのではないのでしょうか。特に、太陽ヶ丘を利用している人達の合宿施設や日帰り入浴施設を、太陽ヶ丘に隣接した場所に設ければ、利用客が見込めそうに思える。民間のノウハウを最大限活かせば成功すると思う。また、宇治を訪れる観光客からよく聞く内容としては、観光地なのに、駐車場が少ないということがある。平等院の裏にある駐車場に対して表側、宇治観光地の玄関口とも言うべき JR 宇治駅や京阪宇治駅側に大型バスを駐車できる駐車場が無いのは残念である。こちら側に駐車場があれば、平等院へ行く途中等に宇治橋商店街へ立ち寄る観光客も倍増するし、商店街も活気づき潤う。観光地としての利点を活かさないのはもったいない。それとも以前からある駐車場（民間）に気を使い過ぎているのではと思える。
- 西小倉地区に住んでいる者ですが、市役所をはじめ公共施設が遠くて急な坂道で不便。車、市バスがないと利用するのが少なくなる。
- 宇治市内には世界遺産の平等院や宇治上神社があり外からの観光客が多く車の停滞が多く一方通行も多い、市内に入るまでの所に公共としての駐車場の設置、現在の公民館の所に立体の数階立ての駐車場への建替え要望、又、府立宇治公園の公共トイレの増設を希望します。

■ 施設の認知度・利用度の促進について以下のような意見あり

- ほとんどの施設を知らないし使ったことが無いので、もっとイベントなど増やして広告に力を入れるべきだと思います。知らないと利用することもできない。
- ①観光政策を積極的に進める。②保育・幼稚園の増設。③老人介護施設の充実。
- 最近感じるようになったことは、自分が宇治観光に来た場合、物足りないだろうなという事です。もっと面白い施設があれば観光客も増えると思います。何が物足りないかと言うと、観光所を歩いていても閑散としている所があります。少なからず、京都のはんなりした部分ではないことは確かだと思います。他にはこのアンケートで初めて知った施設があり、20年住んでいても知らないような施設はあまり必要がないのではないかと思います。
- 一部の人だけでなく、たくさんの人に利用してもらえるように、宣伝・PR 他工夫を粘り強くするべきだと思う。利用しやすくするためにも料金・アクセス・利用時間帯・曜日・休館日を変更するなどもっと努力するべきだと思う。

■ 施設の管理運営方法について以下のような意見あり

- 公共施設の多額な費用が必要な建て替えの際は、賛同している住民などのボランティアを集うなどして、さまざまなイベントの場（例えば植物公園のイベントや産業会館のイベントなど）で募金などしてみてもどうでしょうか？
- 将来的な人口構成と現状の人口構成とのバランスを検討して地域の状況に応じた公共整備の見通しを図るべき。特に老朽化による改修等が必要な時に費用効率を十分に検討すべき。民間のノウハウは積極的に活用、場合によっては民間に管理委託をして維持コストの捻出を図るべきと思う。現状維持するには将来的な人口増減、財政維持を考えれば無理が感じられ、地域社会に密着性の強い施設、公共サービス維持の視点から不要施設については早急に統廃合を検討すべきと思う。又、宇治市の地域産業、地域特性（観光、茶葉等）を考え各地域に見合った設備の有無を再検討し、場合によってはその地域に委託（運営管理等）し市の負担軽減を図るべき施設があるのではと思う。地域の特性は住民の動向（高齢化、開発の有無）は変化し続けるものであり地域情報の管理により効率的な施設のあり方を見直す必要がある。地域主体で今後の施設の方向性を検討し無駄を省く必要があると思う。
- 子育て世代の住みやすい環境整備が必要。子育てママがこの町で働けるフィールドづくりが大切。この町に住み、この町で働く。市の施設は積極的に民間移管をすべし。公と民の住み分けを長期的戦略のもとに行う。民でできるものは民間に移管し、公務員・準公務員の要員をもっと削減すべきである。「歴史文化遺産」「山麓水明の環境」「食文化＝宇治茶」これ程の地域資産を持っている町は少ない。宇治市のブランド戦略をアクティビティーに実施してもらいたい。公共施設についてもメリハリのついたスクラップ&ビルトをお願いしたい。

- 高齢化が進む中で、地域の安価で使いやすい施設は無くすべきではないと思う。集会所や施設によってはかなり料金の高い所もある。もう少し安くしてもいいのではないかと思う。老朽・耐震など早期改善をしてもらいたい。とても答えにくいアンケートでした。この結果だけで方針を決めるのはいかがかと思う。
- 市民として利用することはなくても、他府県の方や観光客が来る施設は大切だと思っています。宇治は素敵だなあとってもらえるように快適で魅力あるものであって欲しいです。ただ運営は民間のように努力・工夫をして、少しでも利益が出来るようにして欲しいです。観光客がチェックしやすいような情報発信・営業活動を。施設名が細かくて〇〇センターというのはそんなに目的を限定しないといけないのか？と感じます。行政手続きが出来て、集会やサークルも利用できるコミュニティセンターはとてありがたいです。複合的に利用できる「場」としての施設は、各地域に必要なので、地域毎のバランスを考えて既存の建物を改修して多目的使用出来るようにして欲しいです。駐輪場はわが家では全員が利用しているので、とても経営難とは思えません。しかし、終電（PM11:00 過ぎ）までに閉まってしまうので、民間の無人化駐車場の方が助かったり、安価であったりします。運営がアナログすぎるのではないのでしょうか？1/3~1/2 くらいのスペースを無人化してみるとか、民間ならいくらで出来るのか？など考えて欲しいです。
- 過去に仕事をしていなかった時期には、健康や趣味・学習目的から低料金で利用していましたが、（パートですが）仕事をしていると利用する時間がなく、ほとんど全く利用していない状況です。集会所は、なかった頃は役員宅で会議を行っていた時期もあり、それは負担になり大変なものであった方がいいと思う。財政が厳しいと大変なのは、家庭でも市でもどこでも同じだとは思っているので、切り詰められるものは切り詰めるというか、そういう視点は必要だと思うが、公共の建物の場合、人が集まる場所なので、災害や地震時等の安全性にコストをかける必要はあると思う。どこが必要でどこが必要でないかの判断は難しいと思いますが、財政（市）も国も各家庭も、ある意味同じだと思うので、身の丈にあったやりくりをして財政破綻しないよう努力する必要があるのではないかと思います。
- 施設概要一覧を見て、今まで利用した事がない、知らなかった施設が多かったことに自分自身驚いた（宣伝効果が薄い）。宇治は観光者が多いが、宿泊者が少ない（京都市内に戻る）と聞きました。観光者により魅力のある誘致が必要なのでは？（見所も作り、お金を落としてもらえる施設を作る）。※住民税を多く払っている割には、整備（公用施設の）が出来てないのではと思った。
- 公民館等で特定のサークルが独占していて、利用したくてもできない人（しない人）との差があり不公平。市も財政難であるので、利用料金を高くし建物の維持費とする。地域住民が利用できるコーナー（一回 500 円必要）を大規模マンションにも義務付ける・・・古い集会所が不要になる（高齢化で畳や座蒲団より例え 500 円必要でも床暖や椅子の方が良い）。名称を付けた中途半端な大きさの建物が多すぎる。耐震に不安があると思うのでなくす方にお金をかける。交通の便利な所で市内に最低 2 か所全て民間に委託する。民間の

方が運営管理は上手。施設を利用する場合、市主催以外どのような団体個人であっても利用料金をいただく。

■ その他公共施設全般に係る意見として以下のような意見あり

- 集会所等使用頻度の多い建物から拡張されることを希望します。
- 公共施設は必要だと思います。利用者が少ない所も残して欲しい。料金はなるべく安く利用させて欲しい。
- 良くわからない施設がある一方で、利用したことのある施設も思ったより多かった。施設の整理は必要とは思いますが、利用人数だけではわからない周りの人たちのニーズなどもあるだろう。すべてリニューアルされることは財政的に難しいだろうが、地元の人たちの声を多く聞いてほしい。
- 公共施設のニーズは人それぞれ立場によって多種多様であり、その適正を検討することは、容易ではないと思います。それぞれの専門家の分析のもと、幅広い知見を持った職員が携わり、適正に検討を行い、決定を下す（実際は市長）ための職務を遂行することが必要ではないでしょうか。
- 共働きで時間がなかったり、有料でも便利な施設が増えてきたりしているので市の公共施設を利用することは、ほとんどないです。
- 老朽化対策は計画的にやって欲しい。宇治公民館は現在の位置での建て替えで早急に対応して欲しい。
- 災害時に使用・活用する施設等の最悪状況等を踏まえての点検をお願いします。
- 宇治らしさのものは必要。福祉、介護に関するものは必要。教育に関するものは必要。
- 今後の市民の高齢化を考えれば住民の集う場所は必要だと思われます。また、観光客増のためにもそれに関する施設は拡大する事が大切だと考えます。バランスを取りながら実現できる事を期待します。
- 宇治小・中一貫校の一枚だけに巨額の費用をかけ、他の学校施設や施策、例えば中学校給食など、市域全体に関わることにはお金がかけられず、不公平感があるのではないかと。公共施設では総量で捉えることも必要なのはわかるが、単純に括れるものではないので、個別にニーズ・行政の役割を考えて、慎重に行動すべき。もしこのようなアンケートで誘導されるのであれば、良くないのではないかと。全施設について、個別に評価するよう求められているが、普段使わない施設は、正直なところ評価できない。厳しい財政状況といわれるのであれば、今後着手する大規模な事業は慎重に検討すべき。例えば太閤堤公園は、今後の負担を考えると整備の必要があるのか疑問。この負担が大きいからといって、本当に必要な施設が切り捨てられないようにして欲しい。
- 宇治市は歴史ある土地なので、それを活かして地域の活性化を行って頂きたい。また、高齢化に対して高齢者の方が利用できるサービスを増やして欲しい。
- 今後、高齢化・介護問題がますます進むため、デイケア等、明るい憩いの場的な共通の問題として話していけるコミュニティ的な場所が必要になってくると思う。

個別の公共施設に係る主な意見は以下のとおりです。

②個別の公共施設に係る意見

- 公共トイレが少ない。文化会館はアクセスが悪い、駐車場も少ない。市民プール(温水)も、アクセスのよい所につくってほしい(総合施設と共有でも)。
- 小中学校のトイレをきれいにしてあげて欲しいです。
- 市役所の女子トイレが古い、汚い、狭い。もう少し改善して欲しい。
- 各所の各部署にある公衆トイレですが、外からの観光客には大きなイメージを及ぼすので環境美化・衛生面で特に力を入れてもらいたいところです。
- 先日宇治橋周辺の観光に行きました。トイレの数は多くて良かったのですが、施設が古くトイレ特有の臭いが気になり利用する気になれませんでした。観光客にとってトイレの清潔さは観光料金の入場料より重要だったりします。3ヶ所のトイレをのぞきましたがどこも臭いがひどく観光の気分がさめてしまいました。宇治橋をわたった直ぐにあるトイレはとても素敵でした。
- 私は今の所元気なので利用していない所はありますが将来的には今まで通り施設等はあれば安心だと思います。植物公園ですが我が家には庭がありませんので園に行くとほっとするのですがアクセスが悪く入園料も高く駐車料金を含めると 900 円になります。これでは宇治市民として気軽に行けません。(今はまだ車に乗っていますがバスもありません) せっかくの公園なのに料金の事を見直していただきたいです。
- 宇治植物公園は必要でしょうか。京都には京都府植物公園があります。又、料金 500 円。市民にとっては植物公園が身近に感じない所があるのでは年間 1500 円フリーカードも高い料金である。年金生活者には料金が高く太陽公園で時間をつぶす事が多い。
- 植物公園の件、毎年 1 億円以上の赤字の施設は民間に委託してその金で託児所を作ったらと思います。宇治公園(塔ノ島)について、私はよく散歩をしますが、植込みの中の雑草が大変気になっています。現在、観光客が平等院から宇治神上神社に行かれる方に大変不愉快にされたことと思います。
- 市の公共施設の営業収益を市民に解るように出してください。必要か必要でないかはそれを見なければ判断出来ません。源氏物語ミュージアムのように海外の方々が来られている今、もっと大きくすることで収益が上がるなら投資をした方が良いし先でも書いたように太閤堤のように見ても面白くないものに大きな投資をするのはまったくナンセンスです。又、日ごろ図書館など全く収益が上がらないものに収益を求めてもダメなのでそういうものにアンケートを取るのは必要だと思います。歴史資料館などは行ったことはないですが文化センターにあるのはナンセンスです。それこそ源氏物語ミュージアムと一緒にする必要があると思いますし、その方が来場者を上げることが出来ると思います。アクトパル宇治はよく利用します。ただキャンプが出来る施設ではありますが、今ほとんどオートキャンプがメインなので泊まることはありません。少し工夫をすることで大きく収益を上げることは出来ると思います。特に滋賀県などはオートキャンプを

する場所が多く十二坊やマキノなどは大きな収益を上げていますし、地元も観光で儲かっています。市も儲かる事を考えてください。

- 菟道ふれあいセンターを月に数回使用しています。建物も古く、部屋も使いにくい状況です。今、宇治公民館の建替えが検討されていますが、地理的にも不便なところと思われます。希望としては、今の菟道ふれあいセンターのところに善法のコミュニティ程度の調理等も出来る施設を建ててもらえたら大変嬉しいです。公民館を利用させていただいている者として、私の感想を言えば、施設の中は古いものは古いなりに美しく使えるように配慮されていてありがたいですが、せっかく便所を洋式にして頂いたのに、便座に保温がありません。冬に使用する場合大変勇気がいります。少しの費用で保温のものが設置出来たのに残念です。市営住宅の古い建物で、人が住んでいるのかいないのか不明のものや、長い間住民もなく、又、何か他のものに使われている様子もないので、不要のものや、今後使用しないものは早急に取り壊すなどのことを行われたい。
- 宇治公民館を利用した事がありますが、今のままでは老人には階段は無理です。途中歩いている方が足を止めハアハアと声を出されていました。出来るだけ早く公民館の改良をよろしくお願い致します。
- 総合福祉会館が大分古くなってきているので、建替えて欲しい。トイレが和式なので洋式にして欲しい。地域福祉センターが駅から遠いので、もう少し近くにあればと思う。図書館の本がもっと充実していればといつも思っている。
- 自分にとって必要なくても、他の人にとっては重要なものもあるので、総合的に見て図書館は絶対に地域の豊かさだと思うので必要だと思う。
- 文化センターはあまり利用されていないのではないかと思いますがいかがでしょうか。企画を広く捉えてみてアクセスも問題がありますが、公共性の大切さの中でもっとセンターを使用される方法を、色々な考え方の中で重要性が必然的に出てきたら良いのではないかと思います。その重要性は文化面を充実させていく事に力を注がれていく施策が将来に向けて残っていくものと思いますが・・・。
- 集会所、コミュニティセンターは月に数回利用しています。維持管理、修理等、今まで通り市が行ってくれるように願っています。宇治文化センターは古くて設備も音響も悪いと思います。足の悪い人、車いすの人でも利用しにくい。入口までの階段、階段以外の道も作ってください。新しく建て替えるか改築してください。
- ポール遊びができる公園を増やして欲しい。
- 集会所、公民館、ふれあいセンターは、一つの施設として充実できるのではないかと思います。アクトパル宇治は活用できる施設ですが規模が広すぎではないかとも思います。
- 市役所、うじ安心館、図書館のある場所が非常に不便です。長い坂の上だったり、駅から遠かったり。小さな子供を連れて行く人、お年寄りの方が多く利用するこの施設がなぜこんなに不便な場所にあるのか。バスの本数やルートが少ないのも不満です。

- 1. 宇治公民館は古いので建て替えが必要と考える。2. 高齢化に伴い、集えるスペース、催し等を企画してはどうか？ 3. 福祉政策の充実を！ 4. 市の産業会館、福祉会館、学習センター、施設のある駐車場は催しがなくても日常的に満車になっているのは何故なのか。改善を望みます。
- 宇治のコミュニティセンターについては老朽化があり利用者も多く、場所取りは抽選のところもあります。できれば増やしてほしい。それが難しいとしても、今のコミセンは駐車場がないところがほとんど。あっても少なく駐車場の確保をお願いしたい所存です。高齢化が進むのは間違いなく、車の利用は必須であります。そのためにもお願いします。
- 公民館は、高齢化社会の中で、高齢者の社会教育・生きがい作りに大変重要な役割を果たしていると思います。
- 西小倉コミセンの会議室を利用しますが(約4時間)、遠方より来る者が自家用車での駐車場がなく、庭等を有効活用されるべき。
- 古い集会所のつくりを使いやすい様に改造を。小さな部屋は何個もいない、大きな部屋1個で。フローリングや段差が少ない改造に。
- 文化センターのリハーサル室を利用させてもらっているが一時間でも3,000円の利用率は高い。集会所の管理は地域の役員がしたらいいが、建替え、修理は宇治市がしてほしい。
- 公共施設は災害時の避難場所として大事な役割を求められるので安全な建物でなくてはなりません。順番に建替えをしてはいけません。東宇治図書館は駐車場を広くしてほしいです。御蔵山校区内に図書館を新設して近くにカフェも作ってほしいです。
- 図書館の開館時間を長くしてほしい。夜8時から9時位まで開いていないことには、平日に利用しようとしても仕事があって利用できない。市の公共施設の縮小・拡大・現状維持の是非以前に、私はほとんどの施設の存在を知らなかった。これは多くの市民もそうであると思う。生涯学習センター・産業会館・総合福祉会館が一体となったエリアの東側の交通量の多い道路へと歩道が通じて連絡している出入口を封鎖してほしい。歩行者が多い道なので非常に危険である。代替案として、市役所南側のあたりに大きめの駐車場を作るべきだと思う。
- 他の市町村に比べ図書館が少なく充実していない
- 図書館は図書の貸出、閲覧ができる大切な市民の憩いの場である。良書を選ぶ力量も大切で、民間に任せると劣悪な図書を置かれる可能性もあり、心配である。保育所、幼稚園、子育て支援など、子育て教育に必要なものも大切にしてもらいたい。
- ①「ゆめりあうじ」の夜間開館がいつの間になくなっていて驚きました。日曜・祝日も休みのようだし、これでは働いている人は利用できません。日中に利用できる人ばかりではないのでぜひ一考を！ ②「ふれあいセンター」を利用していましたが、予約が取

りにくく車での来館を断られたこともあって(私自身は自転車愛好家ですが)、個人宅での集まりに変えました。又、夜間のパート職員の一部の人は、態度が良くなかったです。有料化しても(1回一人100円位なら可)良いので、いっそ運営を京都市のようにNPO法人に任せたりして、感じのよい対応で予約が取りやすいようにしてほしいです。

- 小学生の子どもたちが放課後に集まって遊べる施設を大久保小学校地区にも作ってほしいです。また、その中で高齢者との関わり(例えば、遊びを教えてもらう、話を聞く、料理を教えてもらうなど)があればお互いにいいのではないかと思います。
- 交通事故が多い状況を考え、特に通学路の安全対策が必要と考えます(他の市より遅れている)。子育て支援として保育所等は充実の必要性を感じます。健康支援としてジム等の充実は必要と考えます。観光対策をするのであれば、伊勢市、鎌倉市などを参考に平等院通、あさぎり通などを魅力あるものにしていく方が良いのでは。綺麗な宿泊施設(泊まるのが魅力)が足りない。行ったこともない施設がたくさんありすぎてびっくりしました。JR常盤線沿線のように世代間で交流できる様な企画があれば市の魅力が上がる様な気がします。水害時の避難箇所の明示がまったくない。太閤堤のセンターの建設もピントがずれている気がする(昔のまま残すから風情があるのに)
- 今現在も西宇治公園体育館でジムの様な事もやっているのかどうか知らないが利用するにしてもその方法が周知徹底されておらず非常に料金等分かりにくい。もっと周知徹底させるべきだ。
- 観光センターは宇治市にとっても観光客にとっても必要。茶室(対鳳庵)はお茶の里宇治にとって必要不可欠。地域福祉センター、デイホームはこれからの高齢時代は必要。駐輪場がないといたるところに自転車を止められ通行の邪魔になるため必要。
- JR新田駐輪場、一時預け場所、なぜ屋根がないか。
- 私自身、利用することは現時点ではありませんが、子育てに関する施設、高齢者に関する施設は充実させて頂きたいと思っています。多方面から講師の方に来てもらうのもいいかと思っています。
- とにかくこれだけ公共施設がある事にびっくりしています。但し、その内でも高齢者に対する施設は更に充実させる必要があります。保育所は女性の活躍の幅を広げるために、一段と充実・新設増加も必要(費用がかかっても)。但し幼稚園は民間委託を増加させ、思い切って閉鎖も検討するべきです。小中一貫校なんて必要なし。税金の無駄使い。図書館の隣にある文化ホールですが、全くといっていい程利用されてないのではと、一番赤字を出しているのではと。民営化出来ないのですか！
- 高齢化社会に伴う高齢者及び福祉に関連する施設の充実化、拡張に注力すべきと思う。待機児童の問題もあり、保育所の増設が急務と思う。
- なくなると困る人がいる施設(福祉等)は残してミュージアムや茶室などはなくてもよい(困る人がいない)ミュージアムなどはあまりおもしろくない、あってもなくても観光に影響ないと思う(トイレは必要。)男女共同参画支援センターはいらないと思う。

- 産業振興センターやベンチャー企業育成工場、産業会館などは一つか二つにまとめることはできないか。
- 黄檗公園プールやテニスコートなど親子で気軽に利用できる施設はもっと市民にアピールし、施設充実を図るべき。遠くのプールに行かなくても地元のプールで遊べて市の中で経済が回る仕組みを作っていくべきである。
- 超高齢化社会を目前とし、また独居高齢者や認知症も増加しています。民間の高齢者向けマンションや施設も増えてきています。一方、私の住む地域では子どもの数が減り、今後小学校の統合もしくは小学校校舎の多機能化、複合化を進め、福祉と教育活動の統合が一層必要なのではないかと思われます。
- JR 木幡駅の駐輪場について始発から最終の電車が通過するまでは、自由に自転車を置いたり、取り出せるようにしてほしい。
- 学校・保育所施設について、何をおいても改善して欲しい。子どもが安心して過ごしやすい施設に！トイレ・雨漏り校舎は急いで改修をして欲しい。特に民間施設（保育所）に依存せず、公営保育所の増設をして欲しい。保育所にも適正規模があるはずです。太閤堤跡公園に規模の大きすぎる予算を使わないで下さい。現在ある公共施設を市民が使いやすい様に、耐震・バリアフリー化改善で、市民の財産として大切にしてください。
- ふれあいセンター、公民館、市民会館等のように違うのかわからない。集会所については使用料について疑問があります。現在、体操教室で使用していますが、全く営業目的ではありませんが、約 2 時間で 700 円支払います（三室戸集会所）。南宇治コミセンでは約 2 時間の勉強会では 300 円支払います。出来るだけ負担が少なくなるよう検討して頂きたいと思います。
- なぜ西大久保小学校の近くに平盛小学校があるのか、統合すべき。

その他市政全般に係る主な意見は以下のとおりです。

③その他市政全般に係る意見

- 「お年寄り」と「働く子育て世代」この2つの世代が「住み良い」と思える行政をお願い致します。安心して老後を迎えられ安心して子供を育てながら働ける宇治市にして下さい。そういう行政ができる、歳入施策をお願い致します。その間の世代で補えれば良いと思います。
- 宇治市といっても京都市の施設の方が近く市内へ足を運ぶことが少ない。女性病の検診券を一昨年と昨年頂きましたが、利用できる時間のものがなく結局行くことができませんでした。仕事帰りでも立ち寄れる時間や場所に出張所などがあればありがたいです。今は親が手続き等代わってくれているので大丈夫ですが、将来働きながら暮らしていかるか不安です。高齢者に目を向けるのは大切ですが、若者や一生懸命働いて生きている人にも目を向けて欲しいです。
- 土曜日、日曜日でも市役所を開けて欲しい。勿論、全ての課、サービスを開けておく必要はありませんが、住民票の写し（他の施設で受け取れることは承知していますが）や、書類の提出等、土日しか休みが取れない市民に利用しやすい状況を作って欲しい。最低限のサービスが利用できる時間を増やして欲しい。
- 公共サービスを再構築して欲しい。歩いて生活できる町づくりを目指すべき。交通機関の充実と宇治市内の車両総量規制を取り入れるべき。市役所周辺に核となる施設を集中させ、最小の公共サービスを提供する施設を「歩いて生活できる町」の規模に合わせて設置すべき。
- 少子化についての市の対策はどうか。それに対する施設はどうあるべきか明確化すべきではないか（人口増、住民税となるもの）。
- 今後とも市民生活に深く関係する公共施設の問題は定期的に取り上げて頂きたい。市側の方針、方向も公開出来る範囲で共に知らせて貰えれば、より具体的な対話（討論）が出来ると考えます。
- 少子化が進んでいるからこそ児童・生徒の学力・体力活動の向上に力を入れて質を高めるべき。また、向上にともない治安を改善し地域評価をあげ他地域にその情報を広げトータルの質を高めていく。そのための環境として勉強のできる図書館をつくり、塾などにかかるコストを減らす。
- 女性の就職が最重要の課題だと思います。その一環として、保健所、子育てセンター、保育園、小中学校、育成学級、給料の引き上げ等、必要だと思います。
- 高齢者の増加は60~70年前からわかっていた。50年後には減少する。利益、負担は公平に！！
- 運動公園の利用の情報が全くわかりません。もっと利用状況の情報をオープンにして頂けるとありがたいです。ご近所の方に聞いて初めて知ったという事もあったので。文化会館等もあると安心します。昔（小さい頃）文化センターで発表会に使わせて頂いた思

い出もあり、維持を頑張ってもらいたいです。公共施設の利用の状況をもっとオープンにしてもっと活気ある宇治市になればいいなと思います。

- 各種の書類のためなどに市役所やコミセン等に行く事があります。その時にいつも思うことが、何もせず机に座っている人、ただうろうろしている人（そのように見える）が本当に多いなあと感じます。この10年間で人件費はわずかに減っているようですが、歳出が増えていますので、人件費だけではなくいろいろなムダを省く取り組みをお願いします。
- 宇治市が主体となって維持・運営する施設は市民の利用状況を定期的にレビューして決めていくべきと考えます。これだけ多くの施設が「できてしまった」現在は、時代の流れに沿って、要・不要を判断し限られた予算の活用を図って頂きたい。今回のアンケート調査では抽出された市民の声を聞くプロセスをとっているものの「それぞれの施設の年間利用状況」「運営に要する人員と年間コスト」などが欠落しており、宇治市がどれだけ真剣に公共施設の現状認識と今後のあり方を市民に投げかけているかわかりづらい。提案としては毎年一回市民だよりのような媒体を使って全施設の利用状況/運営コスト・人員について分かりやすい報告書にまとめて市民に提示されたいかがでしょう。多くの（施設を利用していない方々）はその活用状況について潜在的な疑問を持っているように感じます。高い税金を本当に必要な施設の改修・建替えに使うためにも、その点を見極める必要があると思います。
- 小学校・中学校で地域による人数の片寄りがあると思う。マンモス校になりすぎて子供に目が届くのか気になるところです。住宅街が増えていくのに、小学校や中学校のキャパが対応できていないのでは・・・と思うので、一時的な問題ではあると思うが対応策を考えて欲しいものです。
- 公共施設が市民にとってどんなメリットがあるかPRが重要かと思います。PRにより施設利用者が増え、①市政について知る機会が得られる。②地域活性化になる。③老若男女の世代間交流が期待される。市民が休みの日に公共施設で過ごすのが増えるようなサービスの展開を願っています。
- 住民を軸に、施設運営をすすめることが第一と考えます。宇治市の自治体としての位置づけが重要であり、働く町なのか、住む町なのか、将来に向けた判断が必要と思います。
- 槇島町（南落合・落合など）では市役所や文化センターへの交通手段も無い。もちろん他施設を利用することも難しい。施設を維持することよりも、市民が公平に施設を利用できる手段を考えるべきだと思う。赤字路線になるからバスは運行できないのではなく、黒字路線から延長して運行してもらおうなど、京都の市バスのような考え方が必要なのではと思う。同じ市民でありながら非常に不公平感を感じる。施設の充実より公平に利用できるように考えることの方が大切だと思う。

その他（①～③以外）に係る主な意見は以下のとおりです。

④その他（①～③以外）に係る意見

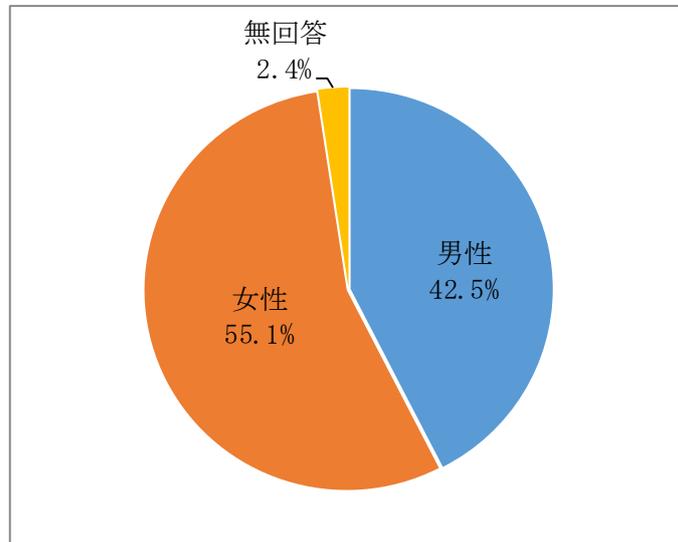
- 地方自治体も民間企業並みに残ったお金は翌年に持ち越すようにして内部留保で資金を積み立てておく。京都宇治バスはJR宇治駅で快速電車が着いて、乗客が降りてくる前に発車してします。あと1分ぐらい待つようにダイヤを組んだらいかがでしょうか。京都宇治バスはサービスは最低だし電車の到着とバスの発車と時間が合っていない。
- 一度は利用した。知っていた施設が40施設中一度は利用した9箇所、知っていた3箇所では内容の把握も利便性等々もわからず正確な回答ができない。
- 施設概要一覧はありましたが、実際にどのようなイベント等をしているのかわかるものがあれば答えやすいと思います。
- 各公共施設があるのはいいのですが、どの施設にどれだけの人数の人が年間に利用しているのかそれが知りたかったです。
- それぞれの施設に対する必要云々を問われているが、実際のところ施設ごとの年間利用率等が見えないので本質的な回答がしづらいというのが正直な意見である。問5の解答欄に「過去に利用したことがある」がある方が良いのでは？又、その方が回答しやすい。
- 施設の説明が別紙であったのですが、実際その施設にどのくらいの利用者がいるのか、どのような成果等があるのかが分からないので、どの施設が必要かどうか判断するのが難しかった。
- 京阪黄檗駅近くの歩道拡張工事、車線拡張工事などに、何年もかかりすぎる。工期を短くする事が、費用の節約になる。公共施設を縮小・閉鎖する事よりも、土木工事の節約を進めるべき。太閤堤などにかかる予算こそ無駄だと思う。

(4) 回答者の属性に関する質問

問8. あなたの性別を教えてください。

(単位:人)

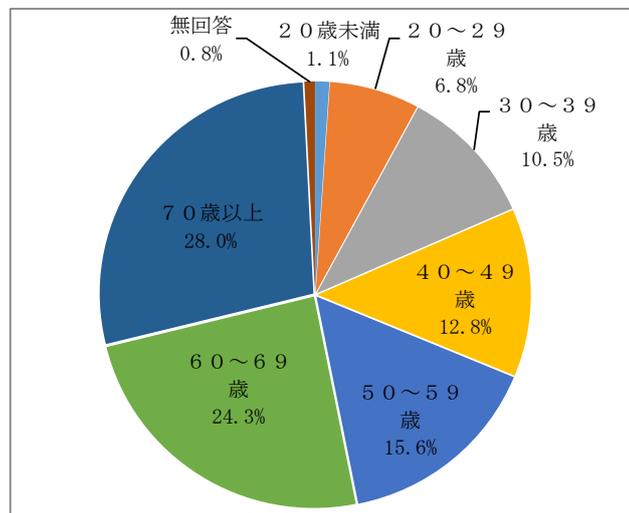
問8	回答数	回答割合
男性	318	42.5%
女性	413	55.1%
その他	-	-
無回答	18	2.4%
合計	749	100.0%



問9. あなたの年齢に○印を付けてください。(今年7月1日時点)

(単位:人)

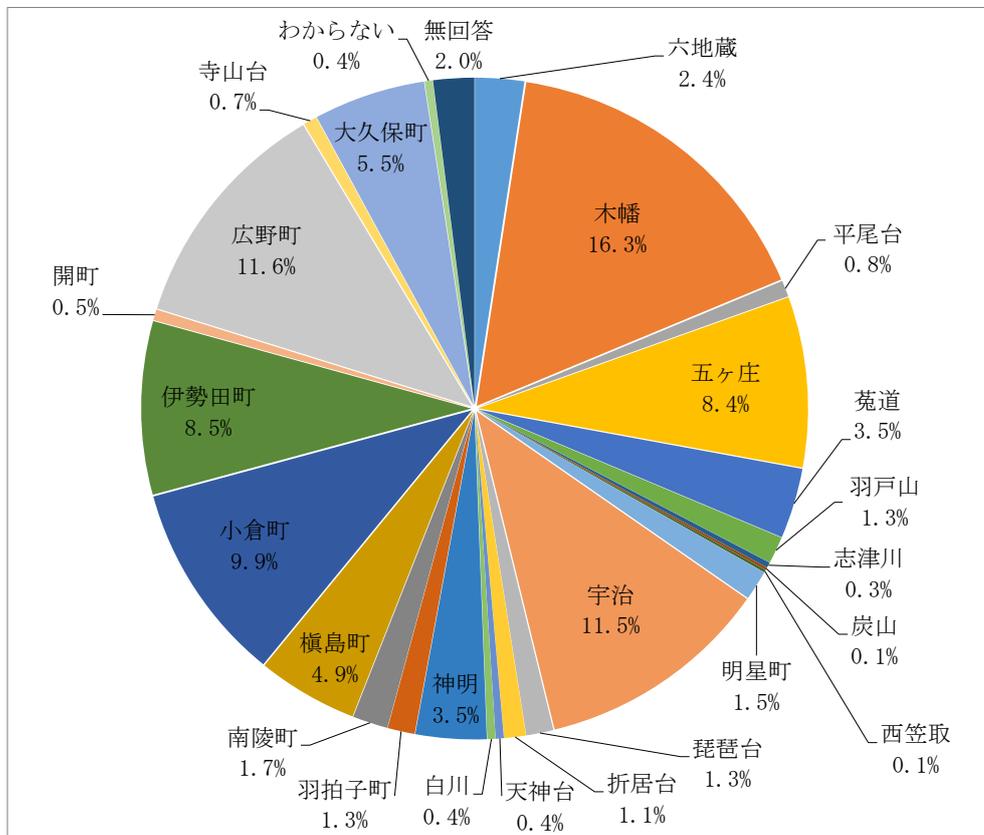
問9	回答数	回答割合
20歳未満	8	1.1%
20～29歳	51	6.8%
30～39歳	79	10.5%
40～49歳	96	12.8%
50～59歳	117	15.6%
60～69歳	182	24.3%
70歳以上	210	28.0%
無回答	6	0.8%
合計	749	100.0%



問10. あなたがお住まいの地区に○印を付けてください。

(単位:人)

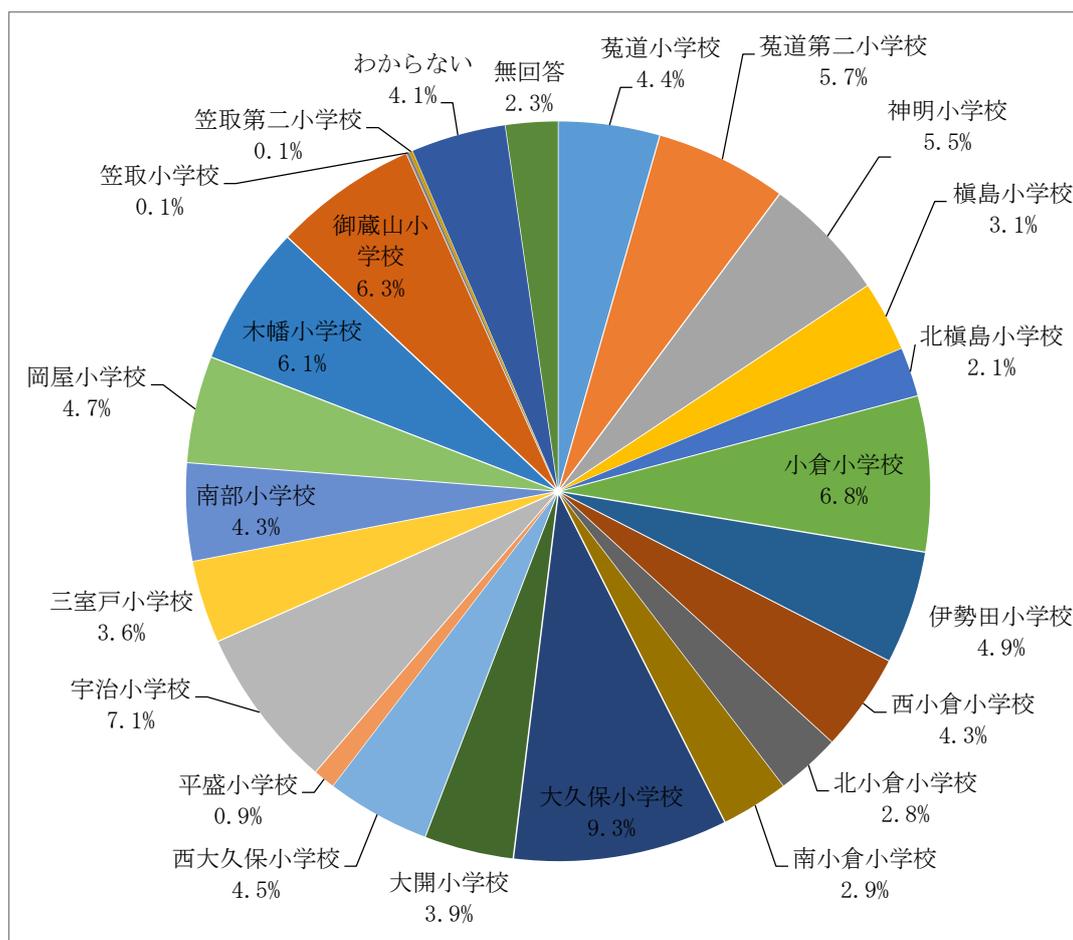
問10	回答数	回答割合	問10	回答数	回答割合
六地藏	18	2.4%	天神台	3	0.4%
木幡	122	16.3%	白川	3	0.4%
平尾台	6	0.8%	神明	26	3.5%
五ヶ庄	63	8.4%	羽拍子町	10	1.3%
菟道	26	3.5%	南陵町	13	1.7%
羽戸山	10	1.3%	槇島町	37	4.9%
志津川	2	0.3%	小倉町	74	9.9%
炭山	1	0.1%	伊勢田町	64	8.5%
二尾	-	-	安田町	-	-
池尾	-	-	開町	4	0.5%
東笠取	-	-	広野町	87	11.6%
西笠取	1	0.1%	寺山台	5	0.7%
明星町	11	1.5%	大久保町	41	5.5%
宇治	86	11.5%	わからない	3	0.4%
琵琶台	10	1.3%	無回答	15	2.0%
折居台	8	1.1%	合計	749	100.0%



問11. あなたがお住まいの小学校区に○印を付けてください。

(単位:人)

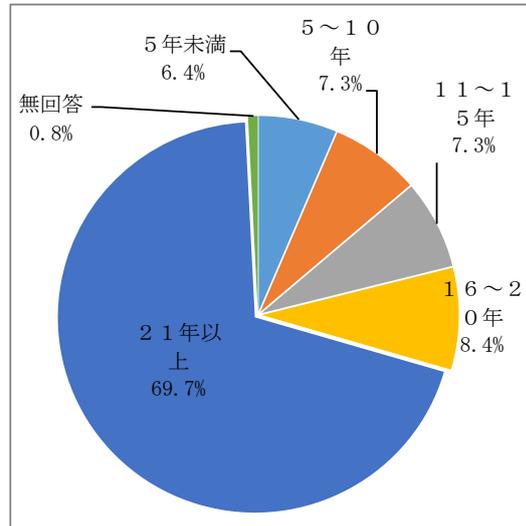
問11	回答数	回答割合	問11	回答数	回答割合
菟道小学校	33	4.4%	平盛小学校	7	0.9%
菟道第二小学校	43	5.7%	宇治小学校	53	7.1%
神明小学校	41	5.5%	三室戸小学校	27	3.6%
槇島小学校	23	3.1%	南部小学校	32	4.3%
北槇島小学校	16	2.1%	岡屋小学校	35	4.7%
小倉小学校	51	6.8%	木幡小学校	46	6.1%
伊勢田小学校	37	4.9%	御蔵山小学校	47	6.3%
西小倉小学校	32	4.3%	笠取小学校	1	0.1%
北小倉小学校	21	2.8%	笠取第二小学校	1	0.1%
南小倉小学校	22	2.9%	わからない	31	4.1%
大久保小学校	70	9.3%	無回答	17	2.3%
大開小学校	29	3.9%	合計	749	100.0%
西大久保小学校	34	4.5%			



問12. あなたは宇治市にお住まいになって何年になりますか。○印を付けてください。

(単位:人)

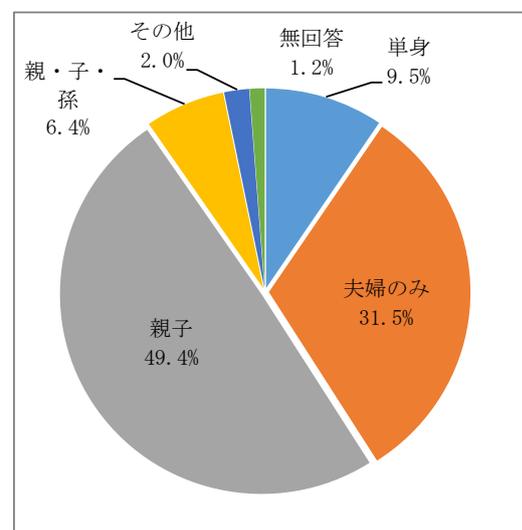
問12	回答数	回答割合
5年未満	48	6.4%
5～10年	55	7.3%
11～15年	55	7.3%
16～20年	63	8.4%
21年以上	522	69.7%
無回答	6	0.8%
合計	749	100.0%



問13. あなたの家族構成はどれにあたりますか。○印を付けてください。

(単位:人)

問13	回答数	回答割合
単身	71	9.5%
夫婦のみ	236	31.5%
親子	370	49.4%
親・子・孫	48	6.4%
その他	15	2.0%
無回答	9	1.2%
合計	749	100.0%



宇治市公共施設に関する市民アンケート調査

ご協力をお願い

日頃から本市市政の推進につきましては、格別のご協力・ご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

現在、本市では、施設の利用状況や市内人口の地域バランスも変化している中で、公共施設の配置場所が適正であるのか、今の時代に求められる施設はどのようなものなのか等、将来のまちづくりを見据え、子どもや孫の世代に胸を張って引き継げる公共施設のあり方を考えていく必要があります。

また、公共施設の老朽化、少子高齢社会の進展、厳しい財政状況等を踏まえ、地域の実状にふさわしい、公共サービスのあり方も考えていく必要があります、「宇治市公共施設等総合管理計画」を策定することとしております。

公共施設は、市民の皆様の財産です。公共施設をこれからどうしていくかについては、市民の皆様と行政が一緒になって、知恵を出し合い、考えていくことが大切です。そこで、市民の皆様のご認識やお考えを率直にお聞きするアンケート調査を実施することといたしました。

この調査は、平成28年6月20日現在、住民基本台帳に登録されている18歳以上の方を対象に無作為に3,000名を選ばせていただき、ご回答をお願いしているものです。無記名でご回答いただくものであり、お答えいただいた内容は全て統計的に処理され、お答えいただいた個人が特定されることはありません。また、この調査以外の目的に使用することはありません。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年7月

宇治市長 山本 正

【アンケート記入方法とお願い】

対象者：あて名となっているご本人のお考えについてお答えください。

記入方法：回答は、番号に○印を付けてご回答ください。（ ）内には、必要に応じて具体的な内容をご記入ください。

お願い：ご記入が終わりましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに7月15日（金）までに郵便ポストに投函してください。
記入方法や質問内容でわからないことなどありましたら、下記の間合せ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

宇治市 政策経営部 行政経営課

電話：0774-21-1584(直通) ファックス：0774-20-8778

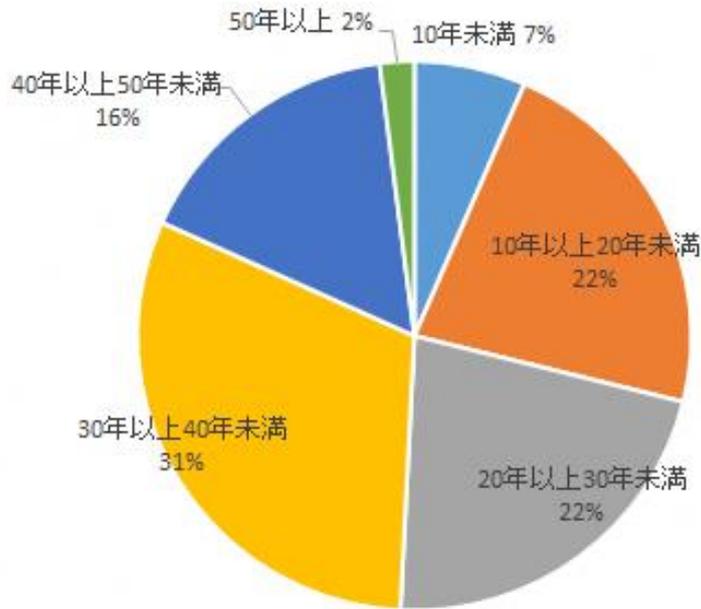
メール：gyoseikeieika@city.uji.kyoto.jp

宇治市の公共施設の現状と課題

●公共施設の老朽化

宇治市の公共施設は、現在、**約5割が築30年以上経過**しています。今後、一斉に老朽化した施設の改修・建替え時期を迎えることとなり、**将来の維持管理コストが増大**すると予測されます。

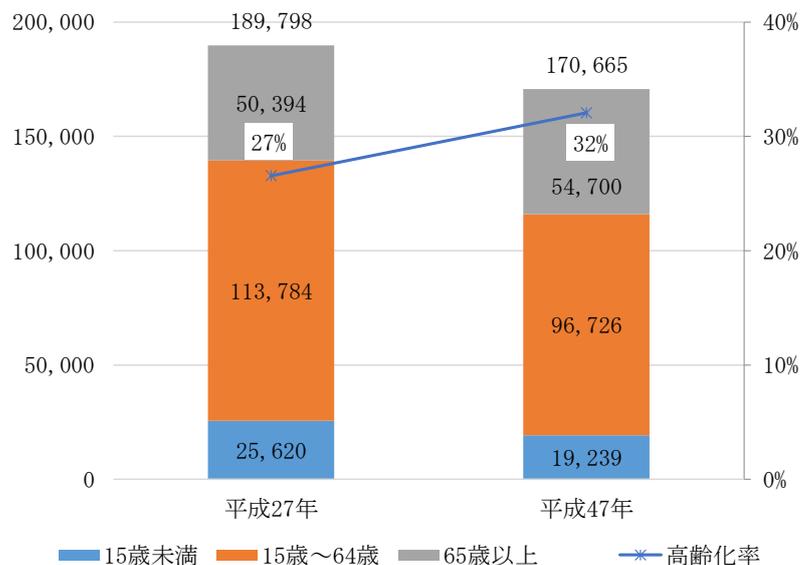
【公共施設（建築物） 整備からの経過年数の状況】



●人口減少・少子高齢社会の進展

宇治市の**平成47年の人口は17万1千人**、**高齢化率は約32%**になると予測され、**市民に必要な公共施設の質と量が変化**していくことが考えられますので、これからの公共施設のあり方を考えていく必要があります。

(人) 【人口の推移】

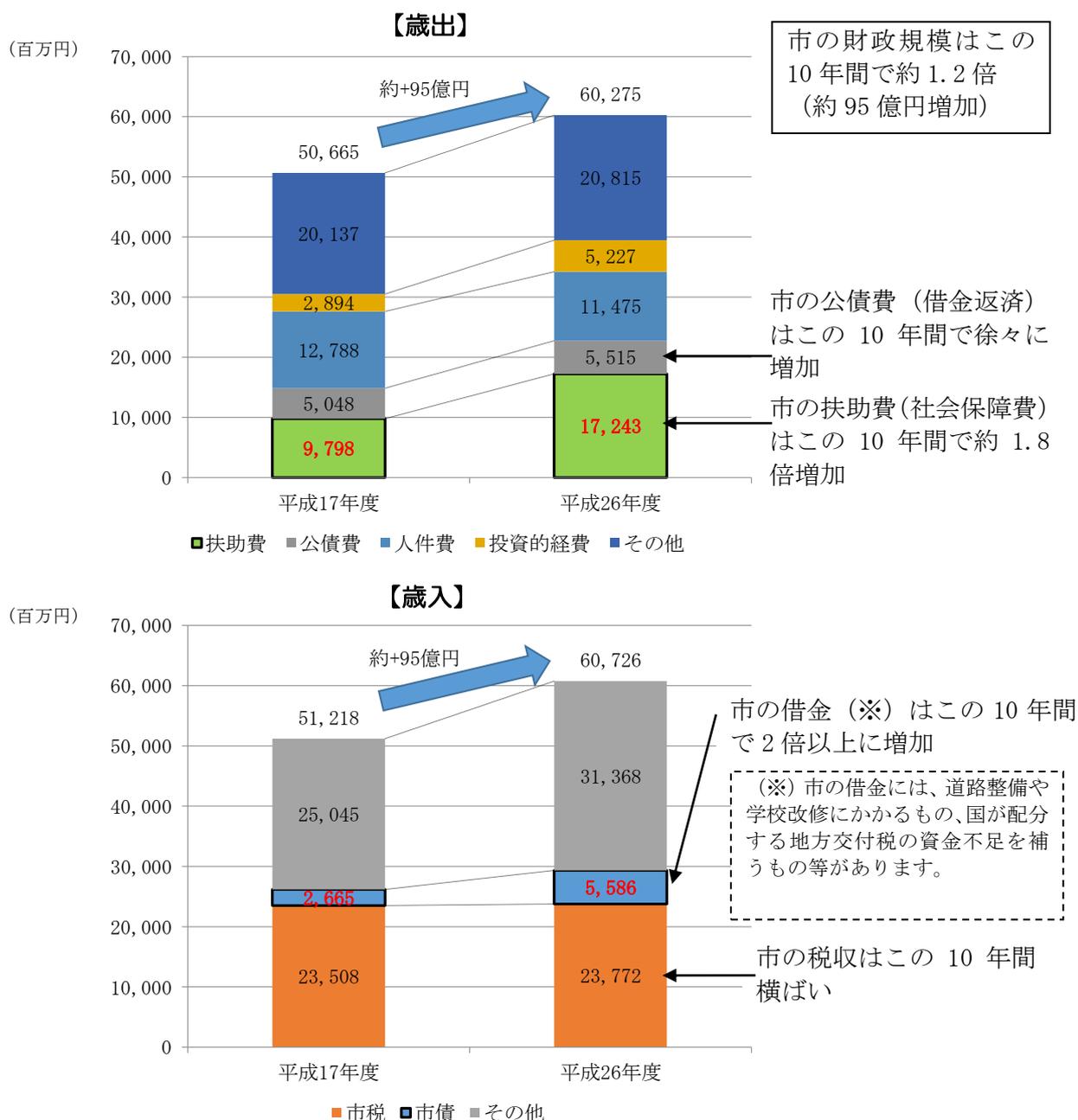


※平成27年：10月1日現在の人口 平成47年：第5次総合計画の人口推計

●財政の状況

市の財政規模は、歳出では、扶助費（社会保障費）や公債費（借金返済）の増加などにより、この間大きく膨らんでいます。一方で、歳入においては、市税収入が横ばいで推移しているなど、市の財政は厳しい状況であり、市債（借金）も大きく増加しています。

今後も、高齢化率の上昇等による扶助費（社会保障費）がさらに増加する中で、生産年齢人口（15～64歳）の減少により大幅な歳入増も見込めず、公共施設の老朽化に伴う将来の維持管理コストの増大も踏まえると、財政状況は一層厳しくなることが見込まれ、**現在の公共施設すべてを維持・更新していくことは困難**であると考えられます。



将来にわたって、適切な公共サービスの提供と安定した財政運営を両立させるために…

公共施設マネジメント（保有する施設の最適な維持管理・有効活用）に取り組むことが必要

※時代のニーズに適した施設に再整備し、魅力あるまちづくりを目指す

I 公共施設の現状認識とあり方について、お伺いします。

**問 1. あなたは「宇治市の公共施設の現状と課題」を読まれて、どの程度関心を持ちましたか。
最も近いものに○印を付けてください。**

項目	関心を持った	どちらかといえば関心を持った	どちらかといえば関心は持たなかった	関心は持たなかった	わからない
公共施設の老朽化	1	2	3	4	5
人口減少・少子高齢社会の進展	1	2	3	4	5
財政の状況	1	2	3	4	5

問 2. 将来のまちづくりも見据えて、今後の公共施設の総量について、あなたの考え方に最も近いものを一つ選んでください。また、選んだ理由もあればご記入ください。

1. 厳しい財政状況等を踏まえ、公共施設の総量を減らすべきである。
(理由:)
2. 現状の公共施設の総量を維持し続けるべきである。
(理由:)
3. 公共施設はまだ不足しており、公共施設の総量は増やすべきである。
(理由:)
4. わからない・意見なし
5. その他
()

問3. あなたが考える今後の公共施設の方向性を、以下の施設ごとに○印を付けてください。

別紙（施設概要一覧）をご覧くださいながらご回答ください。

施設\今後の方向性	施設数	総量や配置の適正化について					施設があることを知らない
		減らす (規模の縮小、 廃止)	移転する、他の 施設にまとめる	現状 維持	増やす (規模の拡大、 新設)	わからない	
集会所	132	1	2	3	4	5	6
コミュニティーセンター	4	1	2	3	4	5	6
ふれあいセンター	3	1	2	3	4	5	6
隣保館（コミュニティワーク うじ館、こはた館）	2	1	2	3	4	5	6
文化会館（文化センター）	1	1	2	3	4	5	6
図書館	3	1	2	3	4	5	6
公民館	5	1	2	3	4	5	6
市民会館	1	1	2	3	4	5	6
歴史資料館	1	1	2	3	4	5	6
源氏物語ミュージアム	1	1	2	3	4	5	6
男女共同参画支援センター （ゆめりあうじ）	1	1	2	3	4	5	6
青少年指導センター	1	1	2	3	4	5	6
生涯学習センター	1	1	2	3	4	5	6
青少年センター	3	1	2	3	4	5	6
黄檗公園／西宇治公園 （体育館、プール含む）	2	1	2	3	4	5	6
天ヶ瀬森林公園	1	1	2	3	4	5	6
観光センター	1	1	2	3	4	5	6
観光案内所	2	1	2	3	4	5	6
茶室（対鳳庵）	1	1	2	3	4	5	6
観光トイレ	5	1	2	3	4	5	6
総合野外活動センター （アクトパル宇治）	1	1	2	3	4	5	6
植物公園	1	1	2	3	4	5	6
産業振興センター	1	1	2	3	4	5	6
ベンチャー企業育成工場	1	1	2	3	4	5	6
産業会館	1	1	2	3	4	5	6
保育所	7	1	2	3	4	5	6
幼稚園	4	1	2	3	4	5	6
小学校	21	1	2	3	4	5	6
中学校	9	1	2	3	4	5	6

施設\今後の方向性	施設数	総量や配置の適正化について					施設があることを知らない
		減らす (規模の縮小、 廃止)	移転する、他の 施設にまとめる	現状 維持	増やす (規模の拡大、 新設)	わからない	
小中一貫校	1	1	2	3	4	5	6
育成学級(専用施設)	11	1	2	3	4	5	6
地域子育て支援基幹センター	1	1	2	3	4	5	6
地域福祉センター	6	1	2	3	4	5	6
デイホーム	2	1	2	3	4	5	6
総合福祉会館	1	1	2	3	4	5	6
市庁舎	1	1	2	3	4	5	6
保健・消防センター (うじ安心館)	1	1	2	3	4	5	6
消防署	5	1	2	3	4	5	6
市営住宅	12	1	2	3	4	5	6
駐輪場	13	1	2	3	4	5	6
斎場	1	1	2	3	4	5	6
墓地公園	1	1	2	3	4	5	6
農業共同作業所	1	1	2	3	4	5	6
内職センター	1	1	2	3	4	5	6

問 4. あなたは、今後の公共施設の整備や施設の管理・運営などの手法についてどのように考えますか。(A～L の考え方について、それぞれ 1 つずつに○印を付けてください)

方策\考え	実施すべき	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない
A あまり利用されていない公共施設は廃止又は縮小する。	1	2	3	4	5	
B 利用者が少ない施設は費用をかけてでも、施設サービスを充実させる。	1	2	3	4	5	
C 機能が類似した施設は統合する。※1	1	2	3	4	5	
D 公共施設の機能の複合化や多機能化の手法を活用する。※2	1	2	3	4	5	
E 地域活動に密着した施設は、地域が所有し、地域で維持管理などの運営を行う。	1	2	3	4	5	
F 施設によっては、建て替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する。	1	2	3	4	5	
G 現在の公共施設を計画的に改修するなどして、できるだけ長い間使用する。	1	2	3	4	5	
H コストを削減するために、運営内容や運営時間などのサービス水準を引き下げる。	1	2	3	4	5	
I 今後、公共施設の建て替えなどに多額の費用が必要になるときに備え、計画的に基金（貯金）を蓄える。	1	2	3	4	5	
J 利用していない土地や施設を売却、賃借して収入を得る。	1	2	3	4	5	
K 公共施設の有料化を行う。（使用料の引き上げを含む）	1	2	3	4	5	
L 施設を更新する場合は、施設用途やニーズの変化に柔軟に対応できるものとする。	1	2	3	4	5	

※1 「統合」では、例えば役割（機能）の似た複数の施設を一つにすることが考えられます。

※2 「機能の複合化・多機能化」とは、例えば図書館とコミュニティーセンター、子育て支援施設など複数の機能を一つの建物にまとめるような手法をいいます。

II 公共施設の利用状況と重要性について、お伺いします。

問5. あなたの公共施設の利用状況についてお聞かせください。施設ごとに○印を付けてください。別紙（施設概要一覧）をご覧くださいながらご回答ください。

【施設を利用しない理由】※3、4に○印を付けた場合は、その理由を表中の①～⑧から選んで全てに○
 ①施設があることを知らなかった ②利用する必要がない ③希望する時間帯に利用しにくい
 ④アクセスが悪い・駐車場が少ない ⑤料金が高い ⑥民間施設の方がサービスが良い
 ⑦施設や設備等が古い ⑧近隣自治体の公共施設を利用

施設\利用状況	利 用 す る 回 数	利 用 す る 回 数	利 用 す る 回 数	利 用 し な い	3、4に○印を付けた場合は、その理由を上表①～⑧から選んで、全て○印を付けてください。								
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
【例】集会所	1	2	3	4			○					○	
集会所	1	2	3	4									
コミュニティーセンター	1	2	3	4									
ふれあいセンター	1	2	3	4									
隣保館（コミュニティワーク うじ館、こはた館）	1	2	3	4									
文化会館（文化センター）	1	2	3	4									
図書館	1	2	3	4									
公民館	1	2	3	4									
市民会館	1	2	3	4									
歴史資料館	1	2	3	4									
源氏物語ミュージアム	1	2	3	4									
男女共同参画支援センター （ゆめりあうじ）	1	2	3	4									
生涯学習センター	1	2	3	4									
青少年センター	1	2	3	4									
黄檗公園／西宇治公園 （体育館、プール含む）	1	2	3	4									
天ヶ瀬森林公園	1	2	3	4									
観光センター	1	2	3	4									
茶室（対鳳庵）	1	2	3	4									
総合野外活動センター （アクトパル宇治）	1	2	3	4									
植物公園	1	2	3	4									
産業振興センター	1	2	3	4									
産業会館	1	2	3	4									
保育所（一般開放時。通所を除く。）	1	2	3	4									
幼稚園（一般開放時。通園を除く。）	1	2	3	4									
小学校（一般開放時。通学を除く。）	1	2	3	4									
中学校（一般開放時。通学を除く。）	1	2	3	4									

IV 最後にあなたご自身のことについてお伺いします。

問 8. あなたの性別を教えてください。

性別	()
----	-----

*性同一性障害などの方たちの人権問題を認識していますが、この調査では男女の意識や行動の違いを把握する必要があるためにお伺いしています。

問 9. あなたの年齢に○印を付けてください。(今年7月1日時点)

1. 20歳未満	2. 20～29歳	3. 30～39歳
4. 40～49歳	5. 50～59歳	6. 60～69歳
7. 70歳以上		

問 10. あなたがお住まいの地区に○印を付けてください。

1. 六地藏	2. 木幡	3. 平尾台	4. 五ヶ庄	5. 菟道
6. 羽戸山	7. 志津川	8. 炭山	9. 二尾	10. 池尾
11. 東笠取	12. 西笠取	13. 明星町	14. 宇治	15. 琵琶台
16. 折居台	17. 天神台	18. 白川	19. 神明	20. 羽拍子町
21. 南陵町	22. 槇島町	23. 小倉町	24. 伊勢田町	25. 安田町
26. 開町	27. 広野町	28. 寺山台	29. 大久保町	
30. わからない→お住まいの地区名()				

問 11. あなたがお住まいの小校区に○印を付けてください。

1. 菟道小学校	2. 菟道第二小学校	3. 神明小学校
4. 槇島小学校	5. 北槇島小学校	6. 小倉小学校
7. 伊勢田小学校	8. 西小倉小学校	9. 北小倉小学校
10. 南小倉小学校	11. 大久保小学校	12. 大開小学校
13. 西大久保小学校	14. 平盛小学校	15. 宇治小学校
16. 三室戸小学校	17. 南部小学校	18. 岡屋小学校
19. 木幡小学校	20. 御蔵山小学校	21. 笠取小学校
22. 笠取第二小学校		
23. わからない→お住まいの地区名()		

問 12. あなたは宇治市にお住まいになって何年になりますか。○印を付けてください。

1. 5年未満	2. 5～10年	3. 11～15年	4. 16～20年
5. 21年以上			

問 13. あなたの家族構成はどれにあたりますか。○印を付けてください。

1. 単身	2. 夫婦のみ	3. 親子	4. 親・子・孫	5. その他:()
-------	---------	-------	----------	------------

以上でアンケートは終了です。アンケートにご協力、ありがとうございました。

**宇治市公共施設に関する市民アンケート調査
クロス集計結果**

平成 28 年 8 月

宇治市

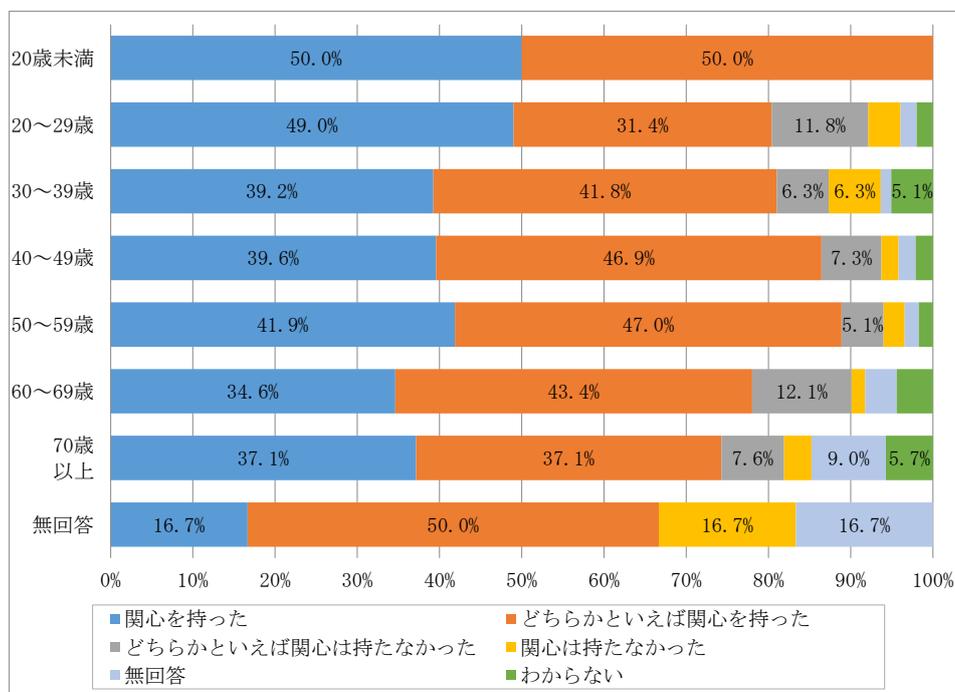
(1) 公共施設の現状認識とあり方に関する質問

問1. あなたは「宇治市の公共施設の現状と課題」を読まれて、どの程度関心を持ちましたか。最も近いものに○印を付けてください。

公共施設の老朽化について年齢別では各年代で見ても、「関心を持っている」¹と回答した方が70%を超えており、年齢間での大差も見られませんでした。

(単位：人)

問1 (公共施設の老朽化・年齢)	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
関心を持った	4 (50.0%)	25 (49.0%)	31 (39.2%)	38 (39.6%)	49 (41.9%)	63 (34.6%)	78 (37.1%)	1 (16.7%)	289 (38.6%)
どちらかといえば関心を持った	4 (50.0%)	16 (31.4%)	33 (41.8%)	45 (46.9%)	55 (47.0%)	79 (43.4%)	78 (37.1%)	3 (50.0%)	313 (41.8%)
どちらかといえば関心は持たなかった	—	6 (11.8%)	5 (6.3%)	7 (7.3%)	6 (5.1%)	22 (12.1%)	16 (7.6%)	—	62 (8.3%)
関心は持たなかった	—	2 (3.9%)	5 (6.3%)	2 (2.1%)	3 (2.6%)	3 (1.6%)	7 (3.3%)	1 (16.7%)	23 (3.1%)
わからない	—	1 (2.0%)	4 (5.1%)	2 (2.1%)	2 (1.7%)	8 (4.4%)	12 (5.7%)	—	29 (3.9%)
無回答	—	1 (2.0%)	1 (1.3%)	2 (2.1%)	2 (1.7%)	7 (3.8%)	19 (9.0%)	1 (16.7%)	33 (4.4%)
合計	8 (100.0%)	51 (100.0%)	79 (100.0%)	96 (100.0%)	117 (100.0%)	182 (100.0%)	210 (100.0%)	6 (100.0%)	749 (100.0%)

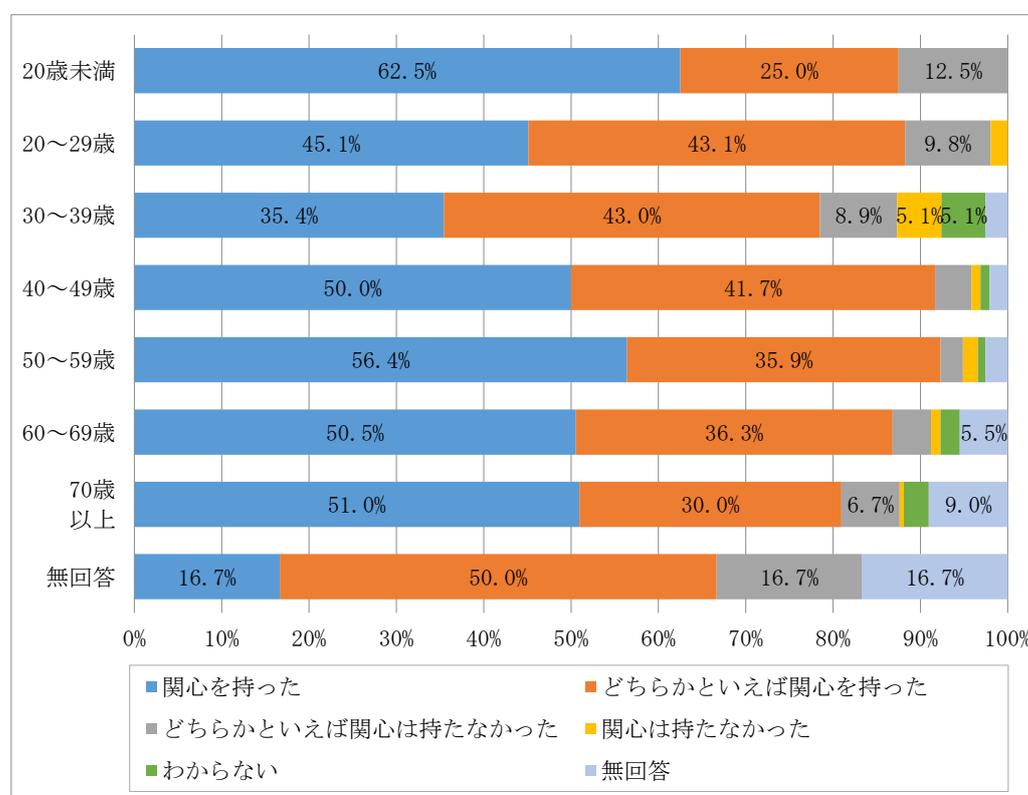


¹ 「関心を持った」、「どちらかといえば関心を持った」の合計としています。

人口減少・少子高齢化社会の進展について年齢別では各年代で見ても、「関心を持っている」¹と回答の方が75%を超えており、年齢間での大差も見られませんでした。

(単位：人)

問1 (人口減少・少子高齢化社会の進展・年齢)	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
関心を持った	5 (62.5%)	23 (45.1%)	28 (35.4%)	48 (50.0%)	66 (56.4%)	92 (50.5%)	107 (51.0%)	1 (16.7%)	370 (49.4%)
どちらかといえば関心を持った	2 (25.0%)	22 (43.1%)	34 (43.0%)	40 (41.7%)	42 (35.9%)	66 (36.3%)	63 (30.0%)	3 (50.0%)	272 (36.3%)
どちらかといえば関心は持たなかった	1 (12.5%)	5 (9.8%)	7 (8.9%)	4 (4.2%)	3 (2.6%)	8 (4.4%)	14 (6.7%)	1 (16.7%)	43 (5.7%)
関心は持たなかった	—	1 (2.0%)	4 (5.1%)	1 (1.0%)	2 (1.7%)	2 (1.1%)	1 (0.5%)	—	11 (1.5%)
わからない	—	—	4 (5.1%)	1 (1.0%)	1 (0.9%)	4 (2.2%)	6 (2.9%)	—	16 (2.1%)
無回答	—	—	2 (2.5%)	2 (2.1%)	3 (2.6%)	10 (5.5%)	19 (9.0%)	1 (16.7%)	37 (4.9%)
合計	8 (100.0%)	51 (100.0%)	79 (100.0%)	96 (100.0%)	117 (100.0%)	182 (100.0%)	210 (100.0%)	6 (100.0%)	749 (100.0%)

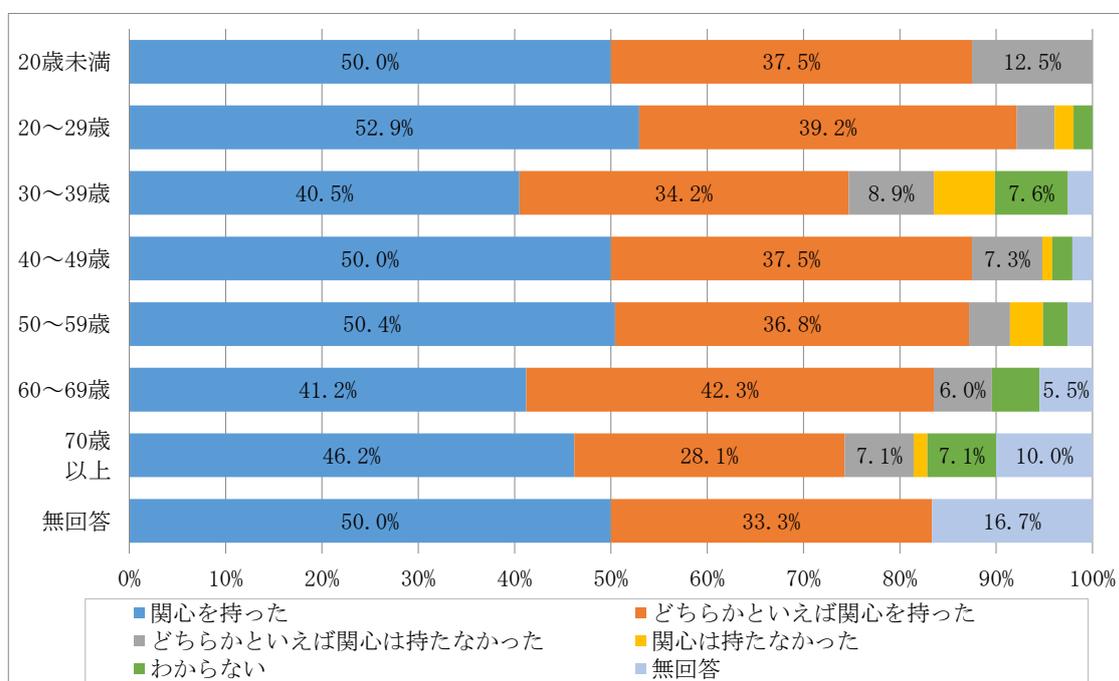


¹ 「関心を持った」、「どちらかといえば関心を持った」の合計としています。

財政の状況について年齢別では各年代で見ても、「関心を持っている」¹と回答した方が70%を超えており、年齢間での大差も見られませんでした。

(単位：人)

問1 (財政の状況・年齢)	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
関心を持った	4 (50.0%)	27 (52.9%)	32 (40.5%)	48 (50.0%)	59 (50.4%)	75 (41.2%)	97 (46.2%)	3 (50.0%)	345 (46.1%)
どちらかといえば関心を持った	3 (37.5%)	20 (39.2%)	27 (34.2%)	36 (37.5%)	43 (36.8%)	77 (42.3%)	59 (28.1%)	2 (33.3%)	267 (35.6%)
どちらかといえば関心は持たなかった	1 (12.5%)	2 (3.9%)	7 (8.9%)	7 (7.3%)	5 (4.3%)	11 (6.0%)	15 (7.1%)	—	48 (6.4%)
関心は持たなかった	—	1 (2.0%)	5 (6.3%)	1 (1.0%)	4 (3.4%)	—	3 (1.4%)	—	14 (1.9%)
わからない	—	1 (2.0%)	6 (7.6%)	2 (2.1%)	3 (2.6%)	9 (4.9%)	15 (7.1%)	—	36 (4.8%)
無回答	—	—	2 (2.5%)	2 (2.1%)	3 (2.6%)	10 (5.5%)	21 (10.0%)	1 (16.7%)	39 (5.2%)
合計	8 (100.0%)	51 (100.0%)	79 (100.0%)	96 (100.0%)	117 (100.0%)	182 (100.0%)	210 (100.0%)	6 (100.0%)	749 (100.0%)



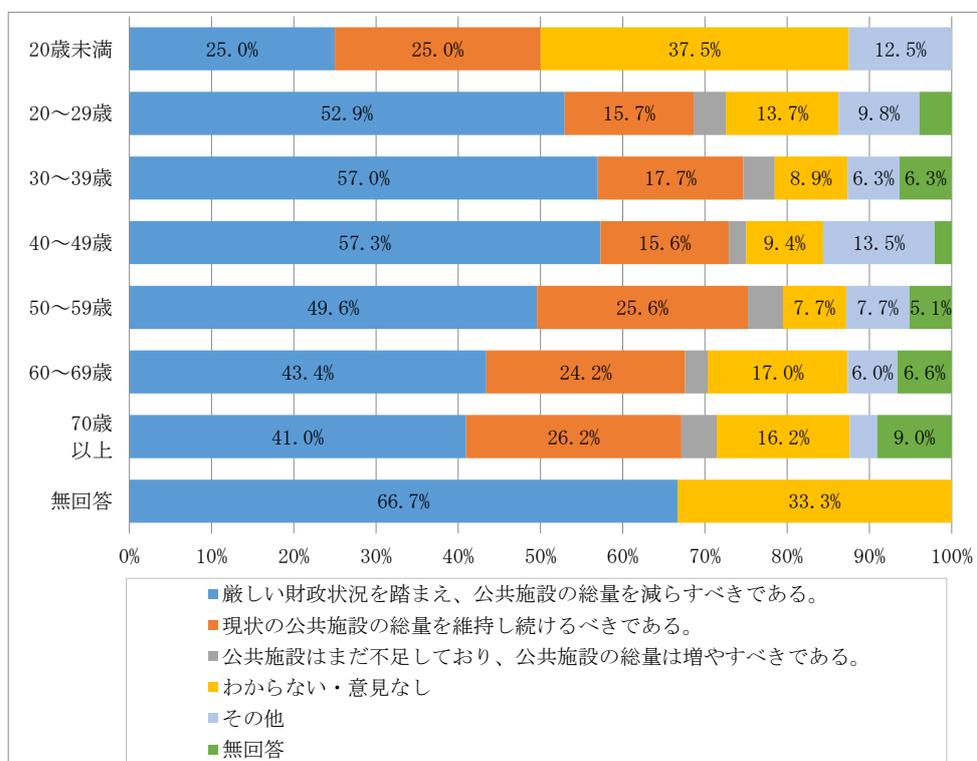
¹ 「関心を持った」、「どちらかといえば関心を持った」の合計としています。

問2. 将来のまちづくりも見据えて、今後の公共施設の総量について、あなたの考え方に最も近いものを一つ選んでください。また、選んだ理由もあればご記入ください。

年齢別では、20歳未満を除いた年代において、減らすべきであるとの意見が多数となっています。また、年代が上がるにつれて、維持し続けるべきであるとの意見が多くなっています。

(単位:人)

問2 (年齢)	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
厳しい財政状況を踏まえ、公共施設の総量を減らすべきである。	2 (25.0%)	27 (52.9%)	45 (57.0%)	55 (57.3%)	58 (49.6%)	79 (43.4%)	86 (41.0%)	4 (66.7%)	356 (47.5%)
現状の公共施設の総量を維持し続けるべきである。	2 (25.0%)	8 (15.7%)	14 (17.7%)	15 (15.6%)	30 (25.6%)	44 (24.2%)	55 (26.2%)	— (—)	168 (22.4%)
公共施設はまだ不足しており、公共施設の総量は増やすべきである。	— (—)	2 (3.9%)	3 (3.8%)	2 (2.1%)	5 (4.3%)	5 (2.7%)	9 (4.3%)	— (—)	26 (3.5%)
わからない・意見なし	3 (37.5%)	7 (13.7%)	7 (8.9%)	9 (9.4%)	9 (7.7%)	31 (17.0%)	34 (16.2%)	2 (33.3%)	102 (13.6%)
その他	1 (12.5%)	5 (9.8%)	5 (6.3%)	13 (13.5%)	9 (7.7%)	11 (6.0%)	7 (3.3%)	— (—)	51 (6.8%)
無回答	— (—)	2 (3.9%)	5 (6.3%)	2 (2.1%)	6 (5.1%)	12 (6.6%)	19 (9.0%)	— (—)	46 (6.1%)
合計	8 (100.0%)	51 (100.0%)	79 (100.0%)	96 (100.0%)	117 (100.0%)	182 (100.0%)	210 (100.0%)	6 (100.0%)	749 (100.0%)



問3. あなたが考える今後の公共施設の方向性を、以下の施設ごとに○印を付けてください。別紙（施設概要一覧）をご覧くださいながらご回答ください。

施設を「利用する」¹と回答された方の考える公共施設の方向性の割合については、多くの施設で「現状維持」が最も高くなっておりませんが、デイホームについては「増やす方向」が最も高くなっています。

また、「利用したことがない」と回答された方の公共施設の方向性の割合については、多くの施設で「現状維持」が最も高くなっておりませんが、「集会所」「隣保館（コミュニティワークうじ館、こはた館）」「青少年センター」については「減らす方向」²が最も高くなっています。

なお、地区別で見ても、「利用する」と回答された方の考える公共施設の方向性の割合、及び「利用しない」と回答された方の考える公共施設の方向性の割合についても概ね全体傾向と異なるところは見受けられませんでした。

¹ 「週に数回利用する」、「月に数回利用する」、「年に数回利用する」の合計としています。

² 「減らす（規模の縮小、廃止）」、「移転する、他の施設にまとめる」の合計としています。

問3 (利用状況とのクロス集計)		回答数				(単位：件)	
		減らす方向	現状維持	増やす方向	わからない・施設があることを知らない	無回答	合計
集会所	利用する	121	217	7	16	13	374
		32.4%	58.0%	1.9%	4.3%	3.5%	100.0%
	利用したことがない	174	128	4	28	9	343
		50.7%	37.3%	1.2%	8.2%	2.6%	100.0%
	無回答	8	14	2	5	3	32
		25.0%	43.8%	6.3%	15.6%	9.4%	100.0%
コミュニティセンター	利用する	27	185	18	7	10	247
		10.9%	74.9%	7.3%	2.8%	4.0%	100.0%
	利用したことがない	157	195	19	83	20	474
		33.1%	41.1%	4.0%	17.5%	4.2%	100.0%
	無回答	2	16	1	3	6	28
		7.1%	57.1%	3.6%	10.7%	21.4%	100.0%
ふれあいセンター	利用する	8	37	6	5	3	59
		13.6%	62.7%	10.2%	8.5%	5.1%	100.0%
	利用したことがない	220	233	16	157	33	659
		33.4%	35.4%	2.4%	23.8%	5.0%	100.0%
	無回答	5	12	2	4	8	31
		16.1%	38.7%	6.5%	12.9%	25.8%	100.0%
隣保館 (コミュニティワークうじ館、こはた館)	利用する	7	21	2	4	1	35
		20.0%	60.0%	5.7%	11.4%	2.9%	100.0%
	利用したことがない	228	200	8	221	26	683
		33.4%	29.3%	1.2%	32.4%	3.8%	100.0%
	無回答	6	10	1	5	9	31
		19.4%	32.3%	3.2%	16.1%	29.0%	100.0%
文化会館 (文化センター)	利用する	22	339	22	8	16	407
		5.4%	83.3%	5.4%	2.0%	3.9%	100.0%
	利用したことがない	39	228	6	30	13	316
		12.3%	72.2%	1.9%	9.5%	4.1%	100.0%
	無回答	3	17	2	-	4	26
		11.5%	65.4%	7.7%	-	15.4%	100.0%

問3 (利用状況とのクロス集計)		回答数				(単位：件)	
		減らす方向	現状維持	増やす方向	わからない・施設があることを知らない	無回答	合計
図書館	利用する	28	341	71	5	15	460
		6.1%	74.1%	15.4%	1.1%	3.3%	100.0%
	利用したことがない	48	162	30	18	9	267
		18.0%	60.7%	11.2%	6.7%	3.4%	100.0%
	無回答	3	13	3	-	3	22
		13.6%	59.1%	13.6%	-	13.6%	100.0%
公民館	利用する	43	133	8	10	10	204
		21.1%	65.2%	3.9%	4.9%	4.9%	100.0%
	利用したことがない	193	241	14	64	14	526
		36.7%	45.8%	2.7%	12.2%	2.7%	100.0%
	無回答	5	9	-	2	3	19
		26.3%	47.4%	-	10.5%	15.8%	100.0%
市民会館	利用する	22	70	4	1	4	101
		21.8%	69.3%	4.0%	1.0%	4.0%	100.0%
	利用したことがない	169	321	14	94	19	617
		27.4%	52.0%	2.3%	15.2%	3.1%	100.0%
	無回答	2	17	2	3	7	31
		6.5%	54.8%	6.5%	9.7%	22.6%	100.0%
歴史資料館	利用する	16	97	6	4	3	126
		12.7%	77.0%	4.8%	3.2%	2.4%	100.0%
	利用したことがない	162	326	8	74	25	595
		27.2%	54.8%	1.3%	12.4%	4.2%	100.0%
	無回答	3	18	-	1	6	28
		10.7%	64.3%	-	3.6%	21.4%	100.0%
源氏物語ミュージアム	利用する	23	192	13	10	9	247
		9.3%	77.7%	5.3%	4.0%	3.6%	100.0%
	利用したことがない	127	276	5	47	17	472
		26.9%	58.5%	1.1%	10.0%	3.6%	100.0%
	無回答	6	16	-	-	8	30
		20.0%	53.3%	-	-	26.7%	100.0%
男女共同参画支援センター (ゆめりあうじ)	利用する	12	65	6	5	4	92
		13.0%	70.7%	6.5%	5.4%	4.3%	100.0%
	利用したことがない	179	280	9	152	17	637
		28.1%	44.0%	1.4%	23.9%	2.7%	100.0%
	無回答	6	6	-	1	7	20
		30.0%	30.0%	-	5.0%	35.0%	100.0%

問3 (利用状況とのクロス集計)		回答数				(単位：件)	
		減らす方向	現状維持	増やす方向	わからない・施設があることを知らない	無回答	合計
生涯学習センター	利用する	19	135	5	2	8	169
		11.2%	79.9%	3.0%	1.2%	4.7%	100.0%
	利用したことがない	152	254	22	108	18	554
		27.4%	45.8%	4.0%	19.5%	3.2%	100.0%
	無回答	5	13	2	-	6	26
		19.2%	50.0%	7.7%	-	23.1%	100.0%
青少年センター	利用する	6	22	3	1	1	33
		18.2%	66.7%	9.1%	3.0%	3.0%	100.0%
	利用したことがない	248	238	14	166	25	691
		35.9%	34.4%	2.0%	24.0%	3.6%	100.0%
	無回答	5	8	2	3	7	25
		20.0%	32.0%	8.0%	12.0%	28.0%	100.0%
黄檗公園／西宇治公園 (体育館、プール含む)	利用する	11	215	41	4	3	274
		4.0%	78.5%	15.0%	1.5%	1.1%	100.0%
	利用したことがない	51	314	24	40	19	448
		11.4%	70.1%	5.4%	8.9%	4.2%	100.0%
	無回答	3	15	1	-	8	27
		11.1%	55.6%	3.7%	-	29.6%	100.0%
天ヶ瀬森林公園	利用する	7	86	10	6	5	114
		6.1%	75.4%	8.8%	5.3%	4.4%	100.0%
	利用したことがない	92	358	10	119	26	605
		15.2%	59.2%	1.7%	19.7%	4.3%	100.0%
	無回答	1	13	4	4	8	30
		3.3%	43.3%	13.3%	13.3%	26.7%	100.0%
観光センター	利用する	16	108	21	1	4	150
		10.7%	72.0%	14.0%	0.7%	2.7%	100.0%
	利用したことがない	122	325	34	72	26	579
		21.1%	56.1%	5.9%	12.4%	4.5%	100.0%
	無回答	2	11	1	1	5	20
		10.0%	55.0%	5.0%	5.0%	25.0%	100.0%
茶室 (対鳳庵)	利用する	8	65	4	3	3	83
		9.6%	78.3%	4.8%	3.6%	3.6%	100.0%
	利用したことがない	123	358	22	110	26	639
		19.2%	56.0%	3.4%	17.2%	4.1%	100.0%
	無回答	6	11	1	3	6	27
		22.2%	40.7%	3.7%	11.1%	22.2%	100.0%

問3 (利用状況とのクロス集計)		回答数				(単位：件)	
		減らす方向	現状維持	増やす方向	わからない・施設があることを知らない	無回答	合計
総合野外活動センター (アクトバル宇治)	利用する	8	144	21	1	4	178
		4.5%	80.9%	11.8%	0.6%	2.2%	100.0%
	利用したことがない	70	345	29	80	19	543
		12.9%	63.5%	5.3%	14.7%	3.5%	100.0%
	無回答	3	18	-	2	5	28
		10.7%	64.3%	-	7.1%	17.9%	100.0%
植物公園	利用する	35	334	26	13	17	425
		8.2%	78.6%	6.1%	3.1%	4.0%	100.0%
	利用したことがない	47	212	11	23	6	299
		15.7%	70.9%	3.7%	7.7%	2.0%	100.0%
	無回答	2	17	1	2	3	25
		8.0%	68.0%	4.0%	8.0%	12.0%	100.0%
産業振興センター	利用する	7	18	1	5	-	31
		22.6%	58.1%	3.2%	16.1%	-	100.0%
	利用したことがない	187	261	8	202	30	688
		27.2%	37.9%	1.2%	29.4%	4.4%	100.0%
	無回答	4	8	1	9	8	30
		13.3%	26.7%	3.3%	30.0%	26.7%	100.0%
産業会館	利用する	16	77	3	3	2	101
		15.8%	76.2%	3.0%	3.0%	2.0%	100.0%
	利用したことがない	172	290	11	119	23	615
		28.0%	47.2%	1.8%	19.3%	3.7%	100.0%
	無回答	6	16	1	4	6	33
		18.2%	48.5%	3.0%	12.1%	18.2%	100.0%
保育所 (一般開放時。通学を除く。)	利用する	2	22	19	1	1	45
		4.4%	48.9%	42.2%	2.2%	2.2%	100.0%
	利用したことがない	30	291	251	73	20	665
		4.5%	43.8%	37.7%	11.0%	3.0%	100.0%
	無回答	1	15	14	2	7	39
		2.6%	38.5%	35.9%	5.1%	17.9%	100.0%
幼稚園 (一般開放時。通園を除く。)	利用する	2	20	12	-	-	34
		5.9%	58.8%	35.3%	-	-	100.0%
	利用したことがない	56	386	133	81	20	676
		8.3%	57.1%	19.7%	12.0%	3.0%	100.0%
	無回答	1	21	8	2	7	39
		2.6%	53.8%	20.5%	5.1%	17.9%	100.0%

問3 (利用状況とのクロス集計)		回答数				(単位：件)	
		減らす方向	現状維持	増やす方向	わからない・施設があることを知らない	無回答	合計
小学校 (一般開放時。通学を除く。)	利用する	11	89	7	6	1	114
		9.6%	78.1%	6.1%	5.3%	0.9%	100.0%
	利用したことがない	85	396	23	74	19	597
		14.2%	66.3%	3.9%	12.4%	3.2%	100.0%
	無回答	4	25	-	2	7	38
		10.5%	65.8%	-	5.3%	18.4%	100.0%
中学校 (一般開放時。通学を除く。)	利用する	1	48	6	1	-	56
		1.8%	85.7%	10.7%	1.8%	-	100.0%
	利用したことがない	60	459	37	77	19	652
		9.2%	70.4%	5.7%	11.8%	2.9%	100.0%
	無回答	4	25	1	3	8	41
		9.8%	61.0%	2.4%	7.3%	19.5%	100.0%
地域子育て支援基幹センター	利用する	3	14	5	3	1	26
		11.5%	53.8%	19.2%	11.5%	3.8%	100.0%
	利用したことがない	70	318	114	162	27	691
		10.1%	46.0%	16.5%	23.4%	3.9%	100.0%
	無回答	3	11	3	4	11	32
		9.4%	34.4%	9.4%	12.5%	34.4%	100.0%
総合野外活動センター (アクトパル宇治)	利用する	7	48	13	3	2	73
		9.6%	65.8%	17.8%	4.1%	2.7%	100.0%
	利用したことがない	134	273	80	137	21	645
		20.8%	42.3%	12.4%	21.2%	3.3%	100.0%
	無回答	4	13	-	5	9	31
		12.9%	41.9%	-	16.1%	29.0%	100.0%
デイホーム	利用する	-	4	5	-	1	10
		-	40.0%	50.0%	-	10.0%	100.0%
	利用したことがない	78	264	195	152	22	711
		11.0%	37.1%	27.4%	21.4%	3.1%	100.0%
	無回答	2	5	5	4	12	28
		7.1%	17.9%	17.9%	14.3%	42.9%	100.0%
総合福祉会館	利用する	2	50	10	1	2	65
		3.1%	76.9%	15.4%	1.5%	3.1%	100.0%
	利用したことがない	93	356	56	122	22	649
		14.3%	54.9%	8.6%	18.8%	3.4%	100.0%
	無回答	2	16	3	3	11	35
		5.7%	45.7%	8.6%	8.6%	31.4%	100.0%

回答数

(単位：件)

問3 (利用状況とのクロス集計)		回答数			わからない・施設があることを知らない	無回答	合計
		減らす方向	現状維持	増やす方向			
保健・消防センター (うじ安心館)	利用する	5	122	12	4	3	146
		3.4%	83.6%	8.2%	2.7%	2.1%	100.0%
	利用したことがない	57	413	32	48	16	566
		10.1%	73.0%	5.7%	8.5%	2.8%	100.0%
	無回答	2	20	2	3	10	37
		5.4%	54.1%	5.4%	8.1%	27.0%	100.0%
駐輪場	利用する	10	101	59	6	4	180
		5.6%	56.1%	32.8%	3.3%	2.2%	100.0%
	利用したことがない	43	276	123	81	20	543
		7.9%	50.8%	22.7%	14.9%	3.7%	100.0%
	無回答	1	8	4	6	7	26
		3.8%	30.8%	15.4%	23.1%	26.9%	100.0%
内職センター	利用する	-	1	-	-	-	1
		-	100.0%	-	-	-	100.0%
	利用したことがない	125	259	31	284	21	720
		17.4%	36.0%	4.3%	39.4%	2.9%	100.0%
	無回答	4	7	2	8	7	28
		14.3%	25.0%	7.1%	28.6%	25.0%	100.0%

問4. あなたは、今後の公共施設の整備や施設の管理・運営などの手法についてどのように考えますか。(A～Lの考え方について、それぞれ1つずつに○印を付けてください)

年齢別では、概ね世代間で各項目への回答傾向に大きな乖離はなく、全体での割合と相違する項目は見受けられませんでした。なお、「公共施設の有料化を行う。(使用料の引き上げを含む)」について、全体では実施すべきとの意見¹、実施すべきではないとの意見²が拮抗していますが、世代間で見ると、年齢が上がるにつれて実施すべきとの意見が増加していることが伺えました。

問4 (年齢)		回答数								(単位: 件)	
		20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計	
A あまり利用されていない公共施設は廃止又は縮小する。	実施すべき	7	50	71	88	109	160	164	5	654	
		87.5%	98.0%	89.9%	91.7%	93.2%	87.9%	78.1%	83.3%	87.3%	
	実施すべきではない	1	1	5	7	4	16	21	-	55	
		12.5%	2.0%	6.3%	7.3%	3.4%	8.8%	10.0%	-	7.3%	
	わからない	-	-	2	1	4	5	19	1	32	
		-	-	2.5%	1.0%	3.4%	2.7%	9.0%	16.7%	4.3%	
	無回答	-	-	1	-	-	1	6	-	8	
		-	-	1.3%	-	-	0.5%	2.9%	-	1.1%	
	B 利用者が少ない施設は費用をかけてでも、施設サービスを充実させる。	実施すべき	-	6	12	5	16	27	29	-	95
			-	11.8%	15.2%	5.2%	13.7%	14.8%	13.8%	-	12.7%
		実施すべきではない	7	41	59	83	87	128	142	4	551
			87.5%	80.4%	74.7%	86.5%	74.4%	70.3%	67.6%	66.7%	73.6%
わからない		1	3	7	8	13	25	27	2	86	
		12.5%	5.9%	8.9%	8.3%	11.1%	13.7%	12.9%	33.3%	11.5%	
無回答		-	1	1	-	1	2	12	-	17	
		-	2.0%	1.3%	-	0.9%	1.1%	5.7%	-	2.3%	
C 機能が類似した施設は統合する。		実施すべき	7	44	73	90	102	159	172	6	653
			87.5%	86.3%	92.4%	93.8%	87.2%	87.4%	81.9%	100.0%	87.2%
		実施すべきではない	1	3	1	5	12	12	7	-	41
			12.5%	5.9%	1.3%	5.2%	10.3%	6.6%	3.3%	-	5.5%
	わからない	-	1	3	1	3	9	21	-	38	
		-	2.0%	3.8%	1.0%	2.6%	4.9%	10.0%	-	5.1%	
	無回答	-	3	2	-	-	2	10	-	17	
		-	5.9%	2.5%	-	-	1.1%	4.8%	-	2.3%	

¹ 「積極的に実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」の合計としています。

² 「どちらかといえば実施すべきではない」、「実施すべきではない」の合計としています。

回答数

(単位：件)

問4 (年齢)		回答数								合計
		20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	
D 公共施設の機能の複合化や多機能化の手法を活用する。	実施すべき	6	43	71	83	106	149	154	5	617
		75.0%	84.3%	89.9%	86.5%	90.6%	81.9%	73.3%	83.3%	82.4%
	実施すべきではない	-	4	5	9	8	18	15	-	59
		-	7.8%	6.3%	9.4%	6.8%	9.9%	7.1%	-	7.9%
	わからない	2	4	2	3	3	11	29	1	55
		25.0%	7.8%	2.5%	3.1%	2.6%	6.0%	13.8%	16.7%	7.3%
無回答	-	-	1	1	-	4	12	-	18	
	-	-	1.3%	1.0%	-	2.2%	5.7%	-	2.4%	
E 地域活動に密着した施設は、地域が所有し、地域で維持管理などの運営を行う。	実施すべき	6	26	34	47	63	95	110	4	385
		75.0%	51.0%	43.0%	49.0%	53.8%	52.2%	52.4%	66.7%	51.4%
	実施すべきではない	-	17	28	31	29	45	60	-	210
		-	33.3%	35.4%	32.3%	24.8%	24.7%	28.6%	-	28.0%
	わからない	2	7	16	18	25	37	30	2	137
		25.0%	13.7%	20.3%	18.8%	21.4%	20.3%	14.3%	33.3%	18.3%
無回答	-	1	1	-	-	5	10	-	17	
	-	2.0%	1.3%	-	-	2.7%	4.8%	-	2.3%	
F 施設によっては、建て替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する。	実施すべき	7	37	56	69	84	116	130	3	502
		87.5%	72.5%	70.9%	71.9%	71.8%	63.7%	61.9%	50.0%	67.0%
	実施すべきではない	1	5	13	12	17	29	33	1	111
		12.5%	9.8%	16.5%	12.5%	14.5%	15.9%	15.7%	16.7%	14.8%
	わからない	-	8	9	13	15	32	33	2	112
		-	15.7%	11.4%	13.5%	12.8%	17.6%	15.7%	33.3%	15.0%
無回答	-	1	1	2	1	5	14	-	24	
	-	2.0%	1.3%	2.1%	0.9%	2.7%	6.7%	-	3.2%	
G 現在の公共施設を計画的に改修するなどして、できるだけ長い間使用する。	実施すべき	7	37	55	64	79	140	157	4	543
		87.5%	72.5%	69.6%	66.7%	67.5%	76.9%	74.8%	66.7%	72.5%
	実施すべきではない	1	5	14	14	23	23	19	1	100
		12.5%	9.8%	17.7%	14.6%	19.7%	12.6%	9.0%	16.7%	13.4%
	わからない	-	8	8	17	13	16	24	1	87
		-	15.7%	10.1%	17.7%	11.1%	8.8%	11.4%	16.7%	11.6%
無回答	-	1	2	1	2	3	10	-	19	
	-	2.0%	2.5%	1.0%	1.7%	1.6%	4.8%	-	2.5%	
H コストを削減するために、運営内容や運営時間などのサービス水準を引き下げる。	実施すべき	2	10	16	23	31	61	76	4	223
		25.0%	19.6%	20.3%	24.0%	26.5%	33.5%	36.2%	66.7%	29.8%
	実施すべきではない	6	32	50	58	72	89	99	-	406
		75.0%	62.7%	63.3%	60.4%	61.5%	48.9%	47.1%	-	54.2%
	わからない	-	8	11	15	12	28	22	2	98
		-	15.7%	13.9%	15.6%	10.3%	15.4%	10.5%	33.3%	13.1%
無回答	-	1	2	-	2	4	13	-	22	
	-	2.0%	2.5%	-	1.7%	2.2%	6.2%	-	2.9%	

回答数

(単位：件)

問4 (年齢)		回答数							(単位：件)	
		20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
I 今後、公共施設の建て替えなどに多額の費用が必要になるときに備え、計画的に基金(貯金)を蓄える。	実施すべき	8	43	68	75	98	133	165	2	592
		100.0%	84.3%	86.1%	78.1%	83.8%	73.1%	78.6%	33.3%	79.0%
	実施すべきではない	-	3	5	15	8	20	12	1	64
		-	5.9%	6.3%	15.6%	6.8%	11.0%	5.7%	16.7%	8.5%
	わからない	-	4	5	5	9	27	21	3	74
		-	7.8%	6.3%	5.2%	7.7%	14.8%	10.0%	50.0%	9.9%
無回答		-	1	1	1	2	2	12	-	19
		-	2.0%	1.3%	1.0%	1.7%	1.1%	5.7%	-	2.5%
J 利用していない土地や施設を売却、賃借して収入を得る。	実施すべき	6	45	71	90	104	149	183	5	653
		75.0%	88.2%	89.9%	93.8%	88.9%	81.9%	87.1%	83.3%	87.2%
	実施すべきではない	1	1	4	3	4	10	7	-	30
		12.5%	2.0%	5.1%	3.1%	3.4%	5.5%	3.3%	-	4.0%
	わからない	1	4	3	2	9	18	16	1	54
		12.5%	7.8%	3.8%	2.1%	7.7%	9.9%	7.6%	16.7%	7.2%
無回答		-	1	1	1	-	5	4	-	12
		-	2.0%	1.3%	1.0%	-	2.7%	1.9%	-	1.6%
K 公共施設の有料化を行う。(使用料の引き上げを含む)	実施すべき	3	17	28	38	57	97	89	-	329
		37.5%	33.3%	35.4%	39.6%	48.7%	53.3%	42.4%	-	43.9%
	実施すべきではない	5	28	41	48	51	62	86	3	324
		62.5%	54.9%	51.9%	50.0%	43.6%	34.1%	41.0%	50.0%	43.3%
	わからない	-	5	9	10	8	19	26	3	80
		-	9.8%	11.4%	10.4%	6.8%	10.4%	12.4%	50.0%	10.7%
無回答		-	1	1	-	1	4	9	-	16
		-	2.0%	1.3%	-	0.9%	2.2%	4.3%	-	2.1%
L 施設を更新する場合は、施設用途やニーズの変化に柔軟に対応できるものとする。	実施すべき	8	45	75	89	108	153	161	4	643
		100.0%	88.2%	94.9%	92.7%	92.3%	84.1%	76.7%	66.7%	85.8%
	実施すべきではない	-	1	-	4	4	6	13	-	28
		-	2.0%	-	4.2%	3.4%	3.3%	6.2%	-	3.7%
	わからない	-	4	3	2	5	19	27	2	62
		-	7.8%	3.8%	2.1%	4.3%	10.4%	12.9%	33.3%	8.3%
無回答		-	1	1	1	-	4	9	-	16
		-	2.0%	1.3%	1.0%	-	2.2%	4.3%	-	2.1%

(2) 公共施設の利用状況と重要性に関する質問

問5. あなたの公共施設の利用状況についてお聞かせください。施設ごとに○印を付けてください。別紙（施設概要一覧）をご覧くださいながらご回答ください。

利用するとの回答については多くの市の施設で年代が上がるにつれて回答割合が多くなる傾向にあります。その中でも、「保育所」、「幼稚園」、「小学校」、「中学校」、「地域子育て支援基幹センター」といった子育て支援施設や学校教育施設については30歳代～50歳代の利用が最も多くなっています。

(単位：件)

問5（年齢）	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	回答数
集会所	4 0.5%	21 2.8%	26 3.5%	54 7.2%	66 8.8%	91 12.1%	110 14.7%	2 0.3%	374 49.9%
コミュニティセンター	2 0.3%	12 1.6%	20 2.7%	28 3.7%	51 6.8%	62 8.3%	71 9.5%	1 0.1%	247 33.0%
ふれあいセンター	— —	3 0.4%	3 0.4%	7 0.9%	7 0.9%	14 1.9%	24 3.2%	1 0.1%	59 7.9%
隣保館（コミュニティワークうじ館、こはた館）	— —	3 0.4%	2 0.3%	6 0.8%	8 1.1%	5 0.7%	11 1.5%	— —	35 4.7%
文化会館（文化センター）	7 0.9%	25 3.3%	35 4.7%	58 7.7%	59 7.9%	100 13.4%	120 16.0%	3 0.4%	407 54.3%
図書館	7 0.9%	35 4.7%	48 6.4%	69 9.2%	76 10.1%	99 13.2%	122 16.3%	4 0.5%	460 61.4%
公民館	3 0.4%	8 1.1%	16 2.1%	23 3.1%	38 5.1%	46 6.1%	67 8.9%	3 0.4%	204 27.2%
市民会館	1 0.1%	2 0.3%	3 0.4%	7 0.9%	17 2.3%	25 3.3%	44 5.9%	2 0.3%	101 13.5%
歴史資料館	2 0.3%	5 0.7%	5 0.7%	13 1.7%	22 2.9%	30 4.0%	48 6.4%	1 0.1%	126 16.8%
源氏物語ミュージアム	3 0.4%	14 1.9%	12 1.6%	33 4.4%	36 4.8%	66 8.8%	82 10.9%	1 0.1%	247 33.0%
男女共同参画支援センター（ゆめりあうじ）	1 0.1%	5 0.7%	7 0.9%	9 1.2%	17 2.3%	17 2.3%	35 4.7%	1 0.1%	92 12.3%
生涯学習センター	1 0.1%	4 0.5%	10 1.3%	25 3.3%	30 4.0%	35 4.7%	63 8.4%	1 0.1%	169 22.6%
青少年センター	— —	5 0.7%	3 0.4%	10 1.3%	6 0.8%	5 0.7%	3 0.4%	1 0.1%	33 4.4%
黄檗公園／西宇治公園（体育館、プール含む）	5 0.7%	25 3.3%	42 5.6%	54 7.2%	48 6.4%	55 7.3%	44 5.9%	1 0.1%	274 36.6%
天ヶ瀬森林公園	1 0.1%	9 1.2%	7 0.9%	23 3.1%	16 2.1%	26 3.5%	30 4.0%	2 0.3%	114 15.2%

(単位：件)

問5 (年齢)	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	回答数
観光センター	2	2	9	14	21	37	63	2	150
	0.3%	0.3%	1.2%	1.9%	2.8%	4.9%	8.4%	0.3%	20.0%
茶室 (対鳳庵)	1	5	3	7	10	27	28	2	83
	0.1%	0.7%	0.4%	0.9%	1.3%	3.6%	3.7%	0.3%	11.1%
総合野外活動センター (アクトパル宇治)	5	24	23	44	32	23	25	2	178
	0.7%	3.2%	3.1%	5.9%	4.3%	3.1%	3.3%	0.3%	23.8%
植物公園	6	27	42	51	66	101	128	4	425
	0.8%	3.6%	5.6%	6.8%	8.8%	13.5%	17.1%	0.5%	56.7%
産業振興センター	1	3	4	5	4	5	9	-	31
	0.1%	0.4%	0.5%	0.7%	0.5%	0.7%	1.2%	-	4.1%
産業会館	1	2	9	9	12	33	34	1	101
	0.1%	0.3%	1.2%	1.2%	1.6%	4.4%	4.5%	0.1%	13.5%
保育所 (一般開放時。通所を除く。)	-	4	14	9	9	4	5	-	45
	-	0.5%	1.9%	1.2%	1.2%	0.5%	0.7%	-	6.0%
幼稚園 (一般開放時。通園を除く。)	-	2	9	7	9	4	3	-	34
	-	0.3%	1.2%	0.9%	1.2%	0.5%	0.4%	-	4.5%
小学校 (一般開放時。通学を除く。)	-	2	13	29	26	22	22	-	114
	-	0.3%	1.7%	3.9%	3.5%	2.9%	2.9%	-	15.2%
中学校 (一般開放時。通学を除く。)	-	2	2	20	18	8	6	-	56
	-	0.3%	0.3%	2.7%	2.4%	1.1%	0.8%	-	7.5%
地域子育て支援基幹センター	-	2	10	9	4	-	1	-	26
	-	0.3%	1.3%	1.2%	0.5%	-	0.1%	-	3.5%
地域福祉センター	-	1	1	9	8	21	33	-	73
	-	0.1%	0.1%	1.2%	1.1%	2.8%	4.4%	-	9.7%
デイホーム	-	-	-	-	5	1	4	-	10
	-	-	-	-	0.7%	0.1%	0.5%	-	1.3%
総合福祉会館	-	1	4	10	10	10	29	1	65
	-	0.1%	0.5%	1.3%	1.3%	1.3%	3.9%	0.1%	8.7%
保健・消防センター (うじ安心館)	1	7	26	29	22	15	45	1	146
	0.1%	0.9%	3.5%	3.9%	2.9%	2.0%	6.0%	0.1%	19.5%
駐輪場	4	17	11	29	30	47	39	3	180
	0.5%	2.3%	1.5%	3.9%	4.0%	6.3%	5.2%	0.4%	24.0%
内職センター	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	-	-	-	-	0.1%	-	-	-	0.1%

問6. 問5の利用状況に関わらず、あなたが生活の中で、「重要だと思う(必要がある)」市の公共施設を選んでください。(当てはまるもの全てに○印を付けてください。)別紙(施設概要一覧)をご覧くださいながらご回答ください。

ほぼすべての施設において、年代が上がるにつれて、重要だと思う割合は増加しています。

また、地区別における重要だと思う施設については「コミュニティセンター」(小倉町、大久保町、五ヶ庄)、「ふれあいセンター」(大久保町)、「公民館」(菟道)、「黄檗公園／西宇治公園(体育館、プール含む)」(五ヶ庄、伊勢田町、小倉町)、「デイホーム」(小倉町)、「保健・消防センター(うじ安心館)」(菟道)において全体集計より割合が高い傾向にありました。

(単位：件)

問 6 (年齢)	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	回答数
集会所	3	22	33	49	63	117	150	2	439
	0.4%	2.9%	4.4%	6.5%	8.4%	15.6%	20.0%	0.3%	58.6%
コミュニティセンター	3	18	28	35	51	87	97	3	321
	0.4%	2.4%	3.7%	4.7%	6.8%	11.6%	13.0%	0.4%	42.9%
ふれあいセンター	-	6	9	11	21	37	51	-	136
	-	0.8%	1.2%	1.5%	2.8%	4.9%	6.8%	-	18.2%
隣保館 (コミュニティワークうじ館、こはた館)	-	3	2	10	11	20	20	-	66
	-	0.4%	0.3%	1.3%	1.5%	2.7%	2.7%	-	8.8%
文化会館 (文化センター)	6	25	37	56	75	119	143	6	467
	0.8%	3.3%	4.9%	7.5%	10.0%	15.9%	19.1%	0.8%	62.3%
図書館	8	43	69	77	100	149	163	4	613
	1.1%	5.7%	9.2%	10.3%	13.4%	19.9%	21.8%	0.5%	81.8%
公民館	3	14	27	29	46	64	98	1	282
	0.4%	1.9%	3.6%	3.9%	6.1%	8.5%	13.1%	0.1%	37.7%
市民会館	2	7	15	19	36	63	80	1	223
	0.3%	0.9%	2.0%	2.5%	4.8%	8.4%	10.7%	0.1%	29.8%
歴史資料館	4	13	22	21	29	60	89	2	240
	0.5%	1.7%	2.9%	2.8%	3.9%	8.0%	11.9%	0.3%	32.0%
源氏物語ミュージアム	6	21	25	27	44	65	80	2	270
	0.8%	2.8%	3.3%	3.6%	5.9%	8.7%	10.7%	0.3%	36.0%
男女共同参画支援センター (ゆめりあうじ)	1	3	10	11	22	30	42	-	119
	0.1%	0.4%	1.3%	1.5%	2.9%	4.0%	5.6%	-	15.9%
生涯学習センター	3	9	15	22	39	62	82	1	233
	0.4%	1.2%	2.0%	2.9%	5.2%	8.3%	10.9%	0.1%	31.1%
青少年センター	2	8	12	12	22	32	46	-	134
	0.3%	1.1%	1.6%	1.6%	2.9%	4.3%	6.1%	-	17.9%
黄檗公園/西宇治公園 (体育館、プール含む)	7	28	54	55	75	91	99	3	412
	0.9%	3.7%	7.2%	7.3%	10.0%	12.1%	13.2%	0.4%	55.0%
天ヶ瀬森林公園	1	8	16	17	33	39	64	3	181
	0.1%	1.1%	2.1%	2.3%	4.4%	5.2%	8.5%	0.4%	24.2%

(単位：件)

問6（年齢）	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	回答数
観光センター	5	13	32	33	58	85	93	4	323
	0.7%	1.7%	4.3%	4.4%	7.7%	11.3%	12.4%	0.5%	43.1%
茶室（対風庵）	4	10	17	17	38	50	56	2	194
	0.5%	1.3%	2.3%	2.3%	5.1%	6.7%	7.5%	0.3%	25.9%
総合野外活動センター（アクトパル宇治）	7	19	35	46	57	60	65	2	291
	0.9%	2.5%	4.7%	6.1%	7.6%	8.0%	8.7%	0.3%	38.9%
植物公園	7	28	44	50	62	98	140	3	432
	0.9%	3.7%	5.9%	6.7%	8.3%	13.1%	18.7%	0.4%	57.7%
産業振興センター	2	-	4	4	14	31	36	-	91
	0.3%	-	0.5%	0.5%	1.9%	4.1%	4.8%	-	12.1%
産業会館	-	4	6	11	19	40	53	1	134
	-	0.5%	0.8%	1.5%	2.5%	5.3%	7.1%	0.1%	17.9%
保育所（一般開放時。通所を除く。）	7	31	60	51	75	98	92	1	415
	0.9%	4.1%	8.0%	6.8%	10.0%	13.1%	12.3%	0.1%	55.4%
幼稚園（一般開放時。通園を除く。）	7	29	55	46	72	89	88	1	387
	0.9%	3.9%	7.3%	6.1%	9.6%	11.9%	11.7%	0.1%	51.7%
小学校（一般開放時。通学を除く。）	7	29	59	54	79	99	97	1	425
	0.9%	3.9%	7.9%	7.2%	10.5%	13.2%	13.0%	0.1%	56.7%
中学校（一般開放時。通学を除く。）	7	29	57	53	77	96	92	1	412
	0.9%	3.9%	7.6%	7.1%	10.3%	12.8%	12.3%	0.1%	55.0%
地域子育て支援基幹センター	3	15	33	31	47	72	54	1	256
	0.4%	2.0%	4.4%	4.1%	6.3%	9.6%	7.2%	0.1%	34.2%
地域福祉センター	6	12	22	27	48	82	95	-	292
	0.8%	1.6%	2.9%	3.6%	6.4%	10.9%	12.7%	-	39.0%
デイホーム	6	22	30	39	56	78	93	-	324
	0.8%	2.9%	4.0%	5.2%	7.5%	10.4%	12.4%	-	43.3%
総合福祉会館	2	7	13	23	41	52	77	2	217
	0.3%	0.9%	1.7%	3.1%	5.5%	6.9%	10.3%	0.3%	29.0%
保健・消防センター（うじ安心館）	4	23	45	47	70	86	89	2	366
	0.5%	3.1%	6.0%	6.3%	9.3%	11.5%	11.9%	0.3%	48.9%
駐輪場	6	27	48	53	80	111	116	4	445
	0.8%	3.6%	6.4%	7.1%	10.7%	14.8%	15.5%	0.5%	59.4%
内職センター	1	4	2	2	12	23	25	-	69
	0.1%	0.5%	0.3%	0.3%	1.6%	3.1%	3.3%	-	9.2%
その他	-	2	2	-	2	2	3	-	11
	-	0.3%	0.3%	-	0.3%	0.3%	0.4%	-	1.5%

公共施設のあり方を考える市民懇談会等における主な意見

公共施設のあり方を考える市民懇談会等における主な意見

【参加者数】 平成29年6月9日現在

	回数	人数
① 市民懇談会	5回	78人
② 大学生・高校生	2回	410人
③ 出前懇談会	19回	397人
④ その他	6回	135人
合計	32回	1020人

＜①市民懇談会での意見＞

- ◇ 榎島コミュニティセンター 平成28年12月17日（土）参加者数8人
- ◇ 西小倉コミュニティセンター 平成28年12月17日（土）参加者数11人
- ◇ 南宇治コミュニティセンター 平成28年12月23日（祝）参加者数15人（内、傍聴4人）
- ◇ 東宇治コミュニティセンター 平成28年12月23日（祝）参加者数30人
- ◇ うじ安心館 平成28年12月23日（祝）参加者数14人（内、傍聴1人）

① 公共施設全体に係る意見

施設の更新・統廃合・長寿命化などについて以下のような意見あり

- 学校も建替え時期が近いものもあるのは分かるが、児童数が減っている現状を見ると全く同じ規模が必要であるとは思わない。
- 学校も現在の生徒数に合わせた規模にしていく必要があるのではないか。
- 利用状況をしっかりと確認して必要なものは残して欲しい。
- 学校は小中一貫校としてではなく、小学校同士、中学校同士での統廃合を考えて頂きたい。小学校は小学校らしく、中学校は中学校らしい施設が良いと思う。
- お金を掛けての統廃合だけではなく、違う形での利用（転用）を考えて欲しい。
- 公民館は幅広く使える施設へ衣替えして欲しい。
- 施設の複合化は進めていくべきである。

施設へのアクセスについて以下のような意見あり

- 駅からの距離に応じて、公共施設への交通の対策も必要である。
- 御蔵山から黄檗トンネルを通して市役所に行くバスが走って欲しい。

施設の認知度・利用度の促進について以下のような意見あり

- 今回の懇談会にしても、行政として市民が関心を持てるように今以上にPRする事が必要だと思う。
- 統廃合も1つのアイデアではないかと思う。ただ、方針を決めた際には地域へのしっかりとした説明が必要不可欠である。

施設の管理運営方法について以下のような意見あり

- 小学校の空き教室をデイサービスやアイデアのある使い方をしてみてもどうか。お金を掛けるのではなく、現状の資産を有効活用するべきである。また、小学校を上手く活用する事で地域コミュニティの活性化に繋がると思う。
- 民間活力を有効利用してみてもどうか。
- 大阪府では学校職員の駐車場は校外で自分にて手配、もしくは校内駐車場を有料としている。宇治市でも同様の手法をとる事によって、歳入の増加もしくは、学校の面積縮小ができるのではないか。
- 開館時間や予約方法などを改善して利用しやすい施設にして欲しい。

その他公共施設全般に係る意見として以下のような意見あり

- 時代の流れとして個人の人権（主張）がとて強くなってきている。もう少しみんなで助け合う公共の気持ちを持つ事は防災の観点からも必要ではないか。（町内会への参加も少なくなっている。）
- 子育て世代と高齢者のコミュニティの場をもっと増やすべきではないか。子育て世代に宇治市へ住んでもらうための工夫が必要だと思う。
- 公共施設はコミュニティ、防災の観点でも、とても重要な施設である。基本は現状維持が理想だと思う。民間の力も使ってみてはどうか。
- 今まで公共施設をつくり過ぎてている。
- 地域の特色もあるので、稼働率のみでの判断はどうかと思う。
- 施設の質の向上を図り、使いやすい施設にするべき。
- 市全体で公共施設の配置バランスの検討をして欲しい。
- 既成概念にとらわれず利用方法を検討するべきである。
- 利用者増加の手法を検討するべきである。

- つぶす前提で話すべきではない。

② 個別の公共施設に係る意見

- 保育所は足りないがよく耳にするが、逆に幼稚園は余っている。3年保育、バスでの送迎などを行ってみてはどうか。
- 集会所の廃止等はしっかりと考えるべきだと思う。利用率のみで判断しては駄目だと思う。
- 集会所は利用頻度が高い施設もあるため、運営のあり方を工夫する必要がある。
- コミセン等にコピー機もなくとても利用しにくい。現在の市民ニーズに合った利用しやすい公共施設として欲しい。
- 宇治公民館の場所を移さないで欲しい。耐震化及び、バリアフリー化をして欲しい。
- トイレの改修は最低限行って欲しい。住んでいて魅力のある宇治にして欲しい。
- 少年院の跡地に文化施設をつくるなど、必要なものはつくって欲しい。
- 宇治市に美術館（画廊）をつくって欲しい。
- 植物公園はもっと魅力的にするべきである。
- 集会所の修理など市の対応が遅い。
- 公民館に保育所機能を持たせたら良いと思う。
- 集会所の建替えの際に、一部を保育所やデイケア施設として使えるような施設とすれば良いと思う。

③ その他市政全般に係る意見

- ハコモノだけでなくインフラ整備も計画的に行って欲しい。（小学生の通学路等）
- 行政は頭がかたいので柔軟な考えを持って欲しい。
- ボール遊びのできる公園は残して欲しい。小さい公園のあり方は検討して欲しい。
- 急いで3月までに計画をつくらなくて欲しい。じっくり時間をかけて計画をつくって欲しい。
- 宇治市の財政状況をもっと分かりやすく説明して欲しい。
- ネガティブな話が多い、工夫を持って前向きな宇治市にしていきたい。
- 公共施設を減らすだけでなく、かかるお金を減らす方向も検討して欲しい。
- アンケートでの地域性の分析が足りないのではないかな。
- 太陽光発電で売電する。
- 文教大学との連携で、「市民参画のためのコーディネーター養成講座」のような機会をつくって欲しい。

<②大学生・高校生の意見>

◇ 京都文教大学地域入門 平成28年10月21日(金) 参加者数約400人

◇ 高校生「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」

平成29年 1月17日(火) 参加者数10人

① 公共施設全体に係る意見

施設の更新・統廃合・長寿命化などについて以下のような意見あり

- 学校なども使わないのであれば、廃止しても良いと思う。
- 児童・生徒が少ない学校同士を合併すれば良いのではないか。
- 母校が廃止されるのはとてもつらい。少子化をとめないといけないと思った。
- 公共施設の規模を大きくし、数を減らす。
- 公共施設の数をまとめ、人件費を減らす。
- 施設の廃止はともかく、統合は積極的にしても良いと感じる。
- 公共施設を必要以上に建てない。使わなくなった建物は再生して使う。
- 公共施設の数を減らし、一つ一つの公共施設の質を上げる。
- あまり使われなくなっている施設をなくして、使われている施設を優先する。
- 類似施設を一つにする。
- 利用者に応じて必要な部分を残して、必要とする人がいない場所をまず売却する。
- 施設がどのように役に立っているかを分かってもらい、優先度の低い施設を取り壊す。
- 公共施設を維持するためには、傷む前に直すことを繰り返していれば、長く保つことができると思う。
- 自分達は利用しないと思っていても、その施設を必要だと思う人もいるだろうから安易に建物を取り壊す方向ばかりを考えるのも良くないと思う。
- 学校をなくしたり、憩いの場になっている建物を壊すのはあまり良くない。
- 母校がなくなるのは少し悲しいが、何らかの形で何かを残してくれるなら、かまわないと思う。
- 施設を建てる時に、そもそも長く使っていけるようにする。
- 福祉施設や公民館と学校施設が統合された時、新しいコミュニティとなって新しいことができそうだなと思った。
- 使わなくなったから壊す。必要になったからつくるではなく、使わなくなった施設を必要な施設へと変えるべきである。
- 補修等をしっかりと行い、施設は長く使うことが良いと思う。

施設の認知度・利用度の促進について以下のような意見あり

- 公共施設に行きやすいイベントをして欲しい。
- スポーツ施設で参加料付きのイベントを企画する。
- 利用者の満足度を評価するシステムをつくる。

施設の管理運営方法について以下のような意見あり

- 清掃費を削減するため、一人ひとりがごみ拾いを習慣づける。
- 営業・開放時間を短縮し、人件費を削減する。
- 使っていない建物を貸し出して、使用料を得る。
- 市が行うイベント等に大学生のボランティアを呼びかけ人件費を削減する。
- 公共施設を使う料金を少しだけ利用者からとる。
- ターゲットにする年代や対象を絞って、施設や営業時間を考えて施設を別の用途にも利用する。
- 壊れたら直す以前の問題としてまず、壊さないように公共施設を利用する人たちが協力して大切に利用する。
- ふるさと納税を活用して「〇〇施設をつくろう」キャンペーンをしては良いのではないか。
- 公共施設を維持していくために募金などを活用する。
- 学校終わりに空いている教室を貸し出し、利益を得る。
- 使わなくなった学校を別の使い道で再利用する。
- 使われなくなった学校を老人施設などに使用する事は構造上難しいところがある。今後、新しい学校を建替えるなら、再利用しやすいようにしておくべきである。
- 使われていない公共施設を取り壊して、他の運営費にまわす。
- 建物が過密しているところでは一般企業に一任する。(公衆トイレなど)
- コミュニティセンターなどの一部の機能を学校に設置すると地域の人たちとのかかわりが増えるのではないか。
- 民間会社の一部を公共施設として利用してはどうか。
- 住民が必要だと思う施設に、住民自身が直接お金を出せば良いと思う。
- 卒業者にお金を提供してもらおう。(思い出に残っている学校がつぶれることを嫌がる人は多いと思う。)
- コミュニティセンター等は普段の利用者に運営、清掃のお手伝いを頼む。

- 太陽光や地熱、風力発電などを活用すれば良いと思う。
- 使わなくなった建物を福祉施設等に使ったら良いと思う。
- 一つの施設を多目的に使用できるようにする。(夏場はプール、冬場はスケート場など)
- 小学校の一角をコミュニティセンターとして活用する。
- 水道代や光熱費などをまず節約することが第一歩である。
- 何月何日に空きがあるやキャンセルが出た日などを宣伝して、施設を有効的に貸し出す。
- 廃校になったところを図書館にしたり、イベント会場にしたり映画撮影に貸す。
- ふるさと納税で得た利益を施設の維持にまわせば良いと思う。
- 学生主体のイベント(演奏会等)で集めた資金を公共施設の維持費に使う方法もあると思う。

その他公共施設全般に係る意見として以下のような意見あり

- 単独市町村で行事を行わず、他市町村と連携して行事回数を減らす。
- 公共施設はどんな事があっても必要だと思う。
- 高校生が集まれる場所が少ない。もう少し集まれる(活動できる)場所が欲しい。

② 個別の公共施設に係る意見

- 子どもが遊びやすい施設、ボール遊びができる施設が良い。
- 集会所で集まって自治会の人たちとコミュニケーションをとることは楽しかったので、減らして欲しくない。
- 集会所が多過ぎるのではないかと思う。
- あまり使われていない集会所で保育等をしてみてはどうかと思う。
- 子育て支援施設が少ないのではないかと思う。将来、子育てをする際に魅力的な施設がある場所に住みたいと思う。
- 小・中学校は地域との長い歴史もあるので、簡単に廃校にする事は難しいと思う。卒業生に寄附を募ったり、地域の方に協力を求めるような方法も良いと思う。
- 学校の校庭を地域の子供達がもっと遊べるように開放するべきだと思う。
- 公園も小さい所を多くするより、広い公園を整備しボール遊びができるようにして欲しい。

③ その他市政全般に係る意見

- 公園を増やせば、子供を遊ばせたい等の気持ちが生まれ、子供は少しずつ増えると思う。

<③出前懇談会での意見>

◇ 茶摘ヶ丘町内会	平成29年	2月18日(土)	参加者数35人
◇ 高砂台自治会	平成29年	2月18日(土)	参加者数30人
◇ 公団中川原町内会	平成29年	2月19日(日)	参加人数38人
◇ 広野三軒屋町内会	平成29年	2月26日(日)	参加人数40人
◇ 宇治公民館、市民会館の存続を求める中宇治の会	平成29年	3月2日(木)	参加人数24人
◇ 半白連合町内会	平成29年	3月3日(金)	参加人数17人
◇ うぐいす台町内会	平成29年	3月5日(日)	参加人数18人
◇ 府営西大久保団地連合自治会	平成29年	3月7日(火)	参加人数10人
◇ サロン槇の島	平成29年	3月11日(土)	参加人数22人
◇ 全日本年金者組合	平成29年	3月14日(火)	参加人数19人
◇ 新丸山町内会	平成29年	3月19日(日)	参加人数12人
◇ 菟道車田連合町内会	平成29年	3月22日(水)	参加人数9人
◇ 宇治市図書館友の会	平成29年	3月24日(金)	参加人数7人
◇ 木幡平尾町内会	平成29年	3月26日(日)	参加人数34人
◇ 東広野自治連合会	平成29年	3月28日(火)	参加人数10人
◇ 中宇治みどりG	平成29年	3月29日(水)	参加人数23人
◇ 南陵町自治会	平成29年	4月1日(土)	参加人数12人
◇ 宇治建設業協会	平成29年	4月25日(火)	参加人数12人
◇ 宇治市青少年健全育成協議会	平成29年	5月29日(月)	参加者数25人(内、傍聴4人)

① 公共施設全体に係る意見

施設の更新・統廃合・長寿命化などについて以下のような意見あり

- 無計画に新しい施設をつくらないようにすべきである。
- 児童数が少ない学校同士であれば統合した方が良いと思う。
- 施設を安易に建替えるのではなく、なるべく長持ちさせる工夫が必要である。
- 学校を建替える際には、児童数に見合った大きさにすれば良いと思う。
- 公共施設は避難所としても活用するので、耐震補強はしっかりして欲しい。
- 建物を建替える際には、今のままでどおり建替えるのではなく、複合化や統廃合のような工夫をしていくことが必要だと思う。
- 施設を長い期間使用できるように工夫をして欲しい。
- 利用率の少ない施設は統合・廃止した方が良いのではないか。
- 施設がないよりはあった方が良いのは分かるが、いずれ古くなるので統廃合についても考えるべきである。
- 施設がなくなっても、機能として残せば良いと思う。
- 施設を建てる段階から、あらゆる機能に対応できる施設としておくべきだと思う。

施設へのアクセスについて以下のような意見あり

- 公共施設を利用したくても、車がない人にとっては不便な場所もある。交通対策も必要である。
- バスの問題について考えて欲しい。

施設の認知度・利用度の促進について以下のような意見あり

- 稼働率の低い施設をなくすだけでなく、まずは利用してもらえる工夫が必要である。
- 市政だよりやホームページなどで施設の利用方法等について、周知して欲しい。

施設の管理運営方法について以下のような意見あり

- 保育所が足りないのであれば、小中学校の空き教室を使えば良いと思う。
- 集会所の使われていない時間帯を子育て広場として活用する。
- 空き家を集会所として活用したら良いと思う。地域コミュニティの活性化につながる。
- 会議等は民間施設を借りれば、良いと思う。
- 施設を利用する人から料金をもらえば良いと思う。
- 小中学校の空き教室はデイサービスや保育所などにすれば良いと思う。

その他公共施設全般に係る意見として以下のような意見あり

- 地域バランスを見て、公共施設は配置するべきである。
- 施設の統廃合等などは、地元住民と十分に話し合いを行って、理解を求める努力をして下さい。
- 小学校区単位のまちづくりの理念に沿って、十分に検討をして下さい。
- 財政面の無駄をなくすため、建物の長寿命化を基本にして下さい。
- 地域バランスを見て、施設を建てる際には、面積だけでなく人口密度も考慮して欲しい。
- エリア毎に複合化施設を建て、不要となった施設は売却して収入を得てはどうか。
- 施設を建替える時には、複数機能を持った施設にして欲しい。
- 耐震補強ができていない施設は耐震化を図っていくべきであると思う。

- 新しい施設を建てる時は、100年・200年残る建築にして欲しい。
- 新しい施設を建てる時は、効果的・効率的なものにして欲しい。
- 公共施設全体を考えた計画として頂きたい。
- 利用率の高い施設と低い施設を同列で考えないようにして欲しい。
- 宇治市の街づくりを基本に計画策定を進めて欲しい。
- 公共施設には太陽光パネル等の再生可能エネルギーを取り入れて欲しい。
- 木材を使った、環境に優しく魅力的な公共施設を考えていくべきだと思う。
- 今ある施設は長寿命化してできるだけ長く使えるようにして頂きたい。
- 建物の長寿命化は昔と今の技術が違うので、しっかりと考える必要がある。
- 本当に良い施設をつくれれば、利用者がSNS等で発信してくれると思う。
- 観光客がとても多くなっているの、駐車場をつくる必要があると思う。

② 個別の公共施設に係る意見

- 集会所は避難所として必要である。
- 不登校学生の居場所として、集会所の使用されていない時間を活用してみてもどうかと思う。
- 集会所は数として多すぎると思う。また、物事を決めるにも規模が小さすぎて集まれる人数が限られてしまう。学校に集会機能を持たすか、ある程度の規模で集約して、自治会館があれば良いと思う。
- 集会所は稼働率のみで、廃止や削減を考えないで欲しい。
- 集会所は人と人をつなげ、お互いを知るまたとない場となっている。
- 宇治公民館の存続を希望する。
- 老人福祉センターをつくって欲しい。
- 図書館が少ないので、いらなくなった施設の機能を変えてはどうか。
- 集会所の統合・廃止等については稼働率を見て判断して欲しい。
- 重要な公共施設である、宇治公民館を残して欲しい。
- 宇治公民館の3階へ上がる階段が急勾配なので改善して欲しい。
- 図書館を充実させることは良いことだと思う。
- 槇島に図書館をつくって欲しい。
- 集会所を広くして欲しい。
- 太閤堤に公民館を建てて欲しい、難しいなら広場をつくって欲しい。
- 植物公園は利用料金が高過ぎる。
- 植物公園にお金を掛け過ぎているのではないかと、お金を掛けずに自然公園としてはどうか。
- 少年院跡地について話す場を設けて欲しい。
- 全国の優良事例を見習った、図書機能のある複合施設をつくって欲しい。
- 子どもだけでも来場できるような、便利な場所に図書館をつくって欲しい。
- 中学校図書館を充実させて、地域へ解放してはどうかと思う。
- 宇治公民館の建替えがある際には、図書機能を計画して欲しい。
- 学校の校庭の休日や放課後利用を促進して欲しい。
- 集会所の活用方法を市が示して欲しい。
- 集会所の文庫スペースを残して欲しい。

③ その他市政全般に係る意見

- 人口を増やす取組に力を入れることも必要だと思う。
- 今後もこのような懇談会の場を希望する。
- 地域活性化施策が必要である。
- 災害時には隣の地域とのつながりが必要である。施設と施設のつながりも考えて欲しい。
- 住民票のコンビニ交付を検討して欲しい。
- 各部署（所管課）の方も参加する懇談会も開催して欲しい。
- 行政と市民の距離が近くなる事を期待する。
- 西小倉区域に行政支所をつくって欲しい。
- 大きな計画なので、議員の方も積極的に参加して計画はつくって行くべきだと思う。
- 施設利用を今以上に促す働きかけを市役所も行っていくべきだと思う。
- 広く市民意見を聞き取るには、30歳代・40歳代・50歳代の意見が必要である。
- 市民活動を応援する仕組みや、現場と市民が意見を出し合い一緒に考えていく場がまだまだ機能していないように感じる。
- 新しい財源の創出を考える必要がある。
- 観光ブーム、観光客の増加の流れを上手く活用する必要がある。
- 行政の頑張りや、企業誘致を行う動きが大切である。
- 子育て世代に受け入れられるような、施策が必要だと思う。
- 行政として夢のある方向性を示す計画として欲しい。

<④その他の意見>

◇ 子育て広場（ひあ西小倉）	平成28年12月13日（火）	参加者数5人
◇ 子育て広場（ぶんきょうにこにこルーム）	平成29年 1月25日（水）	参加者数9人
◇ 子育て広場（りぼん）	平成29年 1月26日（木）	参加者数14人
◇ 保護者としての意見（連合育友会）	平成29年 2月 2日（木）	参加者数31人
◇ 民生児童委員協議会	平成29年 2月27日（月）	参加人数31人
◇ 宇治市市政モニターのつどい	平成29年 5月18日（木）	参加人数45人

① 公共施設全体に係る意見

施設の更新・統廃合・長寿命化などについて以下のような意見あり

- 学校でクラスが1クラスしかないのであれば、子どもの事を考えれば統合した方が良いと思う。
- 今後、少子化が進み不要になるのであれば、学校の統合、外部への売却や貸し出し、幼保施設との併設などを検討する必要があると思う。

施設へのアクセスについて以下のような意見あり

- 市役所をはじめ、公共施設へのアクセスが悪い。
- 駅から遠い施設については、タクシーチケットの補助等をして欲しい。施設を利用したくても交通手段がない。
- 公共施設周辺の駐車場が少ない。子連れでの徒歩は大変である。
- 学校を統廃合して登下校の距離が長くなる場合は、スクールバス等の工夫も必要だと思う。

施設の管理運営方法について以下のような意見あり

- 土曜日、日曜日についても公共施設を利用できるようにして欲しい。

その他公共施設全般に係る意見として以下のような意見あり

- 幼少から老人までが一緒に楽しめる施設が宇治市にはないと思う。
- 建物のみを行政が用意して、市民が主体で運営していけるコミュニティの場があっても良いのではないかと思う。
- 各公共施設に、少し軽食ができたり、お話のできるスペースが欲しい。目的のためのみの施設となりコミュニケーションをとる事のできる場所が少ない。
- 障害者用駐車場を様々な施設で増やして欲しい。
- 連合育友会で常時使用できる施設（会議室・事務室）が欲しい。
- 今の建物を最小限の費用で最大限の効果を出す改修計画が必要である。
- 単一建物から複合の施設に変革することで、様々な年代の人たちが共生できるものになると思う。
- 少人数でもおしゃべりができ、自由に時間の過ごせる公共施設が欲しい。
- 公共施設の利活用の促進は大切であると思う。今後の施設の更新の際にも必要ですが、現状の公共施設をPRするような、行政のサポートも重要だと思う。

② 個別の公共施設に係る意見

- 保育所が足りないと感じるので、官民間問わず増やして欲しい。
- 学校の空き教室は、幅広い世代の地域のコミュニティの場として活用できれば良いと思う。
- 学校の空き教室を保育施設として活用して欲しい。
- 子育て広場をもっと増やして欲しい。子育て広場には駐車場が必須だと思う。
- 集会所は日中を子育て広場として使い、夜間を集会所等として使うなど工夫してみてもどうか。
- 公民館、コミュニティセンターで中高大学生の若い世代が集まれるようなイベントを行ってみてはどうかと思う。そのような機会があまりにも少ないと思う。
- 公共施設、特に公民館は固定されたメンバーが一部のメンバーのサークルで、多くの時間を使っているように思う。もっと公の集まりの場に使用することができないのかと思う。
- 公民館やコミュニティセンターなどで働く職員の意識も変えて欲しいと思う。ただの貸部屋の管理のみでなく、地域のコミュニティを活性化、人を繋げていく意識をもっと持って欲しい。
- 安心館をイベント等ができるように市民に開放して欲しい。
- 植物公園の駐車場料金を安くして欲しい。
- ゆめりあうじの子育て広場のトイレに扉を付けて欲しい。
- 図書館が少ない、図書館と各学校をネットワークで繋げて、予約・貸出・返却ができると良いと思う。
- 学校トイレ補修、改善に目を向けて欲しい。
- 学校の空き教室の利用として、育成学級やPTA活動室として利用したい。
- 削減ありきではなく、場所が近接している小中学校などは、一貫校として改修することで、一貫教育の取組を含めた施設更新を目指して欲しい。
- 小学校数の適正化に着手するべきである。
- 集会所は民間委託し、有効活用してもらおう。
- 小学校は統廃合し、小中一貫校等、地域によって考える。

- 学校に地域の図書館としての機能を考える。

③ その他市政全般に係る意見

- 学校に行くまでの道が狭いのを何とかして欲しい。
- 一般的に歩道が狭く、ベビーカーを使う際はとても困る。
- 放課後に、子供の遊べる場所が必要だと思う。
- 榎島地区は図書館までとても距離がある。
- 公共施設等の使い方のPR等を上手に行うべきだと思う。情報発信を上手く行って欲しい。
- スマートフォンを活用した情報発信をしてみてもどうかと思う。
- 宇治市には児童館が少ない。
- ボール遊びのできる公園が欲しい。
- 高齢者・子育て世代が利用できる小さなワンコイン市営バスが欲しい。(亀岡市には実例有)
- 日曜日にも利用できる子育て広場のような場所をつくって欲しい。
- 子供が怪我をしたら困るため、自転車の走りやすい道の計画を考えて欲しい。学生等が大人数で歩道を自転車で走るため、何度も危ない思いをした。
- 観光ブームに乗り、多くの外貨を得て、未来の宇治市民への蓄えとして欲しい。